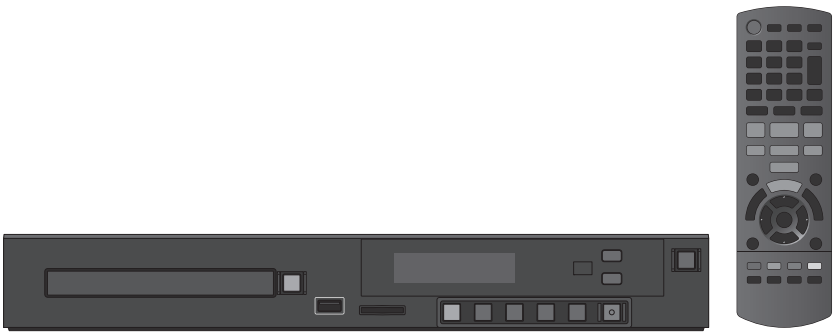
Panasonic

取扱説明書

デジタル入力レコーダー

品番 DMR-T4000R



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。 保証書別添付

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（160 ～ 164ページ）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

接続と設定を行ってください ▶ 11 ページ

DMR-T4000R: ソフトウェアバージョン 1.09 以上
ソフトウェアバージョンの確認方法は 141 ページをご覧ください。

VQT5A65-3

本機の「特長」

ディスクへの録画

▶ 18 ページ

ディスクへ直接録画することができます。

HDD／BD同時録画

▶ 18 ページ

HDDとディスクに同じ映像を同時に録画することができます。

エンドレス録画

▶ 18 ページ

HDDに録画し続けることができます。

HDMI・SDIからの録画に対応

▶ 28 ページ

HDMI端子、SDI端子からの映像を録画することができます。

SDカードへのHD映像(MP4)書き出し

▶ 52 ページ

SDカードにHD画質(MP4)の映像を書き出すことができます。

パソコンで制御

▶ 59 ページ

RS-232Cケーブルで本機とパソコンを接続すると、パソコンからの制御が可能になります。

目次

「安全上のご注意」を必ずお読みください（→160～164 ページ）

接続

テレビやモニターに出力する 11
- ●HDMI 端子で出力する場合 11
- ●SDI 端子で出力する場合 11
- ●映像・音声端子で出力する場合 12

映像出力機器から入力する 13
- ●HDMI 端子で入力する場合 13
- ●SDI 端子で入力する場合 13
- ●映像・音声端子で入力する場合 14
- ●HD コミュニケーションシステム (HD コム) から入力する場合 15

電源コードを接続する 16

設定

設定する 17
- ●時刻を合わせる 17
- ●システム機能の設定をする 17
- ●音声設定をする 19
- ●HDMI 優先モードを設定する 20
- ●HDMI 出力端子に合わせて設定する 20
- ●SDI 出力端子に合わせて設定する 21

ネットワーク接続する場合は、以下の接続と設定を行ってください。

ネットワーク接続をする 127
- ●各機器と直接接続する 128
- ●ハブまたはブロードバンドルーターを使って各機器と接続する 129

かんたんネットワーク設定をする 132
- ●こんな画面が表示された場合 132

付属品 / リモコンの準備 7
- ●付属品 7
- ●リモコンの準備 7

各部の働き 8
- ●本体前面 8
- ●本体背面 8
- ●本体表示窓 9
- ●本体ランプ 9
- ●リモコン 10

本書内のマーク表示について 22

ディスク・SD カードを入れる 23
- ●ディスク 23
- ●SD カード 23

記録できるディスクについて 24
- ●記録したディスクを他の機器で再生するには？ 26

基本編

録画

録画する 28
- ●録画中のいろいろな操作 29
- ●録画しながら再生する 29
- ●録画時の便利な機能 29

録画モードについて 30

記録の制限について 31

再生

再生する 33
- ●録画した番組を再生する 33
- ●撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を再生する 33
- ●録画一覧について 34
- ●再生時の便利な機能 37
- ●再生中のいろいろな操作 38

消去する 40

ダビング

ダビングについて 41
ダビングする 42
- かんたんダビング 42
- 詳細ダビング 44
- ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする 46
- 再生中番組の保存 48

ダビング時の動作について 49
- 高速でダビングできる場合 50
- 高速でダビングできない場合（画質変更ダビングになる場合） 51

録画した番組を SD カードに書き出す（持ち出し番組） 52
- 持ち出し番組を作成する 52
- SD カードに書き出す 53
- 書き出した番組を確認する 55

SD カード・USB・ディスクから撮影ビデオを取り込む 56
- 撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を取り込む 56
- MPEG2 動画を取り込む（ダビング） 58

パソコン制御

パソコンで本機を制御する 59
- RS-232C ケーブルを使用してパソコンと接続する 59
- RS-232C インターフェース仕様 59
- 通信条件 60
- シリアル・コマンド体系 60

RS-232C コマンド一覧 61
- 通常コマンド（リモコンでの操作） 61
- 表示コマンド 63
- 操作コマンド 67

応用編

便利機能

予約録画する 70
- 予約内容の確認、取り消し、修正など 72
- 予約録画に関するお知らせ 73

ぴったり録画をする 74
- HDD に録画する 74
- ディスクに録画する 74

市販ディスクを再生する 75
- BD ビデオ、DVD ビデオ、音楽 CD を再生する 75
- 3D 映像を楽しむ 75
- BD-Live 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには 76

再生設定をする 77
編集する 81
チャプターの作成・再生・編集 85
- チャプターマークを作成する / 削除する 85
- チャプターを再生・編集する 86

写真を再生する 87
- 写真再生のいろいろな機能 88

写真の整理をする 89
写真を取り込む / 書き出す 90
- 写真を取り込む 90
- 写真を書き出す 91

写真を印刷する 92
DLNA 機能を使う 93
- 別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する） 93
- 別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する） 93

acTVila（アクトビラ）を楽しむ 94
- acTVila（アクトビラ）を利用する 94

宅内リモート接続機能を使う 96
スタート画面について 97
- スタート画面で表示できる機能 98
- お好みの表示に変更する 99

「安全上のご注意」を必ずお読みください（➜160 ～164 ページ）

必要なとき

本機で記録できるようにする（フォーマット）.....100
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去.....102
ファイナライズ.....103
文字入力.....104
●文字パネル方式で文字入力する.....104
●リモコンボタン方式で文字入力する.....105
本機の設定を変える（初期設定）.....107
●リモコン設定をする.....115
●ネットワーク連携する機器の設定をする.....116
ディスクトレイをロックする（ロックモード）.....118
いろいろな情報を見る（情報）.....119
再生のみできるディスク / 使えないディスクについて.....120
●再生のみできるディスク.....120
●本機で使えないディスク.....120
SD カードについて.....121
別売の USB ハードディスク（USB-HDD）について.....122
●推奨 USB-HDD について.....122
●接続する.....122
●取り外しについて.....122
●登録する.....123
USB 機器について.....124
●接続できる USB 機器について.....124
●USB 機器を接続する.....124
●取り外しについて.....124
取り扱いについて.....125
こんな表示が出たら.....136
故障かな !?.....141
表示マーク一覧.....149
●録画一覧画面.....149
●ダビング画面.....150
●持ち出し番組一覧画面.....151
●予約一覧画面.....151
仕様.....152
著作権など.....158
保証とアフターサービス（よくお読みください）.....165
さくいん.....166

本機の設置について

●ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
●温度変化が起きやすい場所に設置しない。
●「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
●不安定な場所に設置しない。
●重いものを上に載せない。
タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。

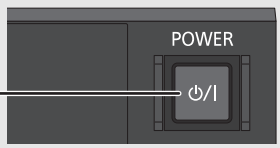
つゆつきについて
冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。
●「つゆつき」が発生しやすい状況
・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
・梅雨の時期
●「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約２～３時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから３分以上待ってください。
●本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

[POWER ⏻/I] を3秒以上押す



本機の電源が切れます。
故障かな!? と思った場合 ➜141

本機を廃棄 / 譲渡するときは

125 ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告
この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。
Cinavia 技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.com のCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。
Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA まではがきを郵送してください。

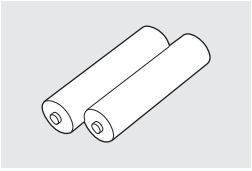
本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを（➜○○）で示しています。
●本書では、スタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。
●本書ならびに本機では、録画やダビングした映像・音声のことを「番組」と表現しています。

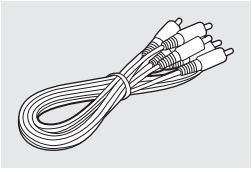
付属品 / リモコンの準備

付属品

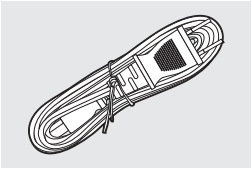
リモコン（1 個）
N2QAYB000908



リモコン用乾電池（2 本）
単 3 形乾電池



映像・音声コード（1 本）
K2KA2BA00003

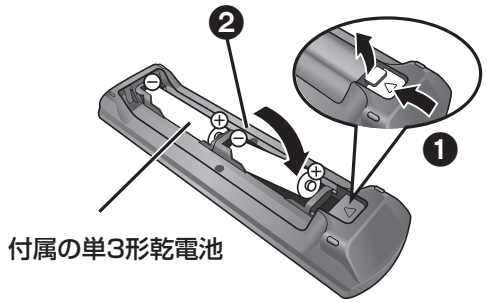


電源コード（1 本）
K2CA2YY00217

- 電源コードキャップ※および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
  ※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2013 年 5 月現在のものです。変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

リモコンの準備

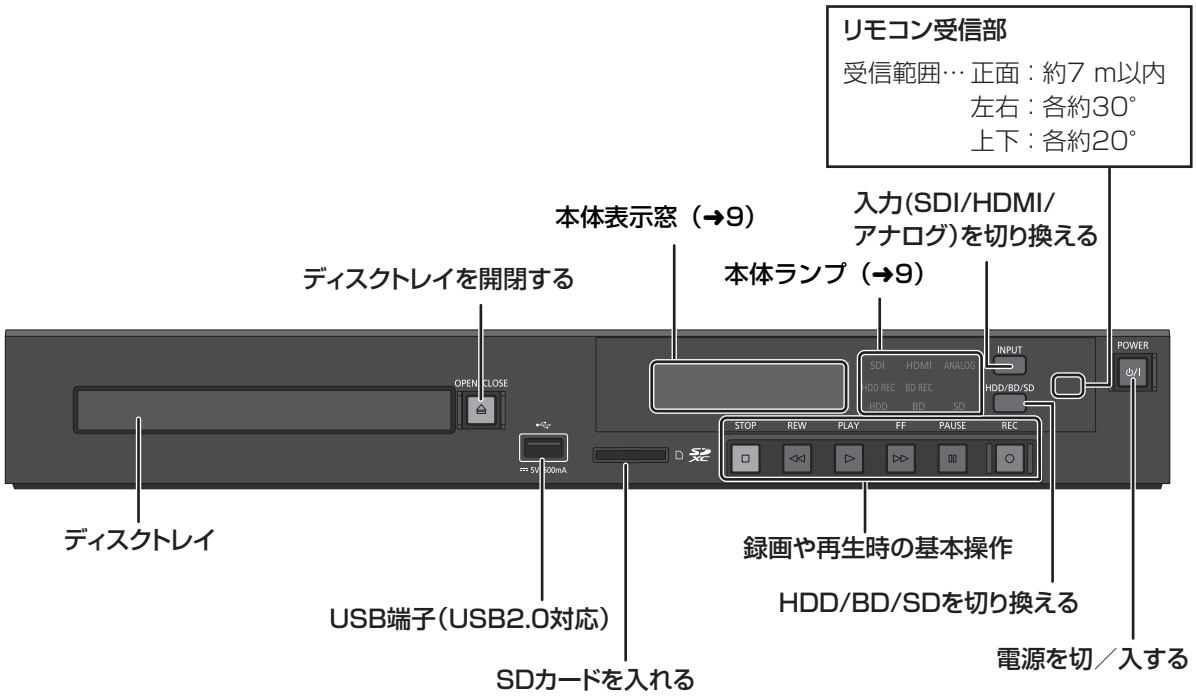
リモコンに電池を入れる



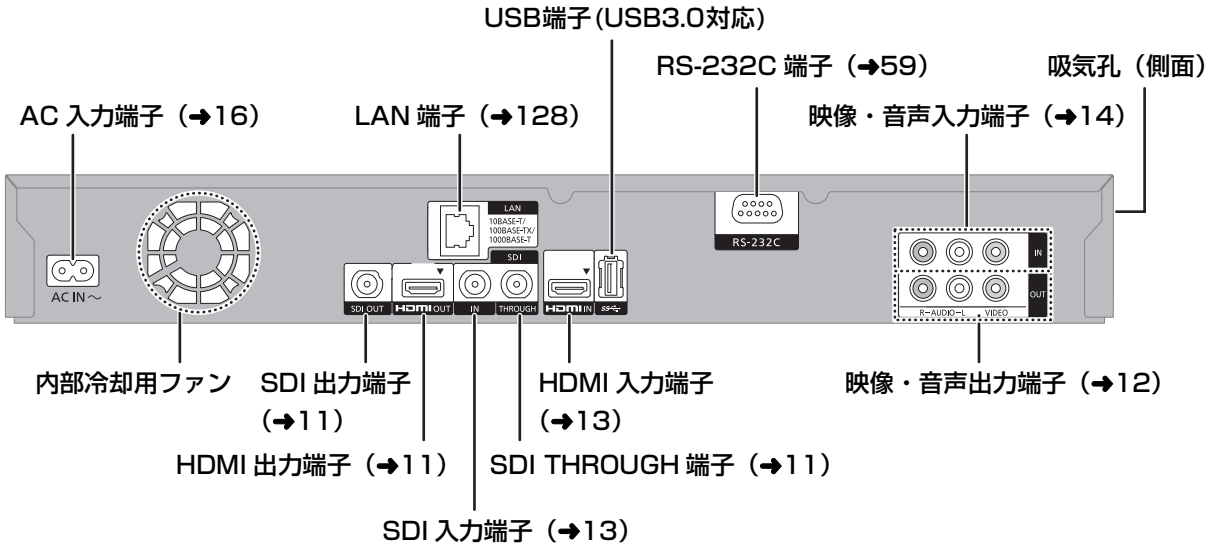
- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。**(➜115)**
- 本機のリモコン受信部 **(➜8)** に向けて、まっすぐ操作してください。

各部の働き

本体前面

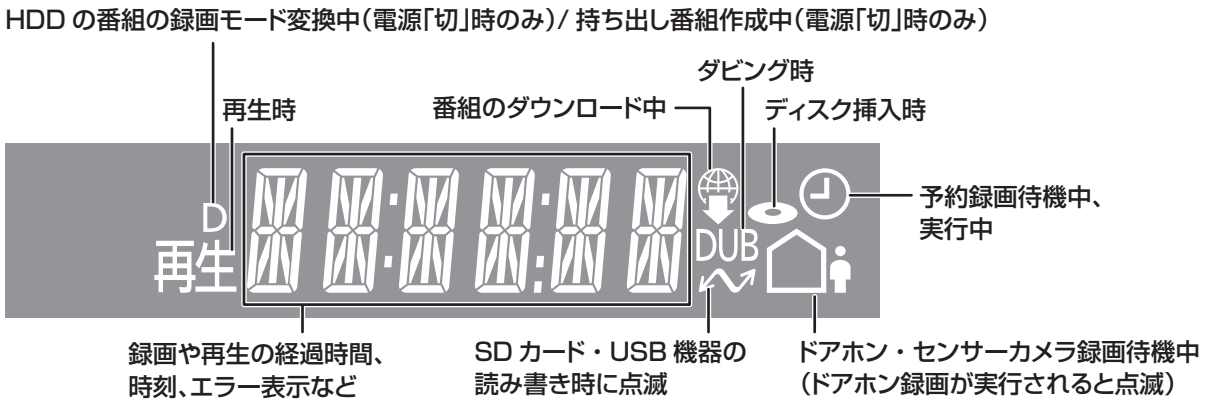


本体背面

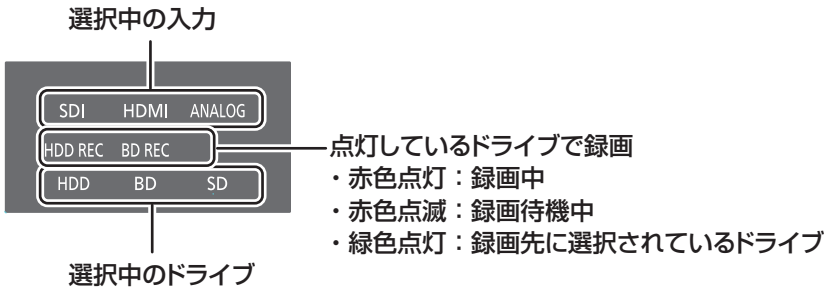


本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。



本体ランプ



各部の働き（続き）

リモコン

接続1 テレビやモニターに出力する

HDMI 端子で出力する場合

以下の設定を行ってください。

- 「HDMI 優先モードを設定する」（➜20）
- 「HDMI 出力端子に合わせて設定する」（➜20）

お知らせ

- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- 以下の信号は出力できません。
  - HDMI 入力からの著作権のあるコンテンツ

SDI 端子で出力する場合

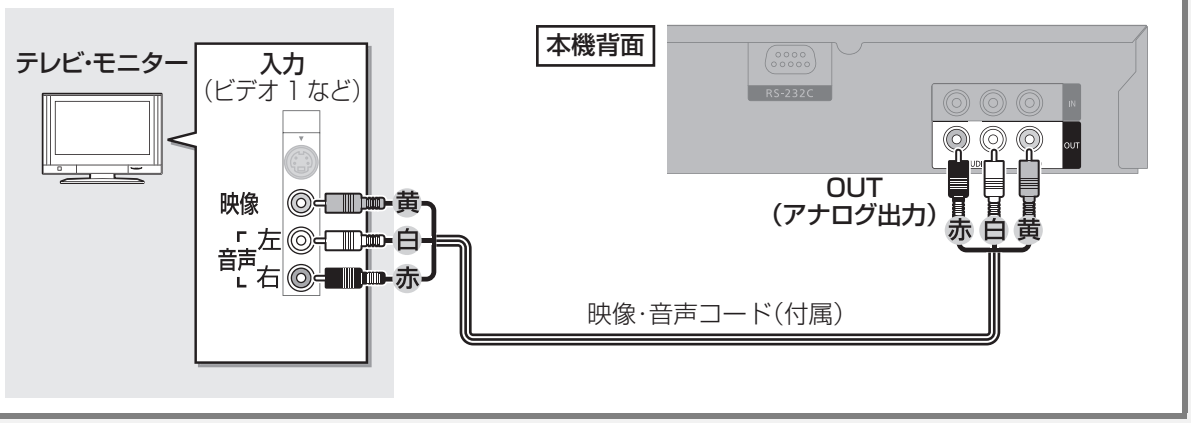
以下の設定を行ってください。

- 「HDMI 優先モードを設定する」（➜20）
  接続する出力端子が SDI 出力端子のみの場合は、「切」にすることをお勧めします。
- 「SDI 出力端子に合わせて設定する」（➜21）

お知らせ

- BNC ケーブル（別売）は、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。
- SDI THROUGH 端子に接続すると、SDI 入力端子から入力された信号のまま出力することができます。出力したい場合、「スルーモード設定」（➜107）を「有効」にしてください。（ただし、電源コードを電源コンセントから抜いている場合、出力されません）
- 以下の信号は出力できません。
  - HDMI 入力 / アナログ入力からの著作権のあるコンテンツ
  - BD-V DVD-V SD 著作権のあるコンテンツ
  - コピー制限のある番組
  - CD
  - DLNA 機能を使った再生

映像・音声端子で出力する場合

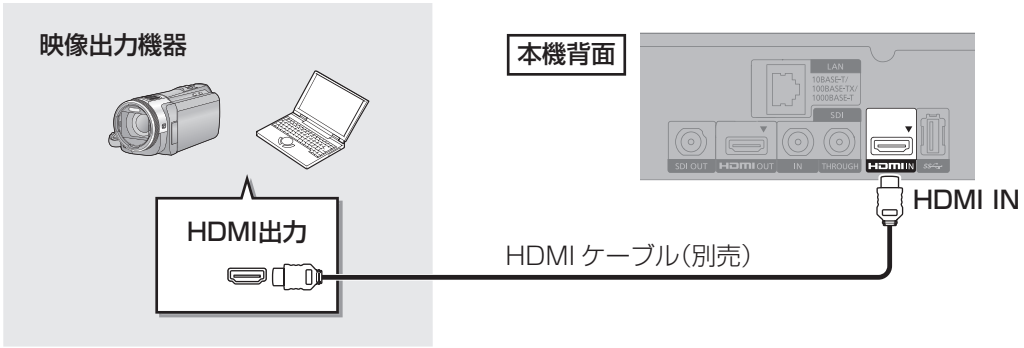


お知らせ

- 以下の信号は出力できません。
  - ・HDMI 入力からの著作権のあるコンテンツ
  - ・BD-V 著作権のあるコンテンツ
- 本機とテレビの間に、他のビデオやセレクターを経由させて接続すると、著作権保護の影響により、映像が乱れることがあります。

接続2 映像出力機器から入力する

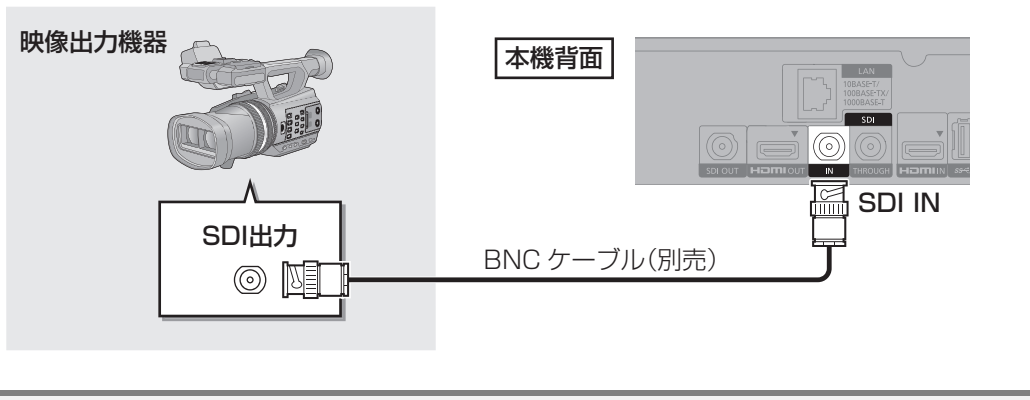
HDMI 端子で入力する場合



お知らせ

- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

SDI 端子で入力する場合

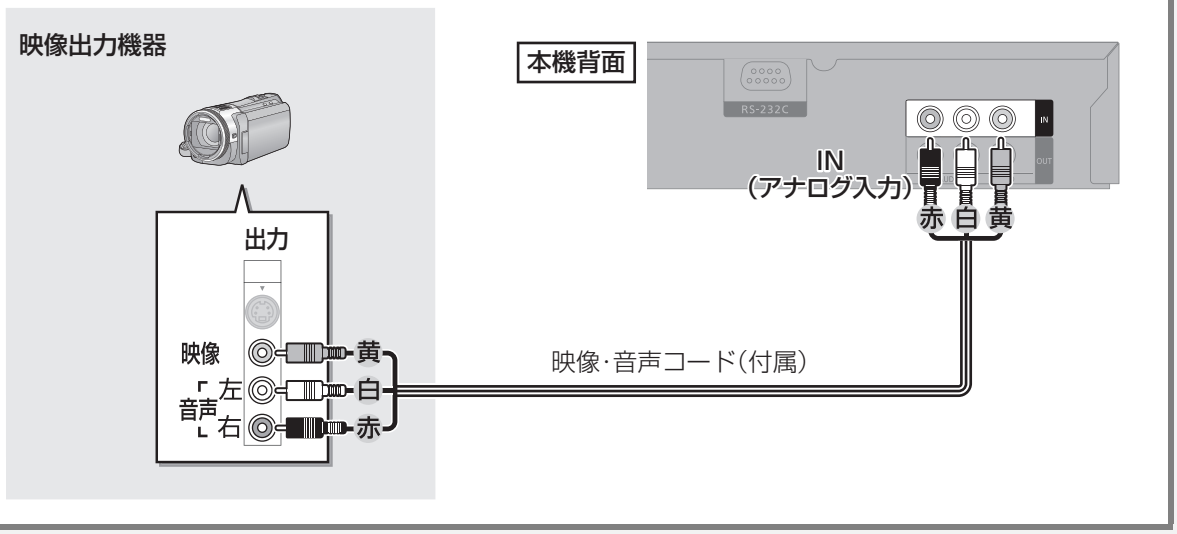


お知らせ

- BNC ケーブル（別売）は、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。

接続2 映像出力機器から入力する（続き）

映像・音声端子で入力する場合



HD コミュニケーションシステム (HD コム) から入力する場合

当社製のテレビ会議システム（HD コム）と接続すると、会議の映像を録画することができます。

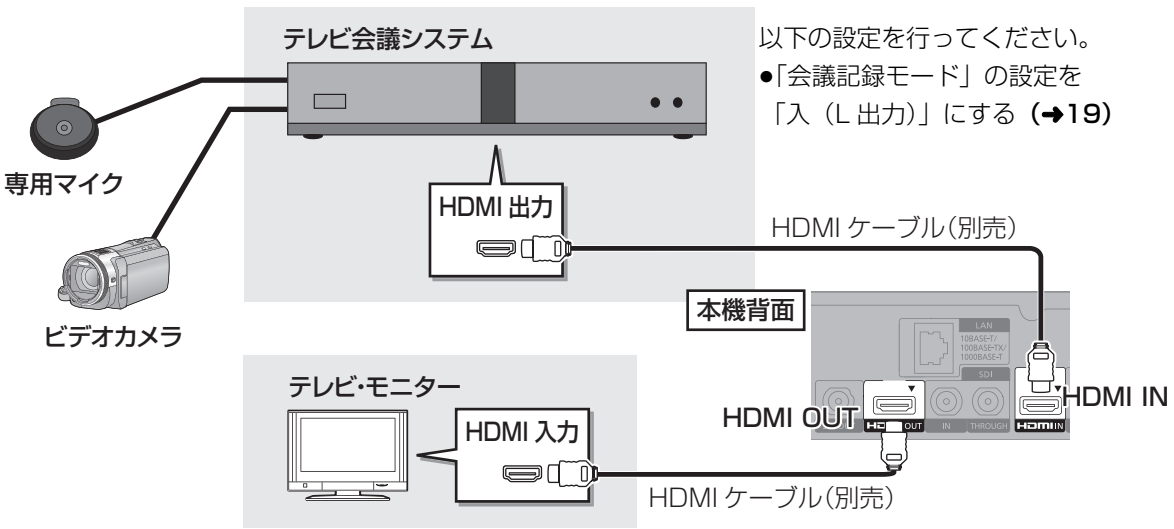
●HD コム録画対応モデル

対応機器の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

http://panasonic.biz/nwav/

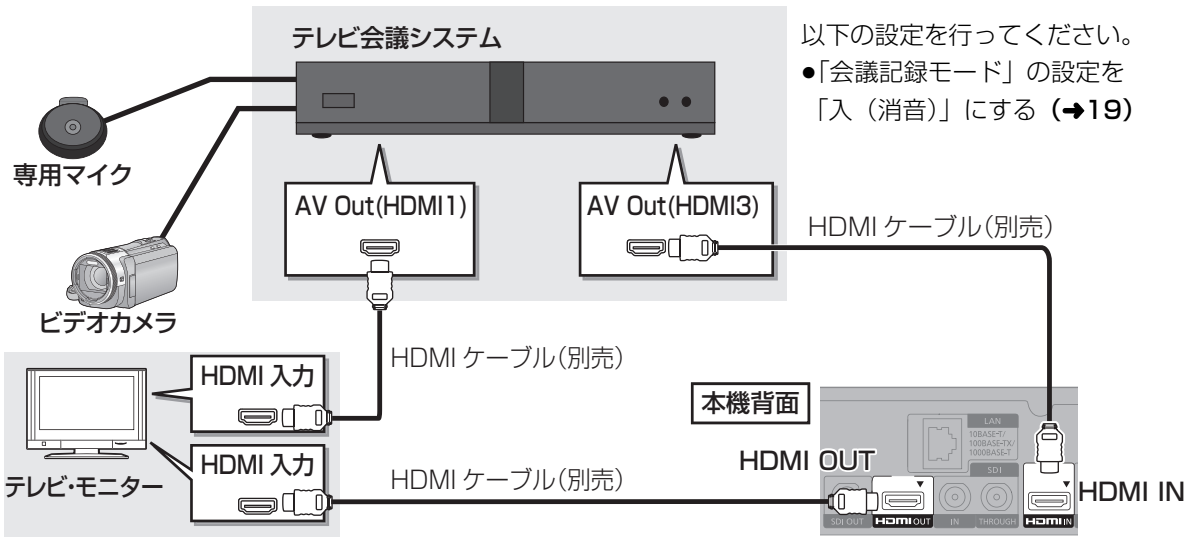
HD コムを会議記録が可能なモードに設定する必要があります。詳しくは HD コムをご購入された販売会社にご相談ください。

KX-VC1300、KX-VC600、KX-VC300、KX-VC500、KX-VC400 Ver.3.1 以降の場合（2014年8月現在）



以下の設定を行ってください。
●「会議記録モード」の設定を「入（L 出力）」にする **(➜19)**

KX-VC1600 の場合



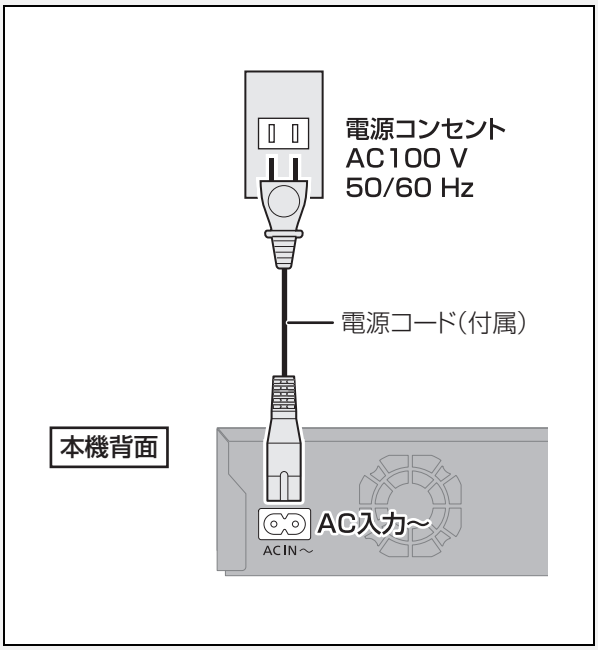
以下の設定を行ってください。
●「会議記録モード」の設定を「入（消音）」にする **(➜19)**

お知らせ

- HDMI ケーブルは、「High Speed HDMI ケーブル 」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

接続3 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。



☞ **長期間使用しないとき**

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

設定する

時刻を合わせる

本機は時刻を合わせて工場出荷されていますが、正確な時刻を必要とするときは、ご使用前に時刻確認、再設定を行ってください。

1 電源 **を押して、電源を入れる**

- 本体の [POWER ⏻/I] を押して、電源を入れることもできます。

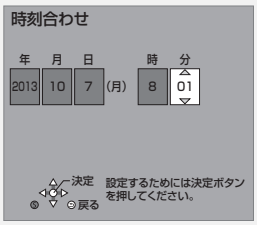
2 初期設定 **を押す**

3 **「設置設定」を選び、** 決定 **を押す**

4 **「時刻合わせ」を選び、** 決定 **を押す**

5 **各項目を選び、設定する**

- 時刻は 24 時間表示です。



6 決定 **を押す**

- 時計が動き始めます。

お知らせ

・時刻に誤差が生じる場合がありますので、ご使用前に時間が合っているか確認してください。

システム機能の設定をする

1 初期設定 **を押す**

2 **「設置設定」を選び、** 決定 **を押す**

3 **「システム機能」を選び、** 決定 **を押す**

4 **設定項目を選び、** 決定 **を押す（➜下記へ）**

5 **設定内容を変更する**

自動電源 ON

「入」に設定しておくと、電源コード接続時に自動的に本機の電源が「入」になります。

自動再生

電源を入れたとき、電源「切」前に選択していたドライブを自動的に続きから再生します。

- ディスクによっては最初から再生される場合があります。
- 電源「切」前に選択していたドライブにメディアが挿入されていない場合、HDD 内の最後に再生した番組を再生します。

タイトルリピート

「入」に設定し再生を開始すると、自動的にリピート再生します。

自動チャプター作成

自動チャプターモード

録画時に指定時間ごとに自動的にチャプターを作成します。

チャプター間隔

「自動チャプターモード」が「入」時に、自動的にチャプターを作成する間隔を設定します。

録画一覧再生位置

番組一覧で最初に選択される番組を設定します。
●「通常」：前回再生した番組を選択
●「先頭」：一番最初の番組を選択
●「最新」：一番最新の番組を選択

「最新」に設定して録画を実行した場合、停止状態から**[► 再生]**を押したときに最初に再生される番組は、一番最新の番組になります。

スクリーンセーバー

「切」に設定すると、市販のディスク停止時などに表示されるスクリーンセーバー（右記）を黒い画面に切り換えます。

録画機能設定

録画先設定
選択中のドライブが「HDD」時に、録画先を「HDD」にするか「USB-HDD」にするかを設定します。

HDD/BD 同時録画機能
「有効」に設定すると、BD ドライブ選択状態で、**[録画 ●]** を押した場合に、HDD とディスクに同時に録画します。
（ディスクは **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** に記録可能）

ディスクへの録画機能
ディスクへの直接録画が可能になります。

エンドレス録画機能
「動作モード」を「有効」に設定すると、「録画先設定」**（➜上記）**で選択されている録画先（HDD または USB-HDD）に録画し続けます。
●24時間ごとに約5分間のシステムリセットを行います。システムリセットの開始時刻は、「システムリセット時刻設定」で設定できます。
システムリセット時は、自動で電源「切」になったあと、電源「入」になります。
●録画時間が 24 時間で 1 番組になります。
●録画先の記録可能時間が選択中の録画モードで 24 時間より少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。
●消去したくない番組は、プロテクト設定**（➜81）**を行ってください。

自動消去
「有効」に設定すると、HDD や USB-HDD の記録可能時間が 1 倍録モードで 24 時間（約 300 GB）より少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。
●選択中のドライブが HDD や USB-HDD 時や録画停止時に自動消去を実行します。
●消去したくない番組は、プロテクト設定**（➜81）**を行ってください。

お知らせ
●「HDD/BD 同時録画機能」「ディスクへの録画機能」「エンドレス録画機能」の3つの機能は、同時に「有効」にはできません。（1つのみ「有効」にできます）
●「ディスクへの録画機能」「エンドレス録画機能」を「有効」にすると、予約録画は実行されなくなります。
●「エンドレス録画機能」と「自動消去」は同時に「有効」にはできません。

タイマー機能

指定された時刻に本機の電源を自動で「入」または「切」にします。

電源 ON 設定 / 電源 OFF 設定
電源 ON 設定、電源 OFF 設定を有効または無効にします。

設定時刻
電源を「入」または「切」にする時刻を設定します。

毎週予約設定
電源を「入」または「切」にする曜日を設定します。

HDCP AUTO

HDCP 非対応の機器と接続時に設定してください。
「入」に設定すると、HDCP 非対応の機器に著作権フリーの番組を正常に出力することができます。（著作権のあるコンテンツは設定にかかわらず出力できません）

HDCP 非対応の機器を使用中に誤って、HDCP AUTO を「切」に変更した場合、映像が乱れるなど正常に出力されなくなることがあります。その場合は、以下の操作をしてください。
① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“11 FHA”が表示されるまで **[►]** を数回押す
③ **[決定]** を 3 秒以上押す
・「入」に設定されます。

音声設定をする

1 初期設定 **を押す**

2 **「音声設定」を選び、決定 を押す**

3 **「記録音声選択」または「会議記録モード」を選び、決定 を押す**

4 **設定内容を変更する**

記録音声選択

記録する音声を選択します。

- 「エンベデッド」：　映像を入力している端子と同じ端子から音声を入力
- 「アナログ」：　映像を入力している端子にかかわらず、アナログ入力端子から音声を入力

会議記録モード

テレビ会議システムを接続している場合に、会議中に出力する音声を設定します。

- 以下のように音声を出力します。
  - 「入（L 出力）」：入力音声の L のみ出力
  - 「入（R 出力）」：入力音声の R のみ出力
  - 「入（消音）」：入力音声を出力しない
  - 「切」：LR 両方の音声を出力
- 会議中は、他拠点の音声が出力されるように設定してください。
  例えば、他拠点の音声が L チャンネル、自拠点の音声が R チャンネルの場合、「入（L 出力）」に設定してください。
- 録画した映像を再生するときは、設定にかかわらず両拠点の音声が出力されます。
- 録画用の出力端子を持つ機器と接続する場合は、「入（消音）」に設定してください。

HDMI 優先モードを設定する
（HDMI 出力端子・SDI 出力端子接続時）

HDMI 出力端子または SDI 出力端子に接続する場合、以下の設定を行ってください。
出力する映像を HDMI 出力端子と SDI 出力端子のどちらを優先するか設定します。

1 初期設定 **を押す**

2 **「テレビ / 機器の接続設定」を選び、決定 を押す**

3 **「HDMI 接続」を選び、決定 を押す**

4 **「HDMI 優先モード」を選び、決定 を押す**

5 **「入」または「切」を選び、決定 を押す**

- 「入」に設定すると、「HDMI 出力解像度」**（➜111）**に合わせて信号を出力します。SDI 出力端子に接続した機器が HDMI から出力される解像度に非対応の場合、SDI 出力端子から出力されません。
「HDMI 出力解像度」**（➜111）**が「1080p」「480p」の場合、SDI 出力端子から出力されません。
- 「切」に設定すると、「SDI 接続」の「出力解像度設定」**（➜21）**に合わせて信号を出力します。

HDMI 出力端子に合わせて設定する

HDMI 出力端子に接続する場合、「HDMI 優先モード」**（➜ 左記）**を設定したあと、「HDMI 音声出力」の設定を行ってください。

1 初期設定 **を押す**

2 **「テレビ / 機器の接続設定」を選び、決定 を押す**

3 **「HDMI 接続」を選び、決定 を押す**

4 **「HDMI 音声出力」を選び、決定 を押す**

5 **「入」または「切」を選び、決定 を押す**

- 「切」に設定すると、HDMI 出力端子から音声は出力されません。

SDI 出力端子に合わせて設定する

SDI 出力端子に接続する場合、「HDMI 優先モード」**(➜20)** を設定したあと、以下の設定を行ってください。

1 初期設定 **を押す**

2 **「テレビ / 機器の接続設定」を選び、決定 を押す**

3 **「SDI 接続」を選び、決定 を押す**

4 **設定項目を選び、決定 を押す（➜下記へ）**

5 **設定内容を変更する**

出力解像度設定

SDI 出力端子から出力する映像の解像度を設定します。

- 「720p」の場合、720p 以外の映像は「1080i」で出力します。

音声出力設定

SDI 出力端子から音声を出力するか設定します。

- 「切」に設定すると、SDI 出力端子から音声は出力されません。
- 「入」に設定すると、HDMI 出力端子からの音声はダウンミックス 2ch の PCM 音声になります。

本書内のマーク表示について

ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW

ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB
USB-HDD	USB-HDD

※ DL、BDXL も含みます。

●同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
- AVCREC 方式の場合　：例）RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
- VR 方式の場合　：例）RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
- ビデオ方式の場合　：例）-R(V) -RW(V)（ただしファイナライズ後は DVD-V）

●ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画（AVCHD）が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示

●ビデオカメラなどで撮影した動画（MP4）が記録された SD カードの場合は、MP4 と表示

USB-HDD を接続時の操作について

本書では、USB-HDD を接続している場合の操作も含めて記載しています。USB-HDD を接続している場合にできる操作については、USB-HDD と表示しています。

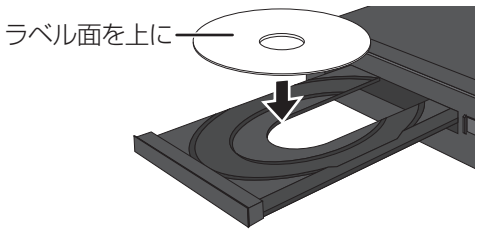
☞ 接続できる USB-HDD については（➜122）

ディスク・SD カードを入れる

ディスク

開/閉 を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- 本体の **[OPEN/CLOSE]** でも操作できます。

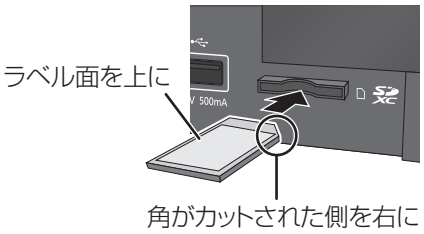


お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
- ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。**(➜126)**
- 傷の付いたディスクは、記録や再生ができません。
- 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。
- **カートリッジ付きディスクについて**
  - ·カートリッジ付きの BD-RE（Ver.1.0）は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
  - ·DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイに載せてください。**(➜ 下記)**
  （TYPE1 は使えません）
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

SD カード

カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む



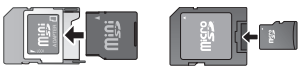
☞ カードを取り出すには

カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

- **本体表示窓の“ ”（➜9）点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
- mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

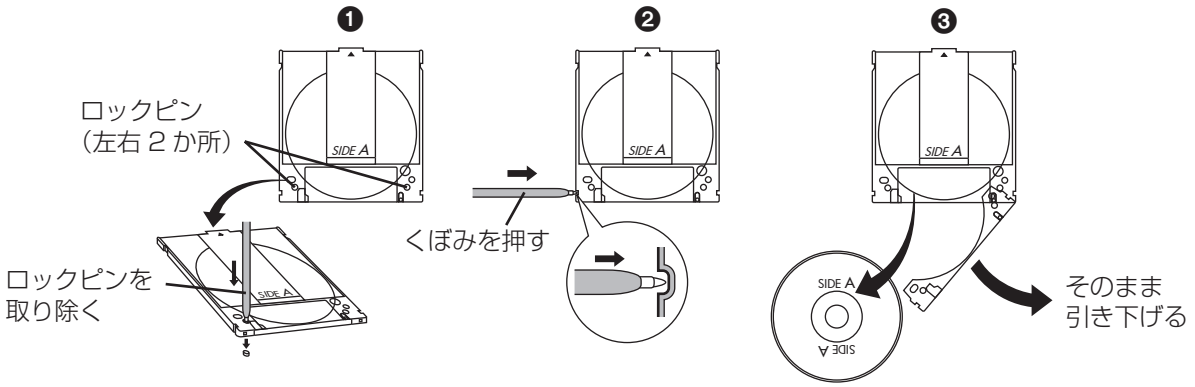
例）



カートリッジ付きディスクの取り出し方例

カートリッジからの取り出し方はディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合



記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録可能なディスク	記録方式	
BD-RE		BD-RE：Ver.2.1（1層/2層）、Ver.3.0（3層）に対応した2倍速メディアまで	—	
BD-R		BD-R：Ver.1.1/1.2/1.3（1層/2層）に対応した6倍速メディア、Ver.2.0（3層/4層）に対応した4倍速メディアまで		
DVD-RAM		Ver.2.0/2.1/2.2に対応した5倍速メディアまで	**AVCREC方式**	
			VR方式 （DVDビデオレコーディング規格）	
DVD-R		DVD-R：Ver.2.0/2.1に対応した16倍速メディアまで	**AVCREC方式**	
			VR方式 （DVDビデオレコーディング規格）	
DVD-R DL （片面2層）		DVD-R DL：Ver.3.0に対応した8倍速メディアまで	**ビデオ方式** （DVDビデオ規格）	
DVD-RW		Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで	**VR方式** （DVDビデオレコーディング規格）	
			ビデオ方式 （DVDビデオ規格）	

●8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。

	記録できるコンテンツ	記録できる画質 録画モード	フォーマットは？（➜100）	備考
	映像 写真	ハイビジョン画質 1倍録 1.5～15倍録	必要	• DL、BDXL™ にも記録できます。 • カートリッジ付きのBD-RE（Ver.1.0）の記録や再生はできません。（カートリッジからディスクを取り出しても使えません） • 2013年5月現在、BD-R（片面4 層）は発売されていません。
	映像 写真	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	• カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。（TYPE1は使えません）
	映像 写真	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要 （データ用ディスクの場合、フォーマット必要）	
	映像	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	
	映像	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
	映像	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要	• コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。
	映像	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
	映像	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	• コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみ記録できます。

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット（**➜100**）することで設定されます。

記録できるディスクについて（続き）

こんなとき
どうしたらいいの?

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
- 当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
- 1 ～ 15 倍録モードの番組や、本機に取り込んだ動画（AVCHD、MP4）は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
  - DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
  - BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

BDXL™

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- **記録したディスクの再生に対応**
- **記録したディスクの記録方式の再生に対応**

  - **AVCREC 方式の場合：**
    対応機器には右記のロゴが付いています。 AVCREC™
    対応機器以外で使用しないでください。
    ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
    -R はファイナライズ（➜103）が必要です。
  - **VR 方式の場合：**
    VR 方式の再生に対応している必要があります。
  - **ビデオ方式の場合：**
    記録後にファイナライズ（➜103）が必要です。

お知らせ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

基本編

本機を使っての基本操作を説明しています。

- ●録画
- ●再生
- ●ダビング
- ●パソコン制御

録画する

HDD **USB-HDD**

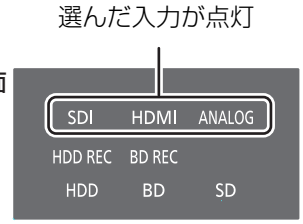
HDD または USB-HDD に録画する場合、「録画先設定」（➜18）で録画先を選択してください。

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

ディスクに直接録画する場合、「ディスクへの録画機能」（➜18）を「有効」に設定してください。

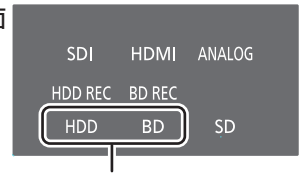
1 SDI HDMI アナログ を押して、入力を選ぶ

●本体の [INPUT] を押して、入力を選ぶこともできます。



2 HDD BD を押して、録画先を選ぶ

●本体の [HDD/BD/SD] を押して、録画先を選ぶこともできます。

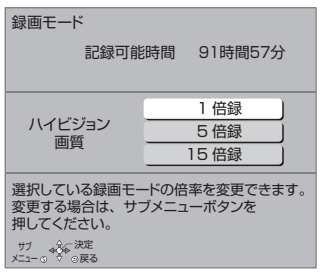


3 録画モード Ⓜ を押して、録画モードを選ぶ

●押すごとに、切り換わります。

●表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

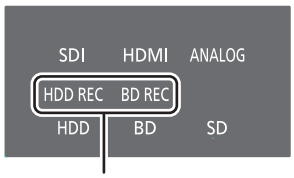
例）



●**[サブ メニュー]** を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。**（➜30）**

4 録画 を押す

●本体の [REC] を押して、録画を開始することもできます。



☞ 録画を止めるには

[■ 停止] を押す
（本体の **[STOP]** を押す）

☞ 記録学習を実行するには

録画前に **[❚❚ 一時停止]** と **[■ 停止]** を5秒以上押す
（本体の **[PAUSE]** と **[STOP]** を 5 秒以上押す）

●ディスクに録画する場合、先頭の数秒間が録画されないときがあります。録画前に記録学習を実行すると、ディスクに記録するための準備が行われ先頭から録画できるようになります。

●記録学習中は、画面上に「録画準備中です。しばらくお待ちください。」、本体表示窓に「PREP」が表示されます。

●1 枚のディスクに、繰り返し記録学習をすると、数十回で記録できなくなる場合があります。

お知らせ

- **録画モードと記録時間の目安（➜154）**
- **録画モードと記録時間の倍率について（➜30）**
- 予約録画が始まると、予約録画が優先され録画は終了します。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

録画中のいろいろな操作

録画を止める

■ 停止 を押す

●本体の **[STOP]** でも停止します。

一時停止する

❚❚ 一時停止 を押す

●本体の **[PAUSE]** でも一時停止します。
●もう一度押す、または **[録画 ●]** を押すと録画を再開します。（番組は分割されません）
●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。
●「HDD/BD 同時録画機能」**(➜18)** で HDD とディスクに同時録画中は、一時停止できません。

録画終了時刻を指定する

本体の [REC] を押す

●押すごとに終了時刻が変わります。
OFF — 0:30 — 1:00 — 1:30 — 2:00 — 3:00 — 4:00

☞ **途中で録画を止めるには**
[■ 停止] を押す

録画しながら再生する

追っかけ再生：
HDD や USB-HDD に録画中の番組を再生します。

同時録画再生：
録画中に録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク録画中は、ディスクの再生はできません。

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、決定 を押す**

録画時の便利な機能

■ HDD/BD 同時録画機能（➜18）
HDD とディスクに同時に録画することができます。

■ ディスクへの録画機能（➜18）
ディスクへの直接録画が可能になります。

■ エンドレス録画機能（➜18）
「録画先設定」**（➜18）**で選択されている録画先に録画し続けることができます。

■ 自動消去（➜18）
HDD やUSB-HDD の記録可能時間が少なくなった場合、古い番組から自動的に消去します。

録画モードについて

録画モード	1 倍録	1.5 ～ 15 倍録	XP・SP・LP・EP	FR
画質	ハイビジョン画質 入力データを圧縮※1して、ハイビジョン映像（24 Mbps）で記録	ハイビジョン画質 入力データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録	DVD画質 DVDと同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP～EPの中で画質を自動調整して記録 ●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。
	—	高画質　長時間	高画質　長時間	—
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R USB-HDD	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD	RAM(VR) -R(VR) -R(V)※2 -RW※2	

※1　MPEG-4 AVC/H.264 エンコード

※2　-R(V) -RW(V) コピー制限のある番組は記録できません。

画質と記録時間について

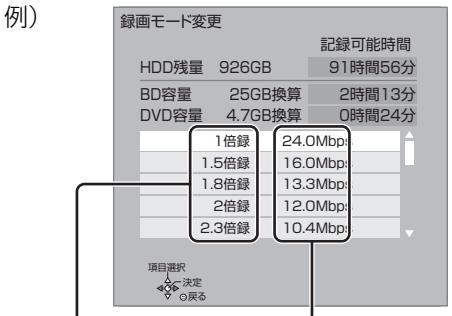
スポーツ、音楽ライブなど、動きや明るさの変化が激しい映像を長時間の録画モード（4 倍録～ 15 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、1 倍録 や 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

DVD（AVCREC 方式）に 1 倍録モードで記録する場合

録画やダビング時に 1 倍録モードを選択できますが、実際には 1.5 倍録モードで記録します。

録画モードと記録時間の倍率について

例）



※ 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像を 1 倍録モード（24 Mbps）で録画した場合との比較を表しています。

☞ 録画モードと記録時間の目安（➜154）

記録の制限について

コピー制限について

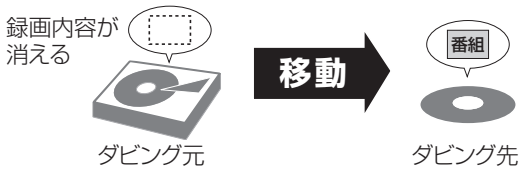
コピー制限のある番組を録画すると、録画先が HDD や USB-HDD、ブルーレイディスクの場合は 1回 を表示します。

DVDの場合は ×回 を表示し、ダビングや移動はできません。

（録画禁止信号のある番組は録画できません）

1回 の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。（複製はできません）

- 通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。（**BD-R** 番組が消去されてもディスク残量は増えません）



- プロテクト設定（**➜81**）されている 1回 の番組はダビングできません。

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」（**➜108**）に従って記録します。**-R(V)** **-RW(V)** へ記録するときに有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」（**➜108**）に従って記録します。480i の映像を 1 ～ 15 倍録モードで記録するときに有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
  - ·HDMI 入力 / アナログ入力から録画
  - ·ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

8 時間以上録画した番組の制限

以下の制限があります。

- 持ち出し番組の作成、番組結合、録画モードの変換はできません。
- ダビングできません。
  ダビングするには、8 時間未満に番組分割（**➜82**）してください。

記録の制限について（続き）

入力信号と出力される解像度について

<table>
<tr><th colspan="2">入力＼出力</th><th>HDMI</th><th>SDI※2</th><th>アナログ</th></tr>
<tr><td rowspan="5">HDMI</td><td>720 × 480i</td><td rowspan="9">●「HDMI 優先モード」(➜111) が「入」時「HDMI 出力解像度」(➜111) に依存※1

●「HDMI 優先モード」(➜111) が「切」時「SDI 接続」の「出力解像度設定」(➜112) に依存</td><td rowspan="2">1080i</td><td rowspan="9">480i</td></tr>
<tr><td>720 × 480p</td></tr>
<tr><td>1280 × 720p</td><td>1080i または 720p</td></tr>
<tr><td>1920 × 1080i</td><td rowspan="3">1080i</td></tr>
<tr><td>1920 × 1080p</td></tr>
<tr><td rowspan="3">SDI</td><td>720 × 480i</td></tr>
<tr><td>1280 × 720p</td><td>1080i または 720p</td></tr>
<tr><td>1920 × 1080i</td><td rowspan="2">1080i</td></tr>
<tr><td>アナログ</td><td>720 × 480i</td></tr>
</table>

●30p、24p の映像は入力できません。

※ 1　「HDMI 優先モード」(➜111) が「入」で「HDMI 出力解像度」(➜111) が「オート」の場合、接続機器の表示能力に依存します。

※ 2　「HDMI 優先モード」(➜111) が「入」で「HDMI 出力解像度」(➜111) が「480p」または「1080p」の場合、出力されません。(「オート」設定時で HDMI 出力が 480p、1080 p の場合も出力されません)

多重音声の記録について

主音声と副音声を含んだ二重音声の番組などを録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

例えば、日本語と英語の２か国語番組を記録する場合

<table>
<tr><th>記録する操作</th><th>記録音声</th><th>記録先</th><th>記録できる音声</th></tr>
<tr><td rowspan="3">アナログ入力 / HDMI 入力 / SDI 入力 からの録画
（ぴったり録画含む）</td><td rowspan="2">二重音声※3</td><td>HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)</td><td>以下の設定に従って記録
「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➜108) の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする</td></tr>
<tr><td>RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)</td><td>両方の音声を記録</td></tr>
<tr><td>ステレオ</td><td>記録先にかかわらず</td><td>ステレオ音声を記録</td></tr>
</table>

※ 3　外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力してください。

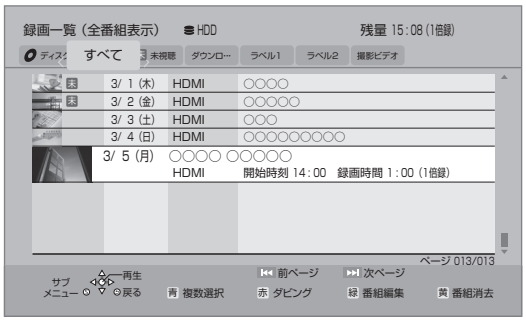
再生する

録画した番組を再生する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、決定 を押す**



●（まとめ表示のとき）
毎日・毎週予約した番組は、まとめ 番組内に録画されます。
まとめ 番組を選んで、**[決定]** を押すと、まとめ 番組内の番組を表示できます。

お知らせ

- **表示マークについては ➜149**
- 録画一覧は録画した日付順に表示されます。（まとめ 番組は、最初に録画した番組の日付で表示します）
- 録画一覧表示中に**[赤]**または**[ダビング]**を押すと、かんたんダビング**（➜42）**を行うことができます。

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を再生する

AVCHD
MP4（SD カードのみ）

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

●以下の動画の再生にも対応しています。
・1080/60p（1920×1080/60プログレッシブ）記録
・AVCHD 3D

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

3 ディスクを入れた場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➜ 手順 5 へ）
SD を入れた場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 **「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す**

5 **「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ（AVCHD）を見る」を選び、決定 を押す**

●複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
再生したい撮影ビデオを選び、**[決定]** を押してください。

6 **タイトルを選び、決定 を押す**

☞ メニューが表示されないときは
[0] ～ [9] で3桁入力してタイトルを再生してください。

お知らせ

- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

例）

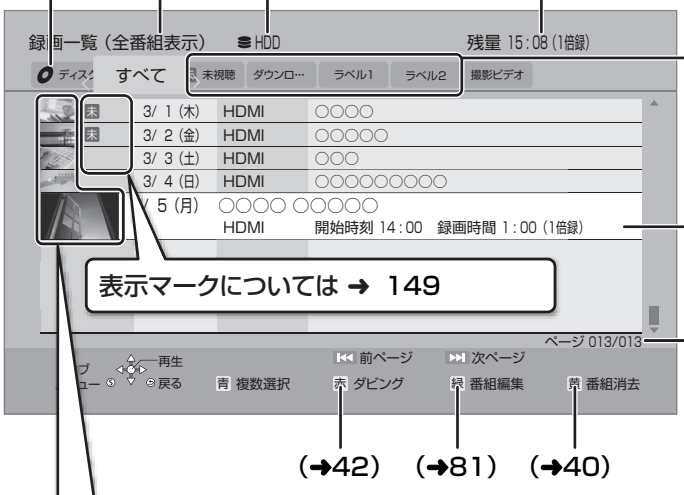
ラベル

●[◀] [▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態

●表示を変えるには（➜37）

選択中のメディア



（➜42） （➜81） （➜40）

残量 / 録画モード

●変更するには（➜28）

表示変更ができるラベル

●お好みに合わせて表示するラベルを変更することができます。

（➜37「分類ラベル設定」）

選択中の番組

ページ数

●[|◀◀] [▶▶|] を押すと、前後のページに表示を切り換えることができます。

押したままにすると、素早く切り換わります。

HDD USB-HDD 録画後すぐは「録画済」と表示

（画像は電源「切」時に作成されます）

●表示される画像を変更するには（➜83「サムネイル変更」）

●ディスクの場合、画像は表示されません。

お知らせ

●録画一覧は録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ●**BD-V** **DVD-V** では表示されません。
USB-HDD		USB-HDD 内の番組（USB-HDD が接続されている場合に表示）
HDD	**すべて**	すべての番組
	未 未視聴	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「未 未視聴」から除外されます。
	ダウンロード	ダウンロードした番組 **（➜95）**
	マイラベル	「マイラベル設定」**（➜71、83）**で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。**（➜37「分類ラベル設定」）**
	撮影ビデオ	ディスクや SD カード、USB 機器から取り込まれた動画（AVCHD、MP4）**（➜56）**

録画一覧上での便利な機能

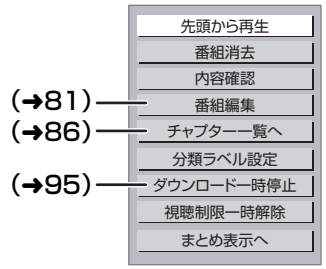
録画一覧画面上で

❶ 番組を選び、 サブメニュー **S** **を押す**

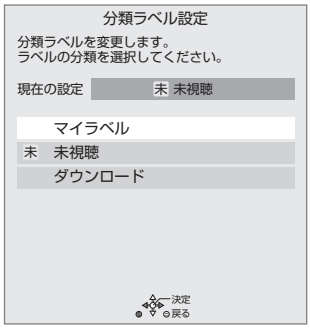
- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル（**➜34**）を選んでから **[サブ メニュー]** を押してください。

❷ 項目を選び、 決定 **を押す（➜ 右記へ）**

例）



先頭から再生 **HDD** **USB-HDD**	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く） **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞ **画面を消すには** **[決定]** を押す
まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

分類ラベル設定 **HDD**	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません。  **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ②「名称変更」を選び、**[決定]** を押す （ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください） ③ ラベル名を入力する **(➜104)**
視聴制限一時解除 **HDD** **USB-HDD**	「HDD 番組の視聴制限」**(➜109)** で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
全番組表示へ **まとめ表示へ** **HDD** **USB-HDD**	表示を切り換えます。

再生時の便利な機能

■自動電源 ON（➜17）

電源コード接続時に自動的に本機の電源が「入」になります。

■自動再生（➜17）

電源を入れたとき、電源「切」前に選択していたドライブを自動的に続きから再生します。

■タイトルリピート（➜17）

再生を開始すると、自動的にリピート再生します。

■録画一覧再生位置（➜18）

番組一覧を開いたときに、最初に選択される番組を設定することができます。

■操作表示を非表示にする

「画面表示動作 [オート]」**(➜110)**を「切」に設定すると、「読み込み中です。」などの本機の状態や操作の表示を非表示にできます。

再生中のいろいろな操作

停止

■停止 を押す
（本体の [STOP] を押す）

続き再生メモリー機能
止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。
- **HDD** **USB-HDD**：番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク：前回止めた位置のみを記憶
  - 記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
  - **BD-V** **DVD-V** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

II一時停止 を押す
（本体の [PAUSE] を押す）

- もう一度押す、または [**►** **再生**] を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し（サーチ）

早戻し または 早送り を押す
（本体の [REW] または [FF] を押す）

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。（5 段階）

- [**►** **再生**] で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

スキップ または スキップ を押す

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク（**➜85**）がある場合は、その場面に飛びます。
- **HDD** **USB-HDD** まとめ再生中は、前後の番組も含めて飛び越します。
- **MP4** できません。

早見再生（1.3 倍速）

1.3倍速 ►再生 を約１秒以上押す
（本体の [PLAY] を約 1 秒以上押す）

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度 [**1.3倍速/► 再生**] を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、「1080/60p」の表示がある番組、**-RW**（ファイナライズ後も含む）、**MP4** ではできません。
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

早戻し または 早送り を押す
（本体の [REW] または [FF] を押す）

押すごとに速度が速くなります。（5段階）

- [**►** **再生**] で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **BD-V**、**AVCHD** では、送り方向のみ働きます。
- **MP4** できません。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

（左または右）を押す

押すごとに 1 コマずつ送り（戻し）ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り（戻し）します。
- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **BD-V**、**AVCHD** では、コマ戻しはできません。
- **MP4** できません。
- 「スチルモード」**(➜109)** で「フィールド」または「フレーム」に切り換えることができます。

音声の切り換え

音声切換 を押す

- 押すごとに、番組の内容によって切り換わります。
- **BD-V** **DVD-V** ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- **MP4** できません。

時間を指定して飛び越す（タイムワープ）

❶ **タイムワープ（＋または－）を押す**

- 押すごとに 1 分ずつ送り **[＋]**、戻し **[－]** します。

❷ **決定 を押す**

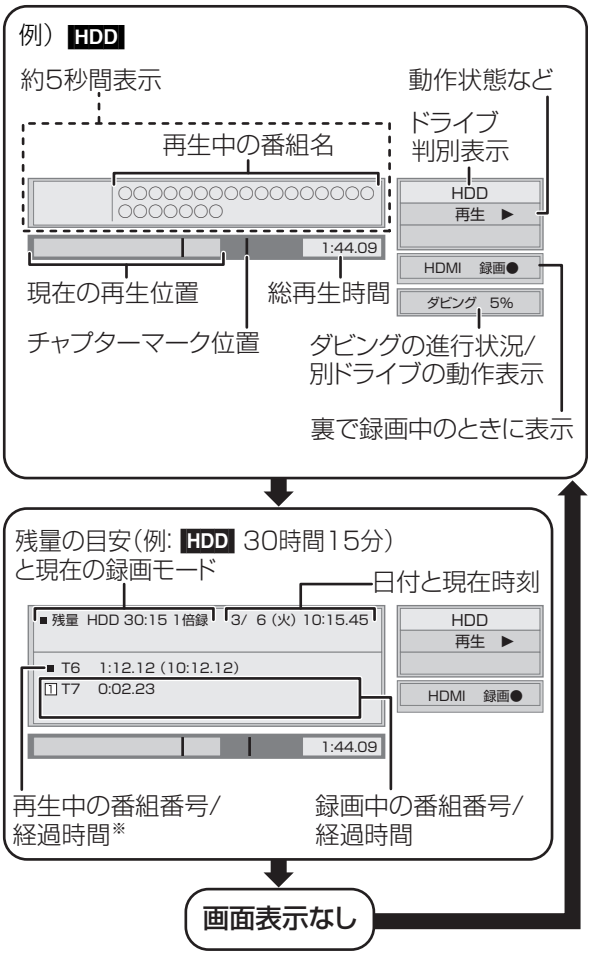
- **BD-V** **DVD-V** **AVCHD** **MP4** できません。

情報を表示する

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 を押す

- 押すごとに切り換わります。



※ かっこ内の時間は、録画開始時刻と経過時間を足した時間です。

残量表示について

記録可能なおおよその時間を表示しています。

お知らせ

- ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

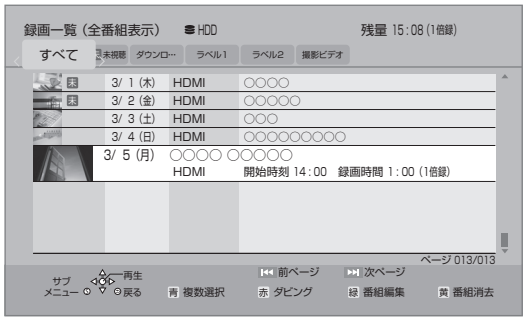
再生

消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

1 録画一覧 を押す

2 番組を選び、消去 または 黄 を押す



●（まとめ表示のとき）
まとめ 番組内の番組を消去する場合、
[**消去**] または [**黄**] を押す前に、[**決定**] を押して、まとめ 番組内の番組を表示してください。

3 「消去」を選び、決定 を押す

☞ 再生中の番組を消去するには

① 番組を再生中に [**消去**] を押す
②「消去」を選び、[**決定**] を押す

お知らせ

- まとめ 番組内の番組を消去して、残り 1 番組になった場合、まとめ 番組は解除されます。（残った番組は録画した日付で表示されるようになります）
- HDD 消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く）
- HDD 消去中に他の操作をしたり、番組分割した番組を消去する場合は、消去に時間がかかることがあります。
- HDD 消去が完了しても、HDDの残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- **消去後のディスク残量について**
  - HDD BD-RE RAM -RW(VR) USB-HDD
    消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - -RW(V)
    最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

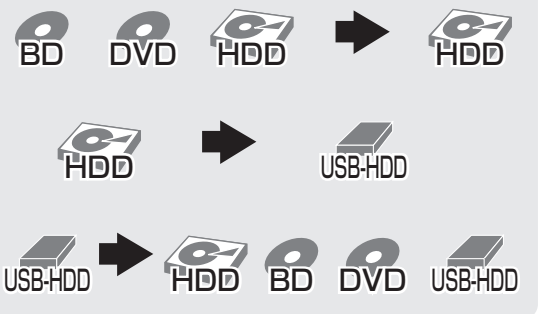
← 消去しても残量は増えません →			→ 消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

  - BD-R -R 消去しても残量は増えません。

ダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。
ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を選んでください。

- 難しい設定はせずに番組をダビングしたい
  …**かんたんダビング（➜42）**
- お好みの設定でダビングしたい
- FR モードで DVD の残量ぴったりにダビングしたい
  …**詳細ダビング（➜44）**
- 再生中の番組をダビングしたい
  …**再生中番組の保存（➜48）**



詳細ダビング（➜44）

HDD と USB-HDD 間のダビングについて

- ダビング元の番組は消去されます。
  （番組をダビング元に残したい場合、詳細ダビングで番組を複製してからダビングしてください）
- HDD の持ち出し番組は消去されます。
- ダビングの残り回数は減りません。
- 以下の番組は USB-HDD へダビングできません。
  - 撮影ビデオ（AVCHD、MP4）
  - MPEG2 動画
  - XP、SP、LP、EP、FR モードの番組

8 時間以上の番組はダビングできません。

ダビングするには、番組分割（➜82）をして 8 時間未満の番組にしてください。

ディスクから HDD へのコピー制限のある番組のダビングについて（ムーブバック）

- DVD からはできません。
- BD からは移動になります。

（ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません）

- BD-RE BD-R 以下の番組は移動できません。
  - ディスク内で番組分割した番組
  - 当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組
  - BD-R ファイナライズしたディスク

☞ **ダビングしたディスクを他の機器で再生するには（➜26）**

ダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

HDD にある番組をディスクにダビングします。

1 ディスクを入れる

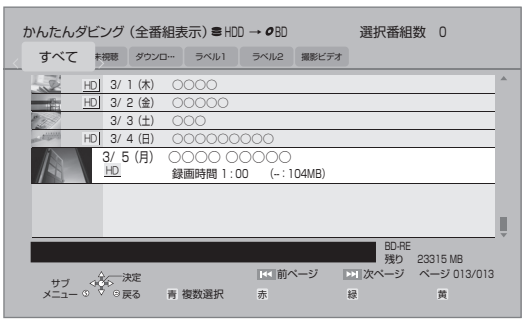
2 ダビング を押す

3「かんたんダビング」を選び、決定 を押す

●**RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
画質を選び、**[決定]** を押してください。

4 番組を選び、決定 を押す

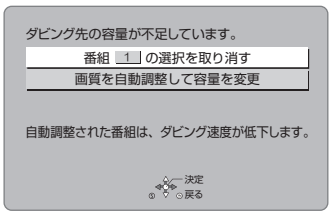
●複数の番組をダビングする場合、番組を選んで **[青]** を押す操作を繰り返してください。
（選んだ番組には ☑ が表示されます。
もう一度 **[青]** を押すと選択を取り消します。）



☞ 選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

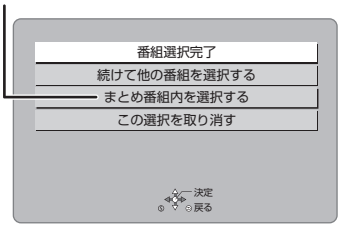
例）



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5「番組選択完了」を選び、決定 を押す

手順 **4** でまとめ番組を選んだときのみ表示

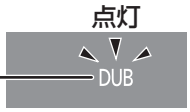


他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。**（➡ 手順 4 へ）**

6「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●オプション設定について **（➡43）**

7「はい」を選び、決定 を押す



ダビングが終わると消灯

本体表示窓

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

☞ ダビングの進行状況を表示するには

[画面表示] を押す

スタート画面の「ダビングする」を選んでも進行状況を確認できます。

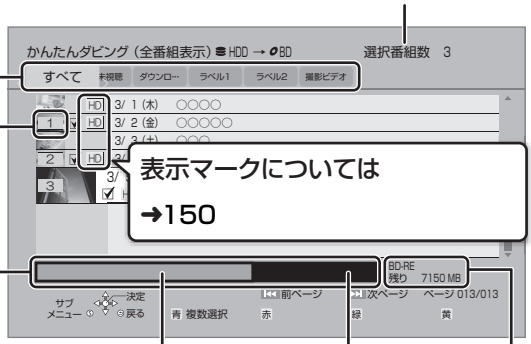
お知らせ

- 「DVD 画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
  - 1 の番組が含まれている場合　：VR 方式
  - 1 の番組が含まれていない場合　：ビデオ方式
- 1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。（まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません）
- プロテクト設定 **（➡81）** されている 1 の番組はダビングできません。
- まとめ 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、**[サブ メニュー]** を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。

かんたんダビングの画面の見方

異なるラベルの番組を複数選んで
ダビングすることはできません。

選択中の番組数



ディスク容量

ディスクの記録済みの容量と
選択中番組の容量の合計

ディスクの
空き容量

ダビング先のディスク/
ディスクの空き容量

選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順に
ダビングされます。

ダビングする画質について

HD **表示のある番組：**

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

  BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**
- 以下のディスクはDVD画質でのダビングになります。

  RAM(VR) **-R(VR)** **-R(V)** **-RW**

HD **表示のない番組：**

- **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にはハイビジョン画質でダビングします。（ただし画質は向上しません）

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面（**➜42 手順 4**）で

❶ **番組を選び、** サブメニュー (S) **を押す**

❷ **項目を選び、** 決定 **を押す（➜ 下記へ）**

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ●ダビング終了後自動電源［切］ ●ダビング終了後自動ファイナライズ（**-R** **-RW** のみ）
視聴制限一時解除※	「HDD番組の視聴制限」（**➜109**）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※ 番組に ☑ が付いているときはできません。

ダビングする（続き）

詳細ダビング

ダビング方向：

- HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD
- BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) ➡ HDD
- USB-HDD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD

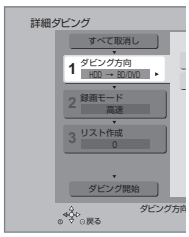
●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜100）

1 ダビング **を押す**

2 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

3 項目を選び、[▶] を押す

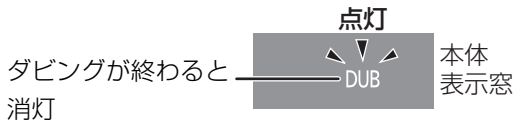
●「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



1 ダビング方向 HDD → BD/DVD （➜ 右記）
2 録画モード 高速 （➜45）
3 リスト作成 0 （➜45）
4 詳細設定 （➜45）

4 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

5 「ダビングする」または「ダビング後に電源 [切]」を選び、決定 を押す



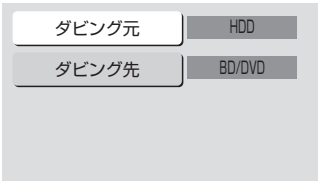
☞ **ダビングを実行中に中止するには**

[戻る] を 3 秒以上押す

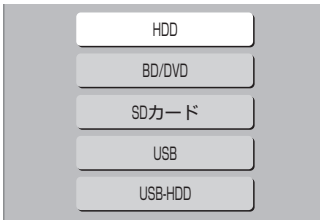
●ファイナライズ中は中止できません。

ダビング方向

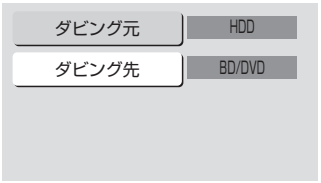
❶ 「ダビング元」を選び、決定 を押す



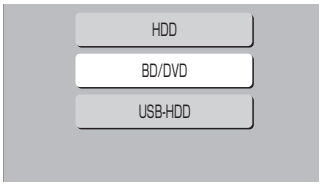
❷ ダビング元を選び、決定 を押す



❸ 「ダビング先」を選び、決定 を押す



❹ ダビング先を選び、決定 を押す



❺ [◀] を押す（➜ 左記手順3へ）

お知らせ

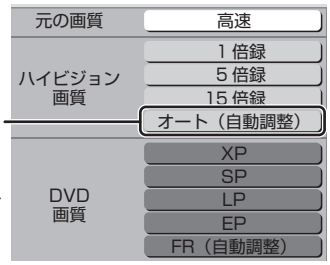
- HDD USB-HDD ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。（複製後は まとめ 番組になります）
  ・1回 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。

録画モード

❶「録画モード」を選び、決定 を押す

❷ 録画するモードを選び、決定 を押す

記録先の空き容量に合わせて、1.5〜15倍録モードの中から自動で選択してダビングします。



●ハイビジョン画質を選択時に **[サブ メニュー]** を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。**(➜30)**

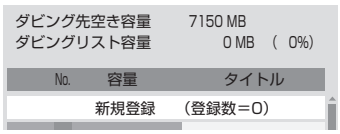
❸ **[◀] を押す（➜44 手順3へ）**

お知らせ

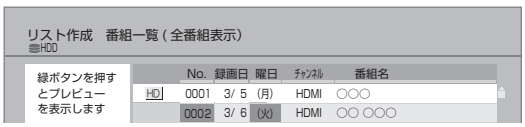
- **録画モードと記録時間の目安（➜154）**
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- **-RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** 1 倍録モードを選んでも、1.5 倍録モードでダビングします。

リスト作成（番組を選択する）

❶「新規登録」を選び、決定 を押す



❷ 番組を選び、青 を押す



- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

☞ **選択を取り消すには**

番組を選び、**[青]** を押す

❸ **選び終わったあと、決定 を押す**

❹ **[◀] を押す（➜44 手順3へ）**

お知らせ

- **USB-HDD** にダビングする場合や高速モードで **BD-RE** **BD-R** にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。（**USB-HDD** には「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません）
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  ・管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

（**-R** **-RW** へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、決定 を押す

❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

❸ **[◀] を押す（➜44 手順3へ）**

（**BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** へ 1 〜 15 倍録 モードを選んでダビングするときのみ）

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、決定 を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、決定 を押す

- モード 1：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード 2：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」**(➜77)** で記録する内容を設定してください。

❸ **[◀] を押す（➜44 手順3へ）**

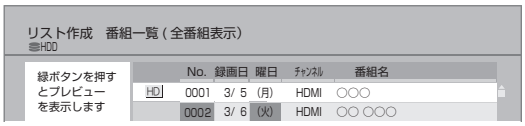
お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ **(➜103)** を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

詳細ダビング（続き）

ダビングの便利な機能

リスト作成画面（➜45「リスト作成」手順❷）で



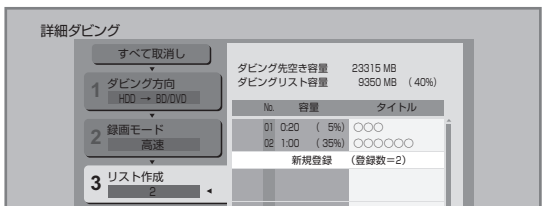
❶ 番組を選び、サブメニュー（S）を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除※ **HDD** **USB-HDD**	「HDD 番組の視聴制限」（➜109）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え※ **HDD** **USB-HDD**	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※ **HDD** **USB-HDD**	表示を切り換えます。

※ 番組に☑が付いているときはできません。

リスト作成画面（➜45「リスト作成」手順❶）で



●登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、**[決定]** を押す

●リスト項目を入れ替える：
番組を選び、**[決定]** を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ

●リストの追加や消去、移動などの編集をする：
[サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
・リスト全消去
・追加
・消去
・移動

ファイナライズ後のディスク（DVD ビデオ）をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

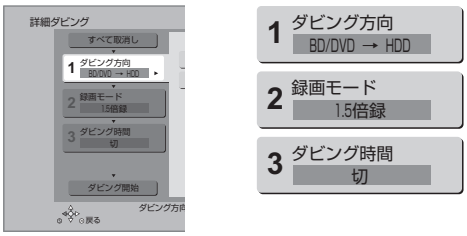
ダビング方向：
DVD-V（ファイナライズ後の **-R(V)** **-RW(V)**）➜ **HDD**

1 ダビング を押す

2 **「詳細ダビング」を選び、決定 を押す**

3 **項目を選び、[▶] を押す**

●操作方法は「詳細ダビング」（➜44）をご覧ください。



以下のように設定してください。
・**「ダビング方向」**：「ダビング元」➜「BD/DVD」
・**「録画モード」**：「録画モード」を選ぶ
（1 ～ 15 倍録のみ選べます）
・**「ダビング時間」**：ダビング時間を設定する（➜47）

4 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

5 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、決定 を押す

●最初に右記の画面がダビングされます。
●番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

6 ダビングしたい番組の再生を始める

☞ トップメニューが表示された場合は
番組を選び、[**決定**] を押す

☞ 好みの番組を再生するには
① [**録画一覧**] を押す
② 番組を選び、[**決定**] を押す

☞ ディスクの再生が始まらない場合は
① [**▶ 再生**] を押す
②（トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[**決定**] を押す

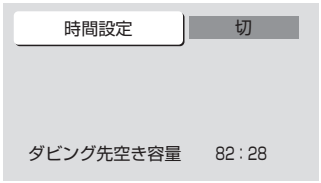
☞ ダビングを実行中に中止 / 終了するには
[**戻る**] を 3 秒以上押す

お知らせ

- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ（**➜38**）で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」（**➜108**）の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

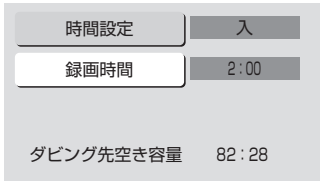
ダビング時間

❶「時間設定」を選び、決定 を押す

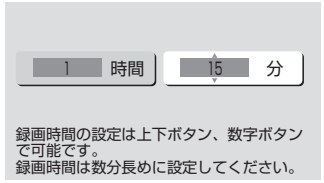


❷「入」または「切」を選び、決定 を押す
●「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

❸「録画時間」を選び、決定 を押す



❹ “時間” または “分” を選び [▲][▼] で設定し、決定 を押す



ダビングする（続き）

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。（1 番組のみダビング）

- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -RW

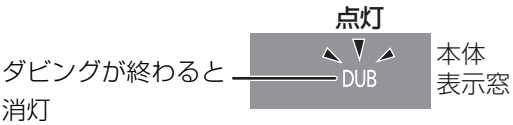
- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜100）

1 **ダビングしたい番組を再生する**

2

を押す

3 **「保存開始」を選び、決定 を押す**



☞ **ダビングを実行中に中止するには**

[戻る] を 3 秒以上押す

ダビング時の動作について

-R(V) -RW(V) に画質変更ダビングするときの動作

番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクにダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。
HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。HDD の不要な番組を消去 (➜40) してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数 (➜156) を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
- BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

部分消去した番組の画質変更ダビングについて

部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

3D 対応の番組のダビングについて

- 3D 表示のある番組を RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されます。
  - ダビング先の BD-RE BD-R の残量が少ない
  - BD-RE BD-R 以外のディスクへのダビング

二重音声の番組のダビングについて

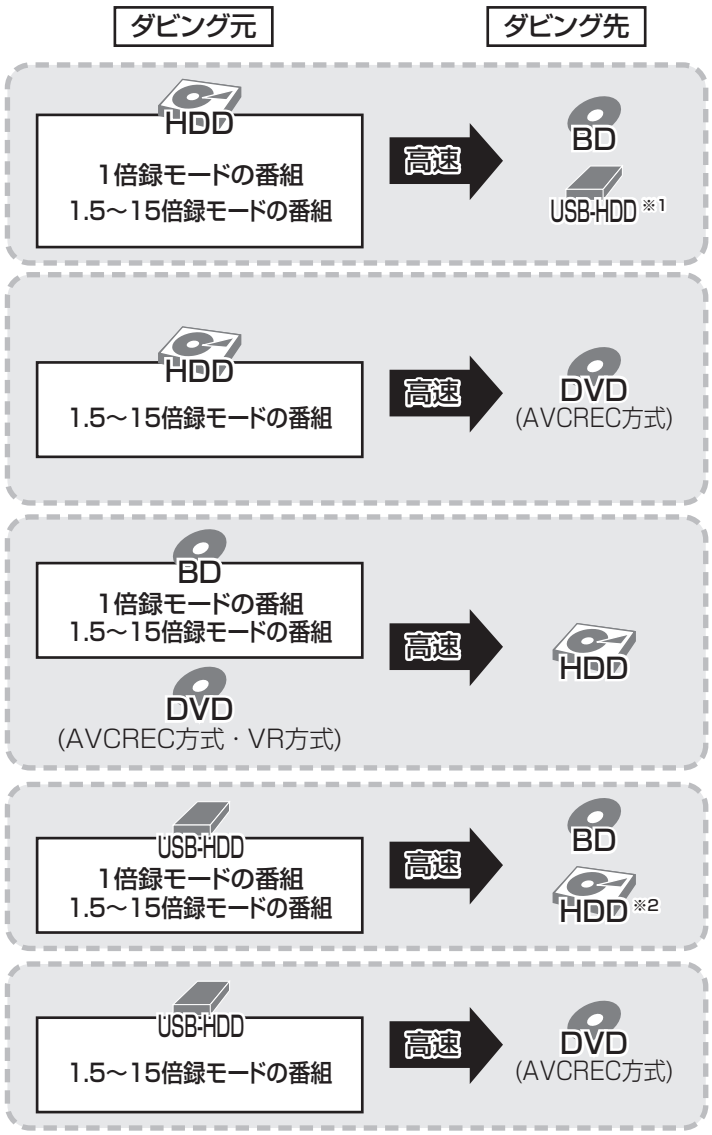
録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) USB-HDD RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
  両方の音声を記録
- -R(V) -RW(V) 以下の設定に従って記録：
  「DVD-Video 記録の設定」(➜108) の「ぴったり録画の音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする

ダビング時の動作について（続き）

ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。

高速でダビングできる場合

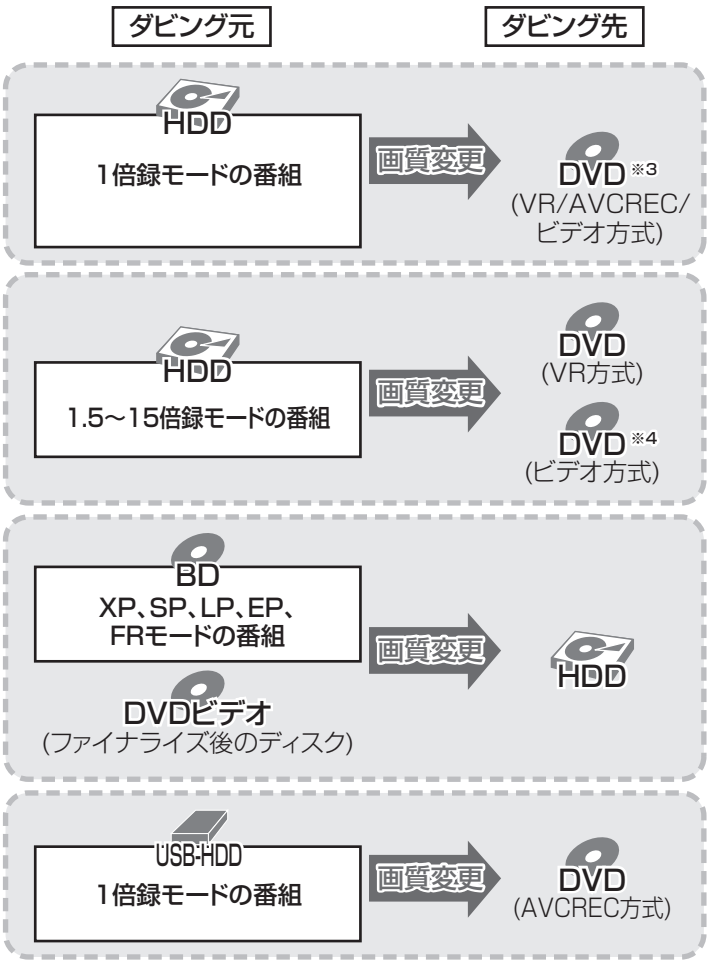


※1　USB-HDD へは移動のみできます。
（ダビング残り可能回数を保持したまま転送され、HDD の番組は消去されます）

※2　HDD へは移動のみできます。
（ダビング残り可能回数を保持したまま転送され、USB-HDD の番組は消去されます）

- 高速ダビングでの録画モードは、ダビングする番組と同じです。
- ディスク容量を超えてダビングする場合やディスクに記録した機器によっては、画質変更ダビングになります。
- HDD にダビングした XP、SP、LP、EP、FR モードの番組をディスクにダビングする場合、VR 方式の DVD には高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。

高速でダビングできない場合 （画質変更ダビングになる場合）



※３　ビデオ方式の DVD には、コピー制限のない番組のみダビングできます。

※４　コピー制限のない番組（ビデオカメラで撮影した映像など）のみダビングできます。

●ダビングする番組によっては、ダビング速度が遅くなることがあります。
また、画質変更ダビング中に視聴や再生などを行った場合もダビング速度が遅くなることがあります。

録画した番組を SD カードに書き出す（持ち出し番組）

本機では、録画した番組から HD 画質の MP4 動画を持ち出し番組として作成し、SD カードに書き出すことができます。

●MP4 動画は、1280 × 720 30p baseline profile（4.5 Mbps）で作成されます。

持ち出し番組を作成する

HDD

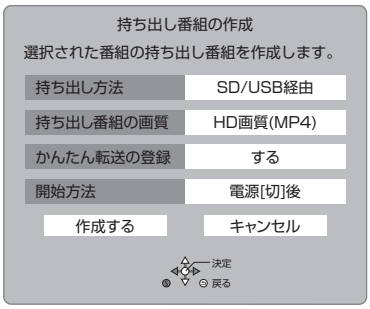
HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

1 録画一覧 **を押す**

2 **作成する番組を選び、緑 を押す**

3 **「持ち出し番組の作成」を選び、決定 を押す**

4 **「持ち出し方法」を選び、「SD/USB 経由」に設定する**



5 **「持ち出し番組の画質」を選び、「HD 画質（MP4）」に設定する**

●「ワンセグ画質 (QVGA)」または「高画質 (VGA)」を選ぶと、SD-Video 形式になります。

6 **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**

●「する」に設定しておくと、「かんたん転送」**(➜53)** で自動的に転送することができます。

7 **「開始方法」を選び、設定する**

●すぐに：
下記手順 **9** の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

●電源 [切] 後：
電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

8 **「作成する」を選び、決定 を押す**

9 「すぐに」作成を開始する場合：
「開始」を選び、決定 を押す

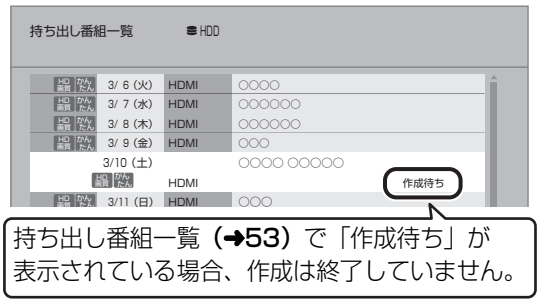
●本機の動作状態によっては、持ち出し番組の作成にかかる時間は表示時間と異なる場合があります。

☞ **作成を実行中に中止するには**
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合：
決定 **を押す**

☞ **作成の設定内容を変更・取り消しするには**
手順 **3** のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、**[決定]** を押す

☞ **作成が終了しているか確認するには**



持ち出し番組一覧 **(➜53)** で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

お知らせ

- コピー制限のある番組は、「HD 画質（MP4）」を選べません。
- 120 分以上の番組を書き出す場合、まず番組分割 **(➜82)** して 120 分未満に分割してから、持ち出し番組を作成してください。

SD カードに書き出す

かんたん転送

「かんたん転送」の登録をした番組をすべて転送します。（最大 99 番組まで転送可能）
登録した番組は、持ち出し番組一覧（➜ 右記）で確認することができます。

- 登録は、持ち出し番組の作成時（➜52）または作成後（➜54）に行うことができます。

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定 を押す

持ち出し番組一覧から転送する

1 スタート を押す

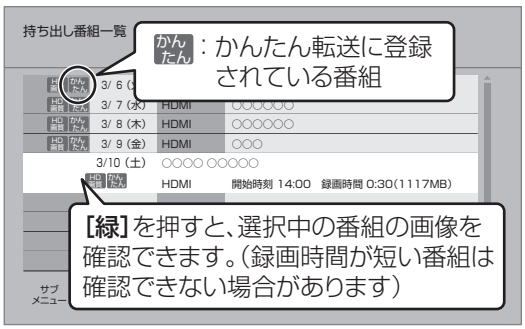
2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

3 「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「持ち出し番組」を選び、決定 を押す

5 「持ち出し番組を転送する」を選び、決定 を押す

6 番組を選び、青 を押す



- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

☞ 選択を取り消すには
番組を選び、[青] を押す

7 選び終わったあと、決定 を押す

8 「転送を開始する」を選び、決定 を押す

録画した番組を SD カードに書き出す（持ち出し番組）（続き）

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」（➜53）
手順 5 のあと

❻ 番組を選び、サブメニュー (S) を押す

❼ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。**（➜53 手順 8 へ）**
持ち出し番組消去	持ち出し番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」**（➜53）** の登録をします。（かんたん が表示されます）
かんたん転送の解除	「かんたん転送」**（➜53）** の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」**（➜109）** で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
  - ・通常の番組の再生はできません。
  - ・録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置 **（➜38「続き再生メモリー機能」）** とチャプターマーク **（➜85）** を通常の番組から引き継ぎます。
  - ・ダウンロードした番組では再生停止位置は引き継ぎません。
  - ・作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
  - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定 **（➜81）** されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。
- 消去中に他の操作を行うと消去に時間がかかる場合があります。
- 1 表示のある番組をダビング（転送）すると、通常の番組・持ち出し番組は HDD から消去されます。

書き出した番組を確認する

MP4 画質で SD カードに書き出した番組は、以下の手順で確認することができます。

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

3 **「SD カード」を選び、決定 を押す**

4 **「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す**

5 **「撮影ビデオを見る」を選び、決定 を押す**

- 複数種類の撮影ビデオが SD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
「MP4」を選び、**[決定]** を押してください。

SD カードに書き出した MP4 動画は、以下の場所に保存されます。（＊は数字）
¥DCIM¥＊＊＊_MP4¥MOV_＊＊＊＊.MP4

☞ **ワンセグ画質 (QVGA) または高画質 (VGA) で書き出した動画を確認するには**

① **[スタート]** を押す
②「メディアを使う」を選び、**[決定]** を押す
③「SD カード」を選び、**[決定]** を押す
④「持ち出し番組」を選び、**[決定]** を押す
⑤「持ち出し番組を確認する」を選び、**[決定]** を押す

SD カード・USB・ディスクから撮影ビデオを取り込む

撮影ビデオ（AVCHD、MP4）を取り込む

USB　SDカード　ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 「1080/60p」※や「AVCHD 3D」の表示がある番組は HDD BD-RE BD-R にのみ取り込むことができます。
  ※ 1080/60p（1920×1080/60プログレッシブ）記録の番組
- MP4の番組は HDD にのみ取り込むことができます。（高速で取り込みはできません）
- MP4 取り込み時の画質は、「MP4 取り込み画質」（➜108）で選ぶことができます。
  「高画質モード」は 2 倍録相当、「標準モード」は 5 倍録相当の画質になります。

取り込んだ動画の録画一覧での表示

HDD の録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD※　：「AVCHD」
  ※サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む。
- AVCHD 3D　：「AVCHD 3D」
- 1080/60p の番組　：「AVCHD PRO」
- MP4　：「AVC VIDEO」

かんたん差分取り込み

USB　SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

取り込み方向：

USB SD ➡ HDD

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

3 **USB から取り込む場合：**
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 **「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す**

USB 手順 6 へ

5 **「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す**

6 **「かんたん差分取り込み」を選び、決定 を押す**

7 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**

お知らせ

- 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、SD カードは 5 枚、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。
- 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜109）や「全番組消去」（➜109）を行うと、削除されます。
- 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」（➜57）を行ってください。
- MP4 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまうことがあります。
  ・ビデオカメラなどで編集
  ・取り込みを中断

選んで取り込み

USB　SDカード　ディスク

取り込み方向：

- USB SD ➡ HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
- AVCHD を記録したディスク ➡ HDD

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す（➡ 手順 5 へ）

USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 **「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す**

USB 手順 6 へ

5 **「撮影ビデオを取り込む」または「撮影ビデオ（AVCHD）を取り込む」を選び、決定 を押す**

ディスクから取り込む場合（➡ 手順 7 へ）

6 **「選んで取り込み」を選び、決定 を押す**

- 複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。取り込みたい撮影ビデオを選び、**[決定]** を押してください。
- USB SD「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、**[決定]** を押してください。

7 **タイトルを選び、青 を押す**

- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

☞ **選択を取り消すには**
タイトルを選び、**[青]** を押す

8 **選び終わったあと、決定 を押す**

9 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**

- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

お知らせ

- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合、99 シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

SD カード・USB・ディスクから撮影ビデオを取り込む（続き）

MPEG2 動画を取り込む（ダビング）

USB　SDカード

当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングします。

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜100）

ダビング方向：

USB SD ➜ HDD RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

3 **USB から取り込む場合：**
「USB 機器」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 **「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す**

USB 手順 6 へ

5 **「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す**

6 **「選んで取り込み」を選び、決定 を押す**

●複数種類の撮影ビデオがSDカードやUSB機器に存在している場合、メッセージが表示されます。「MPEG2」を選び、**[決定]** を押してください。

7 **項目を選び、[▶] を押す**

●操作方法は「詳細ダビング」（➜44）をご覧ください。
以下のように設定されているかご確認ください。
・「ダビング方向」：「ダビング元」➜「USB」または「SD カード」

8 **「ダビング開始」を選び、決定 を押す**

9 **「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、決定 を押す**

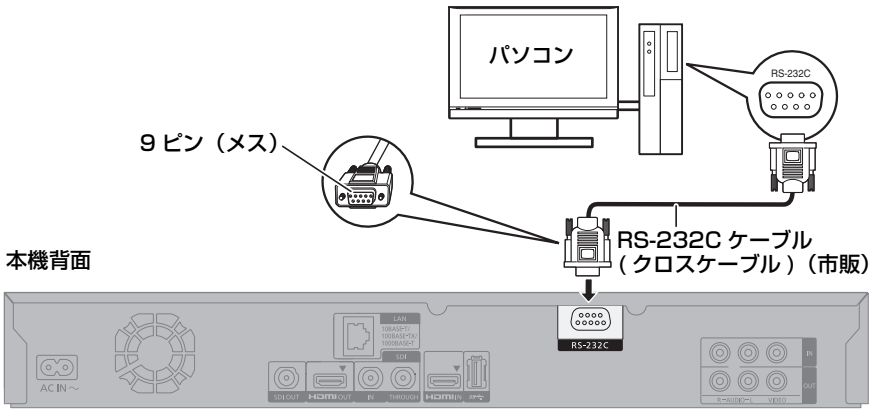
お知らせ

●ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
●USB 機器や SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
●ダビング中は、録画や再生はできません。
●BD-RE、BD-R には直接ダビングできません。いったん HDD にダビングしてから、ディスクにダビングしてください。

パソコンで本機を制御する

RS-232C ケーブルを使用してパソコンと接続する

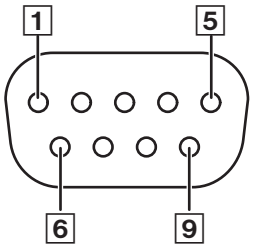
本機は背面に 9 ピン D-Sub のインターフェースコネクタがあります。RS-232C ケーブルでパソコンと接続すると、パソコンで本機を制御することができます。



お知らせ

- パソコンとの接続には、クロスケーブルをお使いください。
- その他の接続は、接続のページをご覧ください。(➔11 ～ 16)

RS-232C インターフェース仕様



ピン番号	信号名	入出力方向	機能
1	DCD	IN	NC(何も接続されていません)
2	RxD	IN	受信データ
3	TxD	OUT	送信データ
4	DTR	OUT	NC(何も接続されていません)
5	GND	---	グランド
6	DSR	IN	NC(何も接続されていません)
7	RTS	OUT	内部で接続されています。
8	CTS	IN	
9	RI	IN	NC(何も接続されていません)

※本機では、RxD(2)、TxD(3)、GND(5) のみを使用します。

お知らせ

- 本体ボタンやリモコンボタンで操作中は、コマンドを受け付けない場合があります。

パソコンで本機を制御する(続き)

通信条件

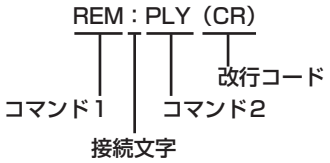
信号レベル	RS-232C 準拠
同期レベル	調歩同期
ボーレート	9600 bps
パリティ	なし

キャラクター長	8 ビット
ストップビット	1 ビット
X パラメーター	なし
S パラメーター	なし

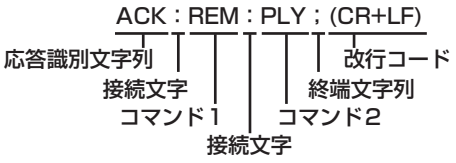
シリアル・コマンド体系

例 1）再生させるとき

入力コマンド

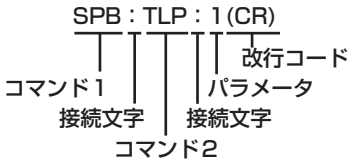


応答シリアル

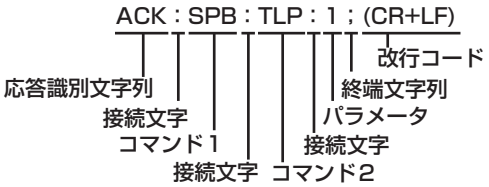


例2）タイトルリピートさせるとき

入力コマンド



応答シリアル



お知らせ

- 複数のコマンドを送信する場合は、必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。
- パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン(：)は必要ありません。
- 誤ったコマンドを送信すると、本機から「**ACK:ERR;**」というシリアルがパソコン側に送信されます。
- コマンドに対してタイムアウトが発生した場合は、本機から「**ACK:TMO;**」というシリアルがパソコン側に送信されます。

RS-232C コマンド一覧

下記コマンド一覧にあるコマンドを使って、本機の制御ができます。
- 本機では、フレーム単位での制御はできません。番組 / タイトル / チャプター単位での制御になります。
- 本機で使用されるコマンドは、当社製以外の製品との互換性はありません。
- コマンドには、大文字のみを使用してください。小文字はコマンドとして認識できません。

通常コマンド（リモコンでの操作）

以下のコマンドを使用すると、リモコンを使うのと同じ操作ができます。

- 通常のリモコン操作と同じ GUI が表示されます。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	本機リモコンボタンとの関連
1	電源 OFF	REM:POF	ACK:REM:POF;	[電源]
2	電源 ON	REM:PON	ACK:REM:PON;	[電源]
3	10 キーの 1	REM:TK1	ACK:REM:TK1;	[1]
4	10 キーの 2	REM:TK2	ACK:REM:TK2;	[2]
5	10 キーの 3	REM:TK3	ACK:REM:TK3;	[3]
6	10 キーの 4	REM:TK4	ACK:REM:TK4;	[4]
7	10 キーの 5	REM:TK5	ACK:REM:TK5;	[5]
8	10 キーの 6	REM:TK6	ACK:REM:TK6;	[6]
9	10 キーの 7	REM:TK7	ACK:REM:TK7;	[7]
10	10 キーの 8	REM:TK8	ACK:REM:TK8;	[8]
11	10 キーの 9	REM:TK9	ACK:REM:TK9;	[9]
12	10 キーの 0	REM:TKA	ACK:REM:TKA;	[0]
13	＊	REM:TKB	ACK:REM:TKB;	[＊]
14	#	REM:TKC	ACK:REM:TKC;	[#]
15	音声切換	REM:AUD	ACK:REM:AUD;	[音声切換]
16	トレイ open/close	REM:TRY	ACK:REM:TRY;	[開 / 閉 ⏏]
17	スキップ正	REM:FSK	ACK:REM:FSK;	[⏭ スキップ]
18	スキップ逆	REM:RSK	ACK:REM:RSK;	[⏮ スキップ]
19	早送り	REM:FSR	ACK:REM:FSR;	[▶▶ 早送り]
20	早戻し	REM:RSR	ACK:REM:RSR;	[◀◀ 早戻し]
21	停止	REM:STP	ACK:REM:STP;	[■ 停止]
22	一時停止	REM:PUS	ACK:REM:PUS;	[❚❚ 一時停止]
23	再生	REM:PLY	ACK:REM:PLY;	[▶ 再生]
24	1.3 倍速再生	REM:QPY	ACK:REM:QPY;	[▶ 再生]
25	画面表示	REM:STA	ACK:REM:STA;	[画面表示]
26	機能一覧表示	REM:FUN	ACK:REM:FUN;	[スタート]
27	ポップアップメニュー表示	REM:POP	ACK:REM:POP;	[ポップアップメニュー]
28	録画一覧表示	REM:TOP	ACK:REM:TOP;	[録画一覧]
29	再生設定	REM:DIS	ACK:REM:DIS;	[再生設定]
30	上	REM:CUP	ACK:REM:CUP;	[▲]
31	下	REM:CDW	ACK:REM:CDW;	[▼]
32	左	REM:CLF	ACK:REM:CLF;	[◀]
33	右	REM:CRT	ACK:REM:CRT;	[▶]

RS-232C コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	本機リモコンボタンとの関連
34	決定	REM:ENT	ACK:REM:ENT;	[決定]
35	サブメニュー表示	REM:SUB	ACK:REM:SUB;	[サブ メニュー]
36	戻る	REM:RET	ACK:REM:RET;	[戻る]
37	赤	REM:RED	ACK:REM:RED;	[赤]
38	緑	REM:GRN	ACK:REM:GRN;	[緑]
39	青	REM:BLU	ACK:REM:BLU;	[青]
40	黄	REM:YLW	ACK:REM:YLW;	[黄]
41	初期設定画面表示	REM:SET	ACK:REM:SET;	[初期設定]
42	ドライブ切換	REM:DRV	ACK:REM:DRV;	[HDD/BD/SD] (本体ボタン)
43	HDD	REM:HDD	ACK:REM:HD;	[HDD]
44	BD	REM:DSC	ACK:REM:DSC;	[BD]
45	SD	REM:SDC	ACK:REM:SDC;	[SD]
46	消去	REM:DEL	ACK:REM:DEL;	[消去]
47	入力切換	REM:INP	ACK:REM:INP;	[INPUT](本体ボタン)
48	録画モード	REM:MOD	ACK:REM:MOD;	[録画モード Ⓜ]
49	録画	REM:REC	ACK:REM:REC;	[録画 ●]
50	タイムワープ	REM:TWP	ACK:REM:TWP;	[タイムワープ]
51	チャプターマーク	REM:CHP	ACK:REM:CHP;	[チャプターマーク]
52	SDI 入力選択	REM:SDI	ACK:REM:SDI;	[SDI]
53	HDMI 入力選択	REM:HDM	ACK:REM:HDM;	[HDMI]
54	アナログ入力選択	REM:LNE	ACK:REM:LNE;	[アナログ]

表示コマンド

以下のコマンドで、本機の状態を表示します。
GUI は表示されません。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
1	メディア取得	QST:MDA	ACK:QST:MDA;	ドライブに挿入されたディスクの種類を表示。 QST:MDA:∗; ●「∗」にはメディアごとに下記の番号が入ります。 01=CD(CD) 02=DTS-CD 03=CD-R/RW(CD) 10=BD ビデオ(BD-V) 20=BD-RE(BD-RE)(AVCHD 含む) 30=BD-RE(BD-RE) 21=BD-RE DL(BD-RE)(AVCHD 含む) 31=BD-RE DL(BD-RE) 24=BD-R(BD-R)(AVCHD 含む) 34=BD-R(BD-R) 25=BD-R DL(BD-R)(AVCHD 含む) 35=BD-R DL(BD-R) 64=BD-RE 3 層(BD-RE)(AVCHD 含む) 65=BD-RE 3 層(BD-RE) 66=BD-R 3 層(BD-R)(AVCHD 含む) 67=BD-R 3 層(BD-R) 68=BD-R 4 層※(BD-R)(AVCHD 含む) 69=BD-R 4 層※(BD-R) 40=DVD ビデオ(DVD-V) 41=DVD ビデオ／オーディオ(DVD-V) 27=DVD-R(-R)(AVCHD 含む) 37=DVD-R(-R(AVCREC)) 51=DVD-R(-R(V)) 61=DVD-R(-R(VR)) 28=DVD-R DL(AVCHD 含む) 38=DVD-R DL(AVCREC) 52=DVD-R DL(VIDEO) 62=DVD-R DL(VR) 26=DVD-RAM(RAM)(AVCHD 含む) 36=DVD-RAM(RAM(AVCREC)) 60=DVD-RAM(RAM(VR)) 29=DVD-RW(-RW)(AVCHD 含む) 53=DVD-RW(-RW(V)) 63=DVD-RW(-RW(VR)) 82=BD-RE(未フォーマット) 83=BD-RE DL(未フォーマット) 84=BD-RE 3 層(未フォーマット) 85=BD-R(未フォーマット) 86=BD-R DL(未フォーマット)

RS-232C コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
1	メディア取得	QST:MDA	ACK:QST:MDA;	87=BD-R 3 層(未フォーマット) 88=BD-R 4 層※(未フォーマット) 89=DVD-R(未フォーマット) 8A=DVD-R DL(未フォーマット) 8B=DVD-RAM(未フォーマット) 8C=DVD-RW(未フォーマット) 00= なし FF= 無効、不明
2	デッキモード取得	QST:MOD	ACK:QST:MOD;	再生、停止など本機の状態を表示 **QST:MOD:∗;** ●「∗」には本機の状態ごとに下記の番号が入ります。 02= トレイ･オープン 03= トレイ･クローズ 04= リード中 05= 再生停止中(レジューム無) 06= 再生停止中(レジューム有) 07= スクリーン･セーバー(レジューム無) 08= スクリーン･セーバー(レジューム有) 0C= メニュー表示中 10= 再生 11= 一時停止　12= 早見再生 18= 早送り　19= 早戻し 1A= スロー再生　1B= スロー逆再生 20= リピート再生 21= プレイリスト再生 30= 静止画 (JPEG) 再生 31= スライドショー再生 00= 無効　FF= その他 100= 録画 録画中のデッキモードは、数値を足したものが表示されます。 例 録画、再生(通常再生) = 100 + 10 = 110
3	再生タイトル取得	QST:TTL	ACK:QST:TTL;	再生中のタイトル番号を表示 **QST:TTL:∗;**(∗= タイトル番号)
4	再生チャプター取得	QST:CHP	ACK:QST:CHP;	再生中のチャプター番号を表示 **QST:CHP:∗;**(∗= チャプター番号)

※片面 4 層は BD-R のみ。2013 年 5 月現在、BD-R（128 GB: 片面 4 層）は発売されていません。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
5	記録モード取得	QST:REC	ACK:QST:REC;	BD-RE BD-R RAM -R -RW QST:REC:∗;(∗= 下記、録画モード番号) 「∗」には録画モードごとに下記の番号が入ります。 01 = FR 02 = EP(8 時間) 03 = EP(6 時間) 04 = LP 05 = SP 06 = XP 10 = DR 11 = 1.5 倍録 12 = 1.6 倍録 13 = 1.8 倍録 14 = 2 倍録 (HG) 15 = 2.3 倍録 16 = 2.5 倍録 17 = 2.7 倍録 18 = 3 倍録 (HX) 19 = 3.5 倍録 1A = 4 倍録 (HE) 1B = 4.5 倍録 1C = 5 倍録 (HL) 1D = 5.5 倍録 1E = 6 倍録 1F = 7 倍録 20 = 8 倍録 (HM) 21 = 9 倍録 22 = 10 倍録 23 = 11 倍録 24 = 12 倍録 25 = 15 倍録 (HZ) 30 = 1 倍録 00 =無効
6	再生時間取得	QST:TIM	ACK:QST:TIM;	再生中のコンテンツの再生時間を表示 QST:TIM:∗∗.∗∗.∗∗; (∗∗.∗∗.∗∗; = 再生時間)
7	記録時間取得	QST:LGT	ACK:QST:LGT;	再生中のコンテンツの記録時間を表示 QST:LGT:∗∗.∗∗.∗∗; (∗∗.∗∗.∗∗; = 記録されている時間)
8	全情報取得	QST:STA	ACK:QST:STA;	[画面表示] を押したときに表示される項目 QST:MDA:∗; [∗= メディア番号:「メディア取得」(➜63)] QST:MOD:∗; [∗= デッキモード番号:「デッキモード取得」(➜64)] QST:TTL:∗; (∗= タイトル番号) QST:CHP:∗; (∗= チャプター番号) QST:REC:∗; [∗= 記録モード番号:「記録モード取得」(➜上記)] QST:TIM:∗∗.∗∗.∗∗; [∗∗.∗∗.∗∗; = 再生時間:「再生時間取得」(➜上記)] QST:LGT:∗∗.∗∗.∗∗; [∗∗.∗∗.∗∗; = 記録されている時間:「記録時間取得」(➜上記)]

RS-232C コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
9	入力	QST:INP	ACK:QST:INP;	QST:INP:∗;(∗= 下記、入力) 視聴中の入力を表示 06 =アナログ入力　09 = SDI 入力 0A = HDMI 入力　00 =入力停止
10	番組番号	QST:TNO	ACK:QST:TNO;	QST:TNO:∗;(∗= 番組の番号) 再生中の番組の番号
11	ドライブ	QST:DRV	ACK:QST:DRV;	QST:DRV:∗;(∗= 下記、ドライブ) 選択中のドライブを表示 01 = HDD　02 = BD/DVD 03 = SD カード　04 = USB 05 = USB-HDD　00 =無効
12	録画モード	QST:RMD	ACK:QST:RMD;	QST:RMD:∗; [∗= 記録モード番号:「記録モード取得」(➜65)]選択中の録画モードを表示
13	選択ドライブの残量	QST:REM	ACK:QST:REM;	QST:REM:∗;(∗∗:∗∗;= 残り容量) 選択されているメディアの残り容量を表示 (このコマンドは SD カード非対応です)
14	日付	QST:DAY	ACK:QST:DAY;	QST:DAY:∗;(∗∗∗∗/∗∗/∗∗(∗); =現在の日付と曜日) 現在の日付と曜日を表示
15	現在時刻	QST:NOW	ACK:QST:NOW;	QST:NOW:∗;(∗∗:∗∗:∗∗; = 現在の時刻) 現在の時刻を表示
16	日付と現在時刻	QST:CLK	ACK:QST:CLK;	QST:CLK:∗;(∗∗∗∗/∗∗/∗∗(∗)/ ∗∗:∗∗:∗∗; = 現在の日付と時刻) 現在の日付と時刻を表示
17	BD/DVD フォーマット状態	QST:FMT	ACK:QST:FMT;	QST:FMT:∗;(∗= 下記、フォーマットの状態) ディスクのフォーマット状態を表示 01 = VR フォーマット 02 =ビデオフォーマット 03 = BD/AVCREC フォーマット 04 =異常 00 =未実施
18	BD/DVD ファイナライズ状態	QST:FNZ	ACK:QST:FNZ;	QST:FNZ:∗;(∗= 下記、ファイナライズの状態) ディスクのファイナライズの状態を表示 00 =未実施　01 =実施済　02 =異常
19	BD/DVD 記録学習状態	QST:POW	ACK:QST:POW;	QST:POW:∗;(∗= 下記、記録学習の状態) ディスクの記録学習(➜67「記録学習実行」)の状態を表示 00 =未実施　01 =実施済　02 =異常
20	トレイ状態	QST:TRY	ACK:QST:TRY;	QST:TRY:∗;(∗= 下記、トレイの開 / 閉状態) 本体のトレイの開 / 閉状態を表示 00 =クローズ　01 =オープン
21	チャプター設定状態	QST:CHM	ACK:QST:CHM;	QST:CHM:∗;(∗= 下記、チャプター設定状態) 自動チャプターの設定状態を表示 00 =自動チャプター解除 01 =自動チャプター設定(15 分) 02 =自動チャプター設定(30 分) 03 =自動チャプター設定(60 分)

操作コマンド

以下のコマンドで、本機の操作ができます。

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
1	再生タイトル指定	SPB:TTL:∗∗	ACK:SPB:TTL:∗∗;	BD-V DVD-V AVCHD 「∗∗」部分に再生したいタイトル番号を入力します。
2	再生チャプター指定	SPB:CHP:∗∗	ACK:SPB:CHP:∗∗;	BD-V DVD-V AVCHD 「∗∗」部分に再生したいチャプター番号を入力します。
3	タイトルリピート解除	SPB:TLP:0	ACK:SPB:TLP:0;	再生中タイトルのリピート設定を解除します。
4	タイトルリピート設定	SPB:TLP:1	ACK:SPB:TLP:1;	再生中タイトルのリピート設定をします。
5	チャプターリピート解除	SPB:CLP:0	ACK:SPB:CLP:0;	再生中チャプターのリピート設定を解除します。
6	チャプターリピート設定	SPB:CLP:1	ACK:SPB:CLP:1;	再生中チャプターのリピート設定をします。
7	AV ミュート解除	SAV:AVM:0	ACK:SAV:AVM:0;	AV ミュート設定を解除します。
8	AV ミュート設定	SAV:AVM:1	ACK:SAV:AVM:1;	映像、音声を出力しない設定をします。
9	時刻設定	TIM:CLK:∗	ACK:TIM:CLK:∗;	本機の時刻設定をします。(「∗」部分に年月日時分秒を入力してください。) (例:2013 年 9 月 1 日 3 時 50 分 40 秒 =20130901035040)
10	記録学習実行	DRV:POW:1	ACK:DRV:POW:1;	ディスクに記録するための準備を行います。(ディスクに録画する場合、先頭の数秒間が録画されないことがあります。録画前に「記録学習実行」を行うと、先頭から録画されます。) QST:POW:∗;(∗= 下記、記録学習の状態) ディスクの記録学習の状態を表示 00 =未実施　01 =実施済　02 =異常

RS-232C コマンド一覧 (続き)

No.	動作	入力コマンド	応答シリアル	備考
11	フォーマット実行	DRV:FMT:∗	ACK:DRV:FMT:∗;	DRV:FMT:∗; フォーマットを実行します。(ディスクのみ) [「∗」部分に実行したいフォーマット番号を入力します:「BD/DVD フォーマット状態」(➜66)] QST:FMT:∗; 実行後のフォーマット状態を表示 [∗= フォーマットの状態:「BD/DVD フォーマット状態」(➜66)]
12	ファイナライズ実行	DRV:FNZ:1	ACK:DRV:FNZ:1;	ファイナライズを実行します。 QST:FNZ:∗; 実行後のファイナライズの状態 [∗= ファイナライズ状態:「BD/DVD ファイナライズ状態」(➜66)]
13	入力切換:強制アナログ入力選択	SAV:LN1:1	ACK:SAV:LN1:1;	入力切換をアナログ入力に切り換えます。
14	HDD/BD W 録画開始	REC:WST:1	ACK:REC:WST:1;	HDD とディスクに同時に記録します。 「HDD/BD 同時録画モード設定」が有効時のみ実行可能
15	自動チャプターモード解除	SRC:CHM:0	ACK:SRC:CHM:0;	自動チャプターモードを「切」にします。
16	自動チャプターモード設定	SCT:CHM:∗	ACK:SCT:CHM:∗;	自動チャプターモードを設定します。 (「∗」部分に実行したいチャプター設定を入力します) QST:CHM:∗; 実行後のチャプター設定の状態 [∗= 自動チャプター設定状態:「チャプター設定状態」(➜66)]
17	HDD/BD 同時録画モード解除	REC:WRS:0	ACK:REC:WRS:0;	HDD/BD 同時録画モードを解除します。
18	HDD/BD 同時録画モード設定	REC:WRS:1	ACK:REC:WRS:1;	HDD/BD 同時録画モードを設定します。
19	ディスク直接録画モード無効設定	REC:DDR:0	ACK:REC:DDR:0;	ディスク直接録画モードを無効にします。
20	ディスク直接録画モード有効設定	REC:DDR:1	ACK:REC:DDR:1;	ディスク直接録画モードを有効にします。
21	エンドレス録画モード無効設定	REC:EDL:0	ACK:REC:EDL:0;	エンドレス録画モードを無効にします。
22	エンドレス録画モード有効設定	REC:EDL:1	ACK:REC:EDL:1;	エンドレス録画モードを有効にします。
23	録画一覧の指定番組の再生	PLY:SPL:∗∗	ACK:PLY:SPL:∗∗;	「∗∗」部分に再生したい番組の番号を入力します。

応 用 編

本機を使っての応用操作などの説明をしています。

●便利機能

●必要なとき

予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) USB-HDD

予約録画する場合、「ディスクへの録画機能」「エンドレス録画機能」(➜18)を「無効」に設定してください。
「有効」に設定していると予約録画できません。

1 スタート **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

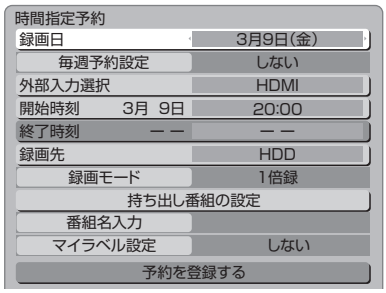
3 **「予約する」を選び、決定 を押す**

4 **「予約確認する」を選び、決定 を押す**

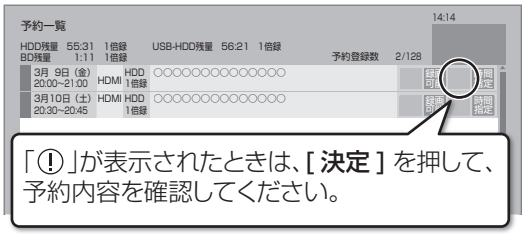
5 録画 **を押す**

6 **予約内容を設定する**

(➜ 右記「時間指定予約」へ)



7 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す**

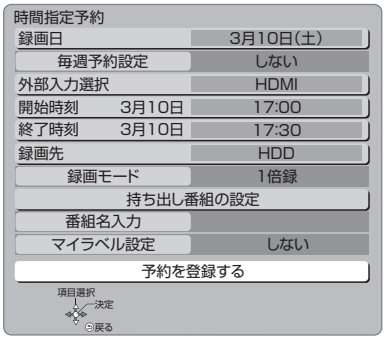


☞ **録画を止めるには**

[■ 停止] を押す
(本体の **[STOP]** を押す)

予約内容の設定

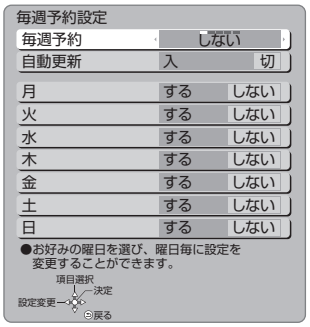
時間指定予約

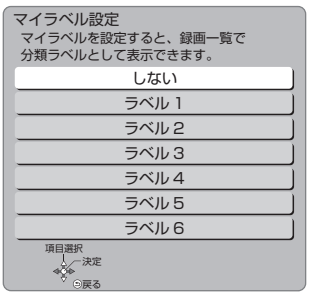


❶ **項目を選び、設定する (➜ 下記へ)**

- 「毎週予約設定」「録画モード」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、**[決定]** を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順 7 へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	 **「毎週予約」を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。
外部入力選択	録画する入力を設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●**[◀]** または **[▶]** を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード **(➜30)** を設定します。

持ち出し番組の設定 **HDD**	録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。 **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ** ●「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」**（➜53）**で転送することができます。 ●持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。**（➜52）**
番組名入力	文字入力について**（➜104）**
マイラベル設定 **HDD**	録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。 設定すると、録画一覧**（➜34）**で番組を探すのに便利です。 設定は録画後に変更することもできます。**（➜83）**  **ラベルを選び、[決定] を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベル名は変更することができます。**（➜37「分類ラベル設定」）**

DVD に予約録画できる記録方式

ハイビジョン画質で記録できます。
（1.5 ～ 15 倍録モードで記録）
●**-RW** ではできません。

DVD 画質で記録します。
（XP、SP、LP、EP、FR モードで記録）

予約録画できません。

お知らせ

- 本機の時刻に誤差が生じている場合、時刻を合わせてください。**（➜17「時刻合わせ」）**
- 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
- 本機で録画したUSB-HDDの番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。
- HDD とディスクに同時予約録画することはできません。

予約録画する（続き）

予約内容の確認、取り消し、修正など

70 ページ手順 1 ～ 4 のあと

5 番組を選び、以下の操作を行う

予約状況がマークで表示されます。
- 「ⓘ」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- **表示マークについては ➜151**

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。
  （消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます ➜ **右記**）
- 「エンドレス録画機能」**(➜18)** で録画実行後に停止し、「動作モード」を「無効」にすると、予約一覧に履歴情報が表示されます。

予約の取り消し

❶ 消去 **または** 黄 **を押す**

❷ **「はい」を選び、** 決定 **を押す**

予約内容の修正

❶ 決定 **を押す**

❷ **「修正」を選び、** 決定 **を押す**
（「時間指定予約」のときは ➜70「時間指定予約」）

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

❶ 決定 **を押す**

❷ **「毎週一覧」を選び、** 決定 **を押す**

- 予約の「重複」がある場合に **[決定]** を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。**(➜73)**
  予約の修正をしてください。

予約の実行を止める（一時解除）

❶ サブメニュー S **を押す**

❷ **「予約実行切」を選び、** 決定 **を押す**

- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- **[サブ メニュー]** を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー S **を押す**

❷ **「履歴一覧表示」を選び、** 決定 **を押す**

- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー S **を押す**

❷ **「履歴削除」を選び、** 決定 **を押す**

❸ **「はい」を選び、** 決定 **を押す**

- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

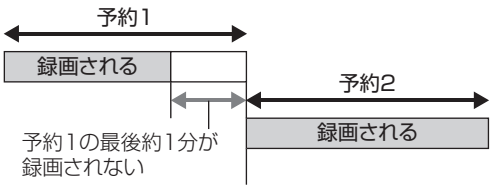
- ●録画中：
  予約録画の開始時刻になったとき
- ●ディスク再生中：
  ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき

予約時の電源の切 / 入について

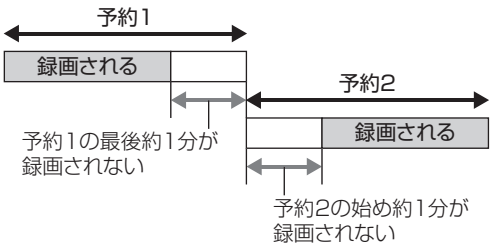
電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。（録画に影響はありません）

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。



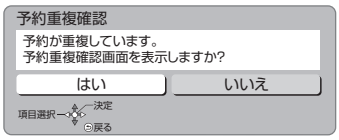
次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。



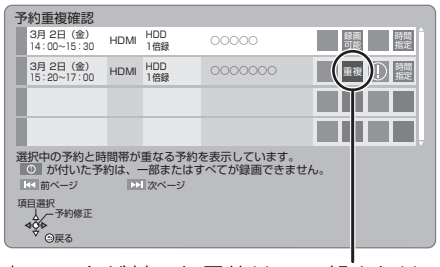
- ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中の入力が次の予約の入力に切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
（70 ページ手順 7 などのあと）

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。



例）



「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、**[決定]** を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、後から予約した番組を優先して録画します。

便利機能

ぴったり録画をする

HDD に録画する

HDD USB-HDD

HDD または USB-HDD に録画する場合、「録画先設定」（➜18）で録画先を選択してください。

録画した番組を新品の DVD（4.7 GB）にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて 1.5 ～ 15 倍録モードの中から自動的に最適な画質で録画します。（➜30「1.5 ～ 15 倍録」）

1 SDI HDMI アナログ を押して、入力を選ぶ

●本体の [INPUT] を押して、入力を選ぶこともできます。

2 スタート を押す

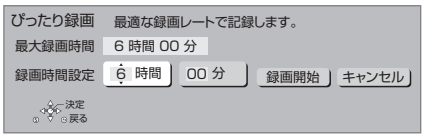
3 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

4 「残す」を選び、決定 を押す

5 「ぴったり録画」を選び、決定 を押す

6 「HDD に録画」を選び、決定 を押す

7 “時間”または“分”を選び、録画時間を設定する



●6時間を超えて設定することはできません。

8 「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で決定 を押す

ディスクに録画する

●BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
残量に合わせて 1.5 ～ 15 倍録モードのいずれかで録画します。

●RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)
FR モードで録画します。

左記手順 1 ～ 5 のあと

6 「ディスクに録画」を選び、決定 を押す

7 “時間”または“分”を選び、録画時間を設定する

●BDは24時間、DVDは8時間を超えて設定することはできません。

8 接続した機器で再生を始め、「録画開始」を選び、決定 を押す

☞ 録画の残り時間を確認するには
[画面表示] を押す

例）

録画の残り時間

☞ 録画を一時停止するには
[❚❚ 一時停止] を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

☞ 録画を止めるには
[■ 停止] を押す

お知らせ

●「ぴったり録画」中は
・予約録画が始まると、ぴったり録画を中断します。
・追っかけ再生、同時録画再生、入力切換はできません。

●-R 記録や編集を約 30 回行うと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。

●-R(V) -RW(V)「ぴったり録画」後にファイナライズ（➜103）を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。

●片面 2 層の -R(V) は、ぴったり録画はできません。

●記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」（➜108）の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

市販ディスクを再生する

BD ビデオ、DVD ビデオ、音楽 CD を再生する

BD-V DVD-V CD

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[▶ 再生] を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合、項目を選び、決定 を押す

☞ スクリーンセーバーを非表示にするには

「スクリーンセーバー」（➜107）を「切」に設定すると、停止時などに表示されるスクリーンセーバー（右記）を黒い画面に切り換えます。

お知らせ

- BD-V SDI 出力端子、アナログ出力端子からは出力できません。
- DVD-V CD SDI 出力端子からは出力できません。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

- 本機と 3D 対応のテレビを、HDMI ケーブルで接続する（➜11）
  - テレビ側で必要な準備を行ってください。
- 表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

- 3D 方式設定 （➜111）
- 3D 再生時の注意表示 （➜111）
- BD-Video の 2D → 3D 変換モード （➜108）
- 画面表示の飛び出し量 （➜80）

3D 映像を 2D（従来の映像）再生したい場合、以下の設定をしてください。

- BD-V ：「3D ディスクの再生方法」（➜108）
- 録画した 3D 番組 ：「3D 番組の出力方法」（➜111）

3D 映像を再生するための便利な機能

3D 映像の奥行きなどを設定して再生することや、2D 映像を擬似的に 3D 映像に変換して再生することなどができます。

（詳しくは ➜80「3D 設定」）

お知らせ

- 「3D 方式設定」（➜111）が「サイドバイサイド」の場合は、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
- 接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
- 3D 映像は、「HDMI 出力解像度」や「24p 出力」（➜111）の設定どおりに出力されない場合があります。
- 3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド（2画面構成）で見えることがあります。
- 3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、接続したテレビによっては、サイドバイサイド（2 画面構成）で再生することがあります。
- 3D 再生中は、SDI 出力端子から出力されません。

BD-Live 対応の BD ビデオや副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

❶ ネットワーク接続と設定をする（➜127、132）
❷「BD-Live インターネット接続」（➜108）を「有効」または「有効（制限付き）」に設定する
❸ 1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる
❹ ディスクを入れる

- SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**（➜101、手順 5 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください）**

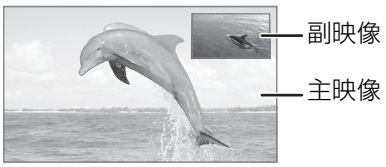
お知らせ

- インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例）



- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」**（➜110）**を「入」にしてください。

☞ 副映像が表示されないときは

- 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。**（➜78）**
- 「BD-Video の 2D → 3D 変換モード」を「モード 2」に設定してください。**（➜108）**

再生設定をする

1 再生中に
再生設定 **を押す**

2 **メニューを選び、決定 を押す**

例） **BD-V**

3 **設定項目を選び、決定 を押す**

●ディスクにより設定項目は異なります。

4 **設定を変更する**

お知らせ

- ●映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。
- ●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

1 倍録モードまたは 1.5 ～ 15 倍録モードの番組は音声などを切り換えます。

- ► **マルチビュー**
- ► **映像**
- ► **音声**
- ► **二重音声**
- ► **字幕（入 / 切）**
- ► **字幕言語（日本語 / 英語）**

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ► **字幕設定**：字幕表示の入 / 切や、言語の選択
- ► **字幕スタイル**： ディスクに記録された字幕スタイルの選択
- ► **字幕位置** **BD-V** **DVD-V**：字幕の表示位置を変更

アングル

アングルを選びます。

リピート

（本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ）
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- ► **番組** ：録画した番組全体を繰り返し再生
- ► **タイトル** ：**BD-V** **DVD-V** **AVCHD** タイトル全体を繰り返し再生
- ► **チャプター** ：再生中のチャプターを繰り返し再生
- ► **プレイリスト**：プレイリスト
- ► **全曲** ：ディスク全体の全曲
- ► **1 曲** ：選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）

●「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 AVCHD

情報の表示のみ

主映像情報 BD-V

副映像設定 BD-V

- ► **映像情報**
- ► **音声情報**

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

- ► **ノーマル**　：元の映像で表示
- ► **サイドカット**：16：9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示
- ► **ズーム**　：4：3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示

- ●以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  - ·他の入力に切り換え
  - ·番組の再生を始める、または終了する
  - ·電源を切 / 入
- ●番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。
- ●「TVアスペクト」(➜111)を「4：3」にしている場合、「ズーム」は効果がありません。
- ●テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

電波状態表示

DLNA 再生時の電波状態を表示します。（無線接続時のみ）

映像詳細設定

設定した内容は保持されます。

ディスプレイ

- ► **標準**
- ► **プロジェクター**

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ► **標準**
- ► **シネマ**
- ► **アニメ**
- ► **ライブ**

HD オプティマイザー

動画に発生する不要なノイズを補正します。
数値が大きい方が、より低減されます。

- ► **ブロックノイズ低減**
- ► **ランダムノイズ低減**
- ► **モスキートノイズ低減**
- ► **ドット妨害・クロスカラー低減**

リアルクロマプロセッサ

色信号を高精度に補正することにより、映像の鮮やかさや、色の濃さ、色あいを調整します。

- ► **色の帯域**
- ► **色の濃さ**
- ► **色あい**

超解像

映像の鮮明さを調整します。
数値が大きい方が、より鮮明になります。

- ► **精細感**
- ► **輪郭強調**

輝度調整

明るさ、黒レベル、白 / 黒階調を調整します。

- ► **明るさ**
- ► **黒レベル**
- ► **白階調**
- ► **黒階調**

プログレッシブ処理

480p、1080p のプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

► **Auto**

► **Video**

► **24p** [「24p 出力」**(➜111)** が「入」の場合のみ]

DVD-V や録画した番組をより映画らしい動きで再生することができます。

●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。

●以下の場合、24p 設定は解除され、前回の設定に戻ります。

・DVD-V：ディスクを取り出した場合

・録画した番組：再生を停止した場合

旧作モード※1

映像の制作時期が古く、画質が良好でない場合に適したモードです。ノイズを抑えてすっきりとした画質に補正します。

► **切**

► **弱**

► **強**

●BD-V DVD-V AVCHD MP4 できません。

●サイドバイサイドの 3D 映像はできません。

●画質が良好な番組の場合、再生する画質が劣化することがあります。

●再生を停止すると「切」に戻ります。

原画解像度変換※1

[BD-V またはハイビジョン映像（1080i）を 1 倍録モードまたは 1.5～15 倍録 モードで記録した番組に有効]

低解像度（720i/p、480i/p）の原画をハイビジョン（1080i）に変換したアニメ番組などの場合、「切」以外を選ぶと再生する画質が改善することがあります。

► **切**：1080i の場合

► **720i/p**

► **480i/p**

●設定によっては、再生する画質が劣化します。

●再生を停止した場合、「切」に戻ります。

映像詳細設定を標準に戻す

映像詳細設定を初期化します。

音声詳細設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

► **切**

► **ナイトサラウンド**※2

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

► **リ . マスター（弱 / 標準 / 強）**※2

記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。

（サンプリング周波数が 96 kHz 以下で記録された音声に有効）

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

●リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整※2

コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※2

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを 2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※1　「旧作モード」と「原画解像度変換」はどちらか一方しか設定できません。一方を設定するともう一方は「切」に固定されます。

また、3D 再生中は設定できません。

※2　HDMI 出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。**(➜110)**

3D 設定

出力方式※3

- ► **オリジナル**　：元の映像で表示します。
- ► **サイドバイサイド**:
  サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の番組を 3D 映像で見ることができない場合に選択してください。
  - ●変更しても正しく表示されない場合は、「3D 方式設定」**（➜111）**とテレビ側の 3D 設定を確認してください。
- ► **2D → 3D 変換**:
  再生中の 2D 映像を擬似的に 3D 映像に出力します。（録画した番組、**BD-V**、**DVD-V** の再生時に有効）

●**BD-V**の3D再生や 3D 表示のある番組では、「オリジナル」固定になります。

3D 画面モード（3D 奥行きコントローラー）※3
（3D 再生中のみ）

- ► **標準**　：標準的な 3D 効果で映像を再生します。
- ► **弱**　：飛び出しすぎを抑えて、広がり感のある 3D 映像を楽しめます。
  （「2D → 3D 変換」時は選択できません）
- ► **手動**

画面モード手動設定
［3D 画面モード **（➜ 上記）**が「手動」時のみ］
3D 映像の各種効果を設定します。

- ► **奥行き**:
  映像の飛び出し量を設定
- ► **スクリーンタイプ**:
  画面の見え方（平面または曲面）を選択
- ► **周辺ぼかし幅**:
  画面の縁のぼかし量を設定
- ► **周辺ぼかし色**:
  画面の縁のぼかしの色を設定

画面表示の飛び出し量
3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

※3　以下の場合、「出力方式」は「オリジナル」、「3D 画面モード」は「標準」に戻ります。
- ●番組の再生を始める、または終了する
- ●電源を切 / 入

編集する

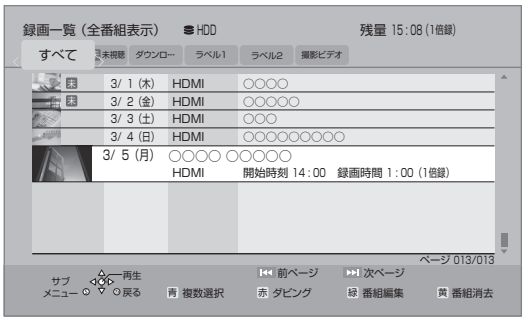
HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD**

（ファイナライズしたディスクや **AVCHD** では編集できません）

1 録画一覧 を押す

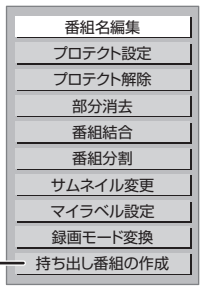
2 番組を選び、緑 を押す

例）**HDD**



3 項目を選び、決定 を押す（➜右記へ）

例）**HDD**



（➜52）

お知らせ

- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」（➜52）の設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。

番組名編集

☞ **文字入力**（➜104）

お知らせ

- 番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。
- まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。

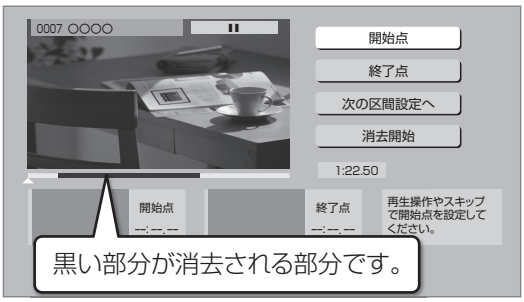
- **-R(V)** **-RW(V)** できません。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す

- プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

部分消去

- **-R(V)** **-RW(V)** できません。



① **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す**

③ **[▶ 再生] を押して、再生を始める**

④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す**

- 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**[決定]** を押す **（➜手順 ② へ）**
  - ・20区間まで設定できます。
  - ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。

⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す**

⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す**

- 部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

① 早送りやスロー再生など **（➜38）** を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

番組結合

HDD USB-HDD

同じ録画モードや素材の 2 つの番組同士を、1 つの番組に結合することができます。

●1.5 ～ 15 倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

① 結合したい番組を選び、[決定] を押す

②「結合」を選び、[決定] を押す

お知らせ

●結合した番組は以下のようになります。

・録画モード：
画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません）

・番組名：最初に選択した番組名

・チャプターマーク：
結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます）

・番組の結合部分：映像や音声が途切れることがあります。

・持ち出し番組は消去されます。

●以下の番組は結合できません。

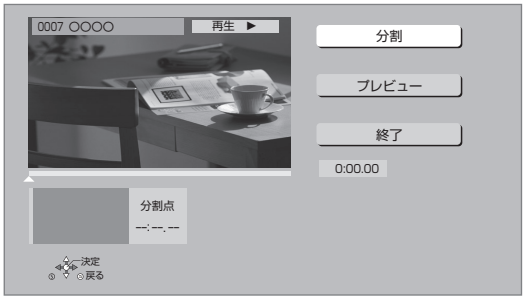
・ダウンロードした番組

・録画時間の合計が 8 時間を超える場合

・撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士

番組分割

●-R(V) -RW(V) できません。



①「分割」を選び、分割する場面※で [決定] を押す

●「プレビュー」を選び、**[決定]** を押すと、分割する場面を確認することができます。

☞ 場面を選び直すには

① 「分割」を選び、**[▶ 再生]** を押して再生を始める

② 分割する場面で、**[決定]** を押す

②「終了」を選び、[決定] を押す

③「分割」を選び、[決定] を押す

●分割した番組は、まとめ 番組になります。

●分割すると、持ち出し番組は消去されます。

●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。

●BD-RE BD-R 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

① 早送りやスロー再生など（**➜38**）を使って、目的の部分を探す

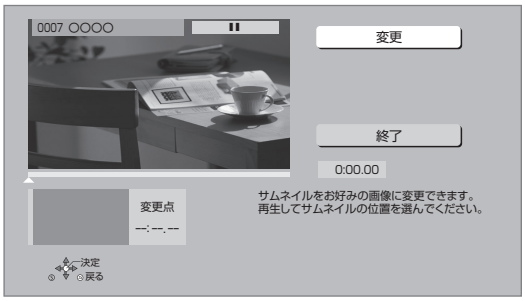
② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

サムネイル変更

HDD **-R(V)** **-RW(V)** **USB-HDD**

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。

●**-R(V)** **-RW(V)** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。



① [▶ 再生] を押して、再生を始める

②「変更」を選び、お好みの場面※で [決定] を押す

☞ 場面を選び直すには

① 「変更」を選び、**[▶ 再生]** を押して再生を始める

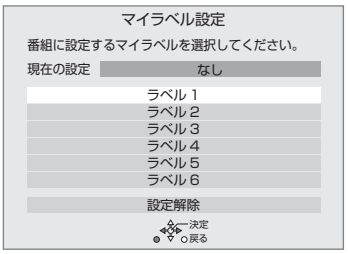
② お好みの場面で、**[決定]** を押す

③「終了」を選び、[決定] を押す

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。



① ラベルを選び、[決定] を押す

②「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す

●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。

●マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、**[決定]** を押してください。

●マイラベル名は変更することができます。**(➜37「分類ラベル設定」)**

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

① 早送りやスロー再生など **(➜38)** を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で **[❚❚ 一時停止]** を押し、**[◀] [▶]** を押して場面を調整する

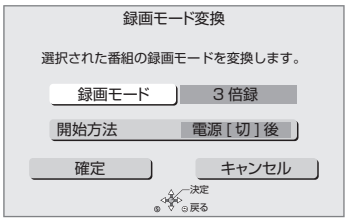
録画モード変換

HDD USB-HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- 1.5 ～ 15 倍録 モードのみ選択できます。(現在の録画モードより小さい数値を選ぶことはできません)



① **「録画モード」を選び、[決定] を押す**

② **倍率を選び、[決定] を押す**

③ **「開始方法」を選び、開始方法を設定する**

- **すぐに**：
  「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。
- **電源 [切] 後**：
  電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

④ **「確定」を選び、[決定] を押す**

⑤「すぐに」開始する場合：
「開始」を選び、[決定] を押す

- 本機の動作状態によっては、録画モード変換にかかる時間は表示される時間と異なる場合があります。

☞ 変換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

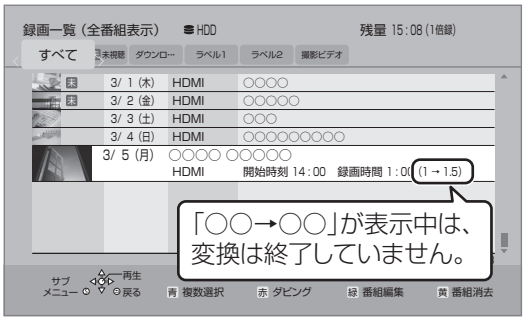
「電源 [切] 後」開始する場合：
[決定] を押す

☞ 変換の設定内容を変更・取り消しするには

① **81 ページ**手順 **3** で「録画モード変換」を選ぶ

② 「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す

☞ 変換が終了しているか確認するには



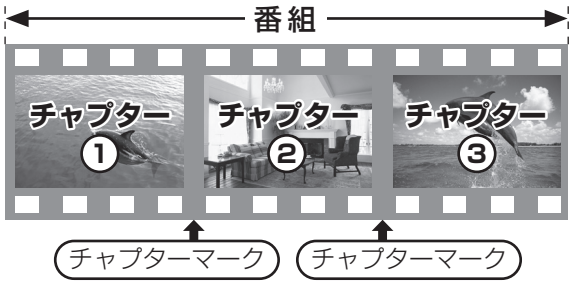
お知らせ

- 15 倍録モードの番組は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、EP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(➜108) で記録したい音声を選んでください。

チャプターの作成・再生・編集

HDD（ダウンロードした番組ではできません）
BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)
（ファイナライズしたディスクでは再生のみできます）
USB-HDD

チャプターとは
チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ（➜38）すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。



チャプターの自動作成について
- 「自動チャプター」（➜108）を「入」にすると、録画時に音声切換などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 「自動チャプター作成」（➜17）を「入」に設定すると、録画時に自動的にチャプターマークを作成します。
  チャプターを作成する間隔は、「チャプター間隔」で設定できます。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ
- HDD USB-HDD チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能（➜38）や「サムネイル変更」（➜83）ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

黄 チャプターマーク **を押す**

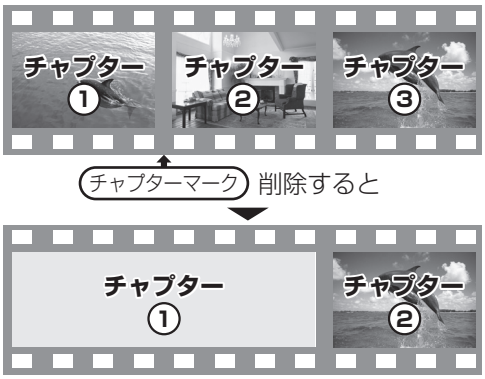
削除

一時停止中に

❶ スキップ **または** スキップ **を押して、削除したい場面に飛ぶ**

❷ 黄 チャプターマーク **を押す**

❸ **「はい」を選び、** 決定 **を押す**



前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① [録画一覧] を押す
② 番組を選び、[サブ メニュー] を押す
③「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す
④ [緑] を押す

⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

便利機能

チャプターの作成・再生・編集（続き）

チャプターを再生・編集する

1 録画一覧 **を押す**

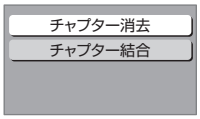
2 **番組を選び、** サブメニュー(S) **を押す**

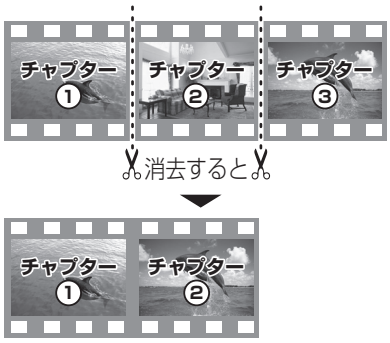
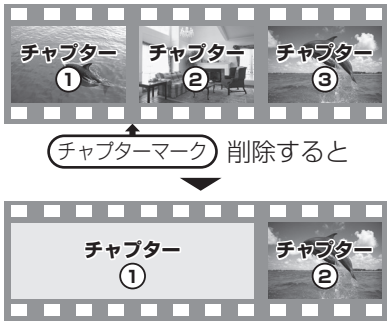
3 **「チャプター一覧へ」を選び、** 決定 **を押す**

4 **編集する：**
チャプターを選び、 サブメニュー(S) **を押す**
（➜ 手順５へ）

再生する：
チャプターを選び、 決定 **を押す**

5 **編集する項目を選び、** 決定 **を押す**
（➜ 右記へ）



チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。（元に戻すことはできません）  番組が部分消去されます。 **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。 ●持ち出し番組も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、１つにつなぎます。  前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

写真を再生する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB

- CD USB 写真を記録したCD-R、CD-RWや当社製デジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3Dテレビと HDMIケーブルで接続している場合、3D対応のデジタルカメラで撮影した写真（MPO）の3D再生をお楽しみいただけます。

1 スタート **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

3 HDD
「見る」を選び、決定 を押す（➜ 手順 6 へ）

HDD 以外
「メディアを使う」を選び、決定 を押す

4 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB
「USB 機器」を選び、決定 を押す

5 **「写真」を選び、決定 を押す**

6 **「写真を見る」を選び、決定 を押す**

7 **フォルダを選び、決定 を押す**

例）HDD
ラベル
- 3D ラベル：
  取り込んだ 3D 写真（MPO）を 3D再生する場合は、このラベルから選んでください。

フォルダ
- HDD に取り込まれた写真 **(➜90)** は、フォルダで管理されます。
- **[サブ メニュー]** を押すと、フォルダや写真の整理をすることができます。**(➜89)**

8 **写真を選び、決定 を押す**

再生を止めるには
[■ 停止] を押す

前後の写真を見るには
[◀][▶] を押す

写真の情報を表示するには
[画面表示] を押す

スライドショーを見るには
[▶ 再生] を押す

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される場合があります。
- ⊠ の表示になっている写真は、本機では再生できません。

写真再生のいろいろな機能

写真一覧表示中または写真再生中に操作します。

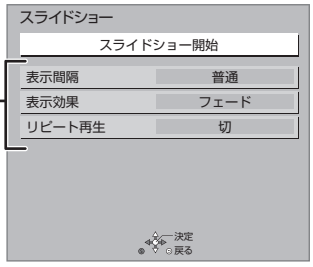
1 サブメニュー (S) **を押す**

2 **項目を選び、決定 を押す**

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。**(➔78)** ●3D写真再生時は効果がありません。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90˚ 回転 **左90˚ 回転**	写真を回転します。
壁紙登録	再生中の写真をスタート画面の壁紙に登録します。
画面表示の飛び出し量	3D 写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真一覧表示中

スライドショー	写真を連続して再生することができます。 **「スライドショー開始」を選び、［決定］を押す** 例）  開始前に、スライドショーの内容を設定できます。**(➔ 下記)** ☞ **スライドショーを終了するには** **[戻る]** を押す **表示間隔** 画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。 **表示効果** 写真の表示方法を設定します。 ●「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。 （3D 写真再生時を除く） **リピート再生** 再生を繰り返します。
カレンダー HDD	カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からフォルダを探すことができます。

写真の整理をする

HDD BD-RE BD-R RAM SD

87 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 フォルダ単位で管理する場合：

フォルダを選び、サブメニュー (S) を押す（➜ 手順 9 へ）

写真単位で管理する場合：

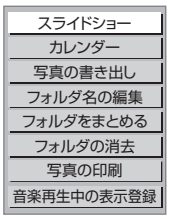
フォルダを選び、決定 を押す

- 「フォルダをまとめる」ときは、[青] を押してフォルダを選択したあと、[サブ メニュー] を押してください。

8 **写真を選び、サブメニュー (S) を押す**

9 **項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）**

例） HDD



フォルダ名の編集	フォルダ名を編集します。 **☞ 文字入力については（➜104）**
フォルダをまとめる HDD	選択した 2 つ以上のフォルダを、1 つのフォルダにまとめることができます。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
フォルダの消去	フォルダを消去します。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
写真の移動 HDD	選択中の写真を新規に作成したフォルダや既存のフォルダへ移動します。 **「新しいフォルダへ移動」または「別のフォルダへ移動」を選び、[決定] を押す** ●「別のフォルダへ移動」する場合は、移動先のフォルダを選んでください。
写真の消去	写真を消去します。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
プロテクトの設定/解除 BD-RE BD-R RAM SD	**「プロテクトの設定」または「プロテクトの解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクトの設定をすると「🔒」が表示されます。
音楽再生中の表示登録 HDD	音楽再生中のスクリーンセーバーで表示させる写真を登録します。 **「登録」を選び、[決定] を押す**

お知らせ

- HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」（➜109）を行ってください。

写真を取り込む / 書き出す

写真を取り込む

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
➡ HDD

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す
SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す
USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

4 **「写真」を選び、決定 を押す**

5 **「写真を取り込む」を選び、決定 を押す**

6 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**

お知らせ
- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」（➜109）や「全写真消去」（➜109）を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合、消去済み写真をもう一度取り込みたい場合、写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」（➜ 右記）を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日または写真データの生成日ごとに、フォルダで管理されます。
- フォルダ名は取り込まれません。
- HDD に取り込んだ写真の累計が 20000 枚に達している場合、過去に取り込んだ写真が取り込まれることがあります。

写真一覧から取り込む

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

3 ディスクから取り込む場合：
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す
SD から取り込む場合：
「SD カード」を選び、決定 を押す
USB から取り込む場合：
「USB 機器」を選び、決定 を押す

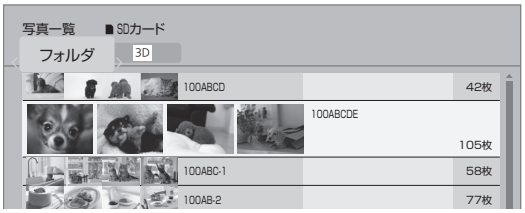
4 **「写真」を選び、決定 を押す**

5 **「写真を見る」を選び、決定 を押す**

6 **フォルダまたは写真を選び、青 を押す**

- 選んだフォルダ、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例）SD



7 **選び終わったあと、赤 を押す**

8 **「HDD へ取り込む」を選び、決定 を押す**

9 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**

お知らせ
- 取り込み元と同じ名前のフォルダを新しく作成して取り込みます。

写真を書き出す

HDD ➡ BD-RE BD-R RAM SD

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD ➡ SD

SD USB ➡ BD-RE BD-R RAM

87 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 フォルダまたは写真を選び、青 を押す

●選んだフォルダ、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例） HDD

8 選び終わったあと、赤 を押す

9 ディスクに書き出す場合：「ブルーレイ（BD）/DVD へ書き出す」を選び、決定 を押す

SD に書き出す場合：「SD カードへ書き出す」を選び、決定 を押す

10 「書き出し開始」を選び、決定 を押す

写真を印刷する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**

ネットワークに接続されたネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したプリンターから写真を印刷することができます。

●ネットワーク接続と設定をする
（➜128 ～ 130、132）
●プリンター設定をする（➜114）

1 スタート **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

3 **HDD**
「見る」を選び、決定 を押す（➜ 手順 6 へ）

HDD 以外
「メディアを使う」を選び、決定 を押す

4 **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD**
「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す

SD
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB
「USB 機器」を選び、決定 を押す

5 **「写真」を選び、決定 を押す**

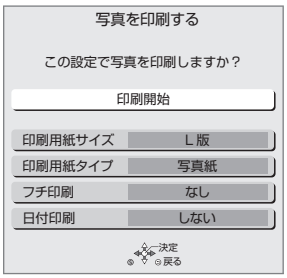
6 **「写真を見る」を選び、決定 を押す**

7 **フォルダまたは写真を選び、サブメニュー S を押す**

●複数のフォルダまたは写真を印刷するときは、[**青**] を押して選んだあと、[**サブ メニュー**] を押してください。

8 **「写真の印刷」を選び、決定 を押す**

9 **印刷の設定をする**



10 **「印刷開始」を選び、決定 を押す**

お知らせ

●予約録画が始まると、印刷は中止されます。ただし、印刷途中の写真がある場合は、その写真の印刷を終了してから予約録画を始めます。

DLNA 機能を使う

DLNA 機能

記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。
コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- 他社製DLNA 対応機器では使用できない場合があります。

別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する）

- ネットワーク接続と設定をする
  （➜128 ～ 130、132）
  DLNA 機能の設定を変更する場合 **（➜116）**

HDD **USB-HDD**

DLNA 対応機器から、本機の HDD や USB-HDD に録画した番組や写真の再生ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- 2 台以上の機器で同時に操作することはできません。
- ダウンロードした番組は再生できません。

映像が途切れたり、停止する場合

- 無線LAN使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本体や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。
- 本機で BD-Live などを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）

本機からDLNA 対応機器などのHDDにある番組などを再生することができます。

- ネットワーク接続と設定をする
  （➜128 ～ 130、132）
- 接続した機器側で、本機を登録する
  （本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順 **1** ～ **5** の操作を行ってください）

1 スタート **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

3 **「ネットワーク機能を使う」を選び、決定 を押す**

4 **「DLNA クライアント」を選び、決定 を押す**

5 **接続する機器を選び、決定 を押す**

画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- パソコン上にあるコンテンツを再生する場合、音楽は LPCM のデータを再生できます。

acTVila（アクトビラ）を楽しむ

本機では、アクトビラのサービスを楽しむことができます。

- 本機が録画中やダビング中は利用できません。また、予約録画の開始時刻になると、サービスは終了します。

- ネットワーク接続と設定をする
（➜129、130、132）

お知らせ

- **ホームページへの情報登録について**
  アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。

acTVila（アクトビラ）を利用する

acTVila とは

- インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビの仕組みです。
- 本機は以下のコンテンツをお楽しみいただけます。
  - ·アクトビラ ベーシック
  - ·アクトビラ ビデオ
  - ·アクトビラ ビデオ・フル
  - ·アクトビラ ビデオ・ダウンロード

1 スタート **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す**

3 **「ネットワーク機能を使う」を選び、決定 を押す**

4 **「アクトビラ」を選び、決定 を押す**

5 **見たい項目を選び、決定 を押す**

☞ **アクトビラを終了するには**
[スタート] を押す

ネット操作パネルを表示する

❶ **ホームページ表示中に、サブメニュー S を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す**

Ⓐ 1 つ前のページへ
Ⓑ 1 つ先のページへ
Ⓒ 読み込みを中止
Ⓓ 表示中のページを再読み込み
Ⓔ ポータルサイトに戻るとき
Ⓕ お好みページを使う（**➜ 下記**）

☞ **ネット操作パネルの表示を消すには**
[サブ メニュー] を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

❶ **ホームページ表示中に、サブメニュー S を押す**

- 登録したい場合、登録したいホームページを表示して **[サブ メニュー]** を押してください。

❷ **「お好みページ」を選び、決定 を押す**

■登録する

❸ **青 を押す**

❹ **内容を確認し、決定 を押す**

- 「お好みページ」の登録は最大 20 件までです。

■見る

❸ **見たいタイトルを選び、決定 を押す**

■削除する

❸ **削除したいタイトルを選ぶ**

❹ **黄 を押す**

❺ **「はい」を選び、決定 を押す**

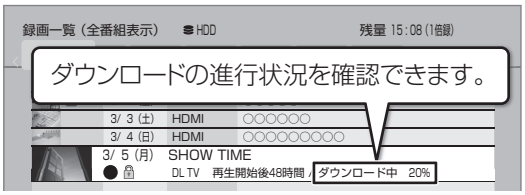
動画コンテンツを HDD にダウンロードする

アクトビラのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。

●動画コンテンツ購入の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラのページに従って動画コンテンツを購入する

●録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。



☞ ダウンロードを中断するには

ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。

① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、**[サブ メニュー]** を押す

②「ダウンロード一時停止」を選び、**[決定]** を押す

③「一時停止」を選び、**[決定]** を押す

●ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

☞ ダウンロードに失敗した場合は

ダウンロード履歴を確認してください。

（➜119「ダウンロード履歴」）

お知らせ

●電源「切」時でもダウンロードは実行されます。

●以下の操作中はダウンロードは実行されません。

・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中

・ダビング中

・DLNA 機能など、ネットワークを利用する機能を使用中　など

またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

ダウンロードした番組を再生する

録画一覧（➜33）から再生する

☞ ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」**（➜109）**の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① **[サブ メニュー]** を押す

②「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す

③ 暗証番号を入力する

お知らせ

●視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。

●再生時はインターネットに接続した状態で行ってください。

●番組は自動的にプロテクト設定されます。

ダウンロードした番組をディスクにダビングする

ダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。

かんたんダビング（➜42）や詳細ダビング（➜44）でダビングを行う

☞ ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」**（➜109）**の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① **[サブ メニュー]** を押す

②「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す

③ 暗証番号を入力する

お知らせ

●DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。

●ダビング時はインターネットに接続した状態で行ってください。

●番組によっては、ダビングできるディスクやダビングできる回数、期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。

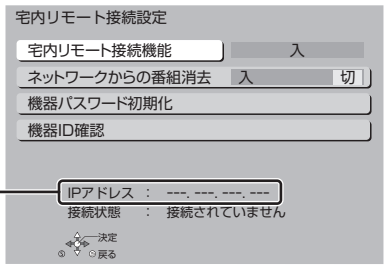
宅内リモート接続機能を使う

本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。
●ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。

●ネットワーク接続と設定、宅内リモート接続設定をする（➜117、128 ～ 130、132）

パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧（ブラウザ）ソフトを起動させ、本機の IP アドレス（➜117、手順 4 で確認）をアドレス欄に入力する



●ログイン画面が表示されます。

☞ ログイン画面が表示されないときは（Internet Explorer® 8.0 の場合）

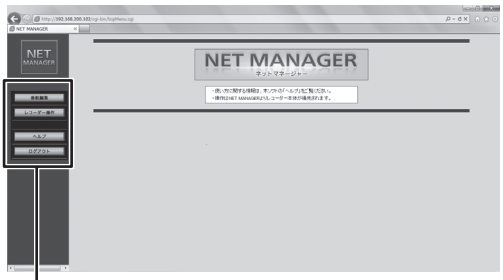
インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする

●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。

3 操作内容を選ぶ

●各操作は画面の指示に従ってください。



番組編集：

HDD 番組の番組名入力や消去

●消去する場合は、「ネットワークからの番組消去」を「入」にしてください。（➜114）

●ブラウザ機能を持つテレビでは、番組名入力はできません。

レコーダー操作：

本機の録画、電源入 / 切など

ヘルプ：

操作方法などの説明

ログアウト：

操作の終了

☞ 機器パスワードとは

インターネットなどのネットワークから本機を不正に操作されないように設定するパスワードです。

スタート画面について

スタート画面から本機の主な機能を操作することができます。

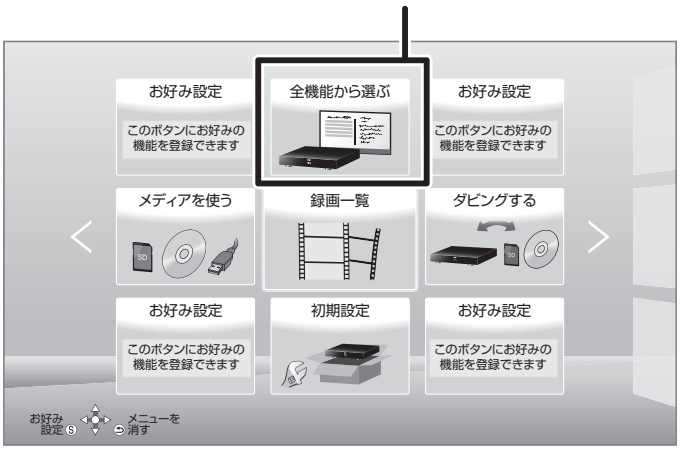
1 スタート を押す

2 項目を選び、決定 を押す

全機能から選ぶ

スタート画面に表示できるすべての機能を一覧表示して選ぶことができます。

●スタート画面に表示されていない機能を選びたいときに選んでください。



スタート画面について（続き）

スタート画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。表示する機能は、お好みに合わせて変更することができます。（➜99）

分類	表示できる機能	備考
見る	録画一覧	（➜33）
	写真を見る	（➜87）
	撮影ビデオを見る	（➜35）
	ドアホン・センサーカメラ映像を見る	ドアホンやセンサーカメラを接続して設定すると、呼び出しや検知があったときに、映像を自動で HDD に録画します。（➜114）
予約する	予約確認する	（➜72）
残す	ダビングする	（➜42、44）
	持ち出し番組を転送する	（➜53）
	ぴったり録画	（➜74）
ネットワーク機能を使う	DLNA クライアント	（➜93）
	アクトビラ	（➜94）
設定する・その他の機能	初期設定	（➜107）
	情報・診断コード	（➜119、141）
	壁紙設定	（➜99）
	お好み設定リセット	（➜99）
メディアを使う	メディアを使う	ディスク、SD カード、USB 機器、USB-HDD 内のデータを表示します。

お好みの表示に変更する

スタート画面に表示する機能や背景の壁紙をお好みに合わせて変更することができます。
(「全機能から選ぶ」の表示を変更することはできません)

表示する機能を変更する

1 スタート **を押す**

2 **変更したい機能を選び、** サブメニュー (S) **を押す**

3 **「機能を登録する」を選び、** 決定 **を押す**

4 **メニューを選び、** 決定 **を押す**

5 **表示したい機能を選び、** 決定 **を押す**
- 登録できる機能については (➜98)

6 **「はい」を選び、** 決定 **を押す**

☞ **スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには**
① **[スタート]** を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③「設定する・その他の機能」を選び、**[決定]** を押す
④「お好み設定リセット」を選び、**[決定]** を押す
⑤「はい」を選び、**[決定]** を押す

壁紙を変更する

1 スタート **を押す**

2 **「全機能から選ぶ」を選び、** 決定 **を押す**

3 **「設定する・その他の機能」を選び、** 決定 **を押す**

4 **「壁紙設定」を選び、** 決定 **を押す**

5 **壁紙を選び、** 決定 **を押す**
- 「写真」を選ぶ場合は、あらかじめ「壁紙登録」(➜88) を行ってください。

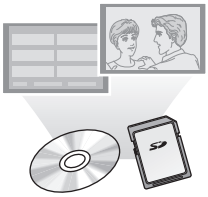
6 戻る **を押す**
- 壁紙設定を終了します。

本機で記録できるようにする（フォーマット）

新品または他の
機器で使っていた
ディスクやカード

**そのままでは
本機で記録できない
場合があります。**

フォーマット
すると



**本機で記録できる
ようになります。**

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。
記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。**(➜26)**

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる録画モード	フォーマット	備考
BD-RE BD-R	—	ハイビジョン画質	1 倍録 1.5 ～ 15 倍録	必要	記録方式の設定はありません。
RAM	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	— （ディスクによる）	
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。			
-R	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	不要	コピー制限のある番組は記録できません。
-RW	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。			
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	コピー制限のある番組は記録できません。

BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

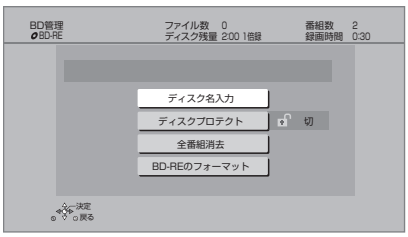
3 「ブルーレイ（BD）/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

●未使用の -R を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。**（➜ 手順 6 へ）**

5 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

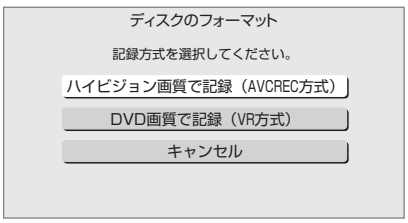
例）BD-RE



6 画面の指示に従って、フォーマットする

●DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例）RAM



お知らせ

- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。**
- SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- -R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」**（➜102）**を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD フォーマットは「HDDのフォーマット」**（➜109）**で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**
（ファイナライズしたディスクではできません）

1 スタート **を押す**

2 **「メディアを使う」を選び、決定 を押す**

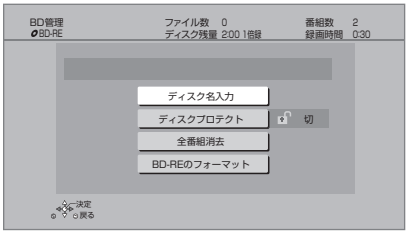
3 **「ブルーレイ（BD）/DVD」を選び、決定 を押す**

4 **「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定 を押す**

5 **操作したい項目を選んで、決定 を押す**

（➜ 下記へ）

例） **BD-RE**

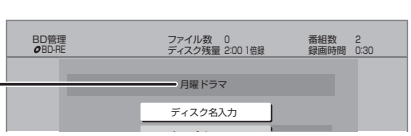


ディスク名入力

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

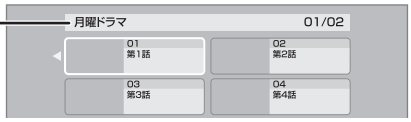
☞ 文字入力については（➜104）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



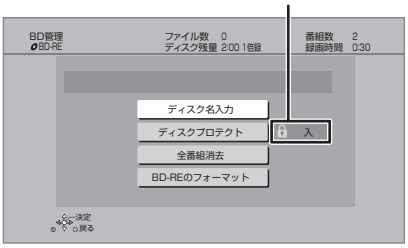
ディスクプロテクト

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

❻ **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す**

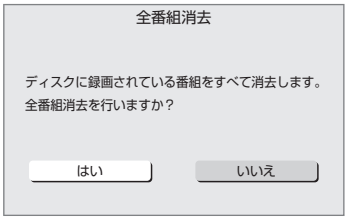
プロテクト設定すると「入」が表示



全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

例） **RAM**



❻ **「はい」を選び、決定 を押す**

❼ **「実行」を選び、決定 を押す**

お知らせ

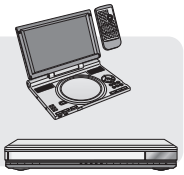
- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- **BD-RE** **RAM** 写真は消去されません。
- **BD-R** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** 消去しても残量は増えません。

ファイナライズ

BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。

ファイナライズ すると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては他の機器で再生できない場合があります。



ファイナライズ すると

再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

ファイナライズ すると

再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

- 対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

高
他機器との互換性
低

102 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

❻ お好みの背景を選び、決定 を押す

- トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。**(➜83「サムネイル変更」)**

ファーストプレイ選択

-R(V) **-RW(V)**

ファイナライズ後のディスクの再生の始め方を設定できます。

❻「トップメニュー」または「タイトル 1 」を選び、決定 を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1　：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R **-RW** **BD-R**

❻「はい」を選び、決定 を押す

❼「実行」を選び、決定 を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- **-RW(V)** フォーマット **(➜100)** すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- **-RW(VR)**「ファイナライズ解除」**(➜ 下記)** を行うと、記録や編集ができます。
- **BD-R** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

❻「はい」を選び、決定 を押す

❼「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

必要なとき

文字入力

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

この画面が表示されたら

番組名
ディスク名
フォルダ名
マイラベル名
など

文字パネル方式で入力します

この表示が出たときは

アクトビラ など

リモコンボタン方式で入力します

文字パネル方式で文字入力する

（番組名、ディスク名、フォルダ名、マイラベル名などを入力するとき）

1 青 赤 緑 黄 で文字の種類を選ぶ

●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定 を押す

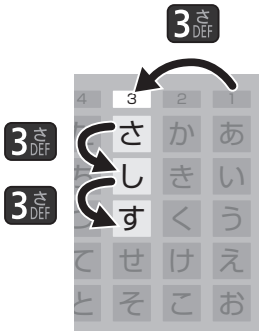
●この手順を繰り返し、文字を入力します。
●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。**（➜ 右記）**

3 入力が終わったら、■停止 を押す

4 「はい」を選び、決定 を押す

数字ボタン [1] ～ [9]、[＊] でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3]** を押す
　●「さ」行に移動します。
② **[3]** を 2 回押し、**[決定]** を押す
　●「す」が入力文字表示欄に表示されます。



ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[▶ 再生] を押したあと、変換候補を選び、**[決定]** を押す
●**[戻る]** を押すと、入力画面に戻ります。
●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[❚❚ 一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、**[決定]** を押す
②「登録」を選び、**[決定]** を押す

語句を呼び出す

①「語句一覧」を選び、**[決定]** を押す
② 語句を選び、**[決定]** を押す

語句の消去

①「語句一覧」を選び、**[決定]** を押す
② 語句を選び、**[黄]** を押す
③「消去」を選び、**[決定]** を押す

リモコンボタン方式で文字入力する
（アクトビラなどで入力するとき）

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。
（番組名やディスク名はこの方法では入力できません）

1 1あ ～ #改行 で文字を入力する

例）「えいが」と入力するとき

1あ ► 1あ 2か 0いろ記号

4回押す（え） 1回押す 2回押す（い） 1回押す（か） 1回押す（゛）

●入力文字一覧表をご覧ください。**(➜106)**

☞ 漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、**[決定]** を押す

●JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準の漢字コードを入力可能

2 決定 を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、**[決定]** を押す

●**[緑]** を押すごとに、(かな→カナ→英数→数字)に切り換わります。

●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[►] でカーソルを右に移動させる

例)「あい」と入力する場合 :**[1][►][1][1]** の順に押す

文節を分けて変換する

例)「えいが」の「えい」だけを変換する場合 :

①「えいが」と入力して、**[▼]** を押す

② **[◄]** を押して「えい」だけを選ぶ

③ 変換候補を選び、**[決定]** を押す

記号を入力する

①“きごう”と入力する

② 変換候補を選び、**[決定]** を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
（カーソルの左に文字が追加されます）

文字を消す

カーソルを移動させたあと、**[黄]** を押す
（カーソルの文字が削除されます）

文字入力（続き）

リモコンボタン方式での入力文字一覧表

入力モード＼ボタン	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[0]	[*]	[#]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	?	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	!	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	(	スペース	
	ぃ			4				8		)		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	↵											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	?	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	!	ワ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	(	スペース	
	ィ			4				8		)		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	↵											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	ー	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例：「い」を入力するときは **[1]** を 2 回押す）
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて **[0]** を押してください。
- 入力可能な文字は画面によって異なる場合があります。

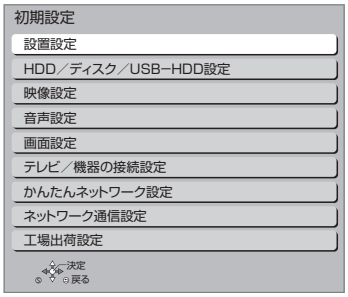
お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

本機の設定を変える（初期設定）

1 初期設定 **を押す**

2 **メニューを選び、決定 を押す**



3 **設定項目を選び、決定 を押す**

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

4 **設定内容を変更する**

設置設定

【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源〔切〕 【切】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2時間後または6時間後に、電源が切れます。

リモコンモード（➜115） 【リモコン 1】

時刻合わせ（➜17）

本機の時刻を設定します。

スルーモード設定 【有効】

「有効」に設定すると、SDI 入力端子からの信号を SDI スルー出力端子から出力できるようになります。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

ただし、以下の設定は戻りません。

- 時刻
- DVD-Video の視聴制限
- BD-Video の視聴可能年齢
- HDD 番組の視聴制限
- USB-HDD の登録
- かんたんネットワーク設定
- LAN 接続形態
- 無線設定
- IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

- 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定（リモコン 1）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合（本体表示窓に“U30”と表示）、リモコンモードを変更してください。**（➜138）**

システム機能（➜17）

自動電源 ON	【切】
自動再生	【切】
タイトルリピート	【切】
自動チャプター作成	
自動チャプターモード	【切】
チャプター間隔	【15 分】
録画一覧再生位置	【最新】
スクリーンセーバー	【入】
録画機能設定	
録画先設定	【HDD】
HDD/BD 同時録画機能	【無効】
ディスクへの録画機能	【無効】
エンドレス録画機能	【無効】
自動消去	【無効】
タイマー機能	
電源 ON 設定 / 電源 OFF 設定	【切】
設定時刻	
毎週予約設定	【しない】
HDCP AUTO	【入】

必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

HDD/ ディスク /USB-HDD 設定

【】はお買い上げ時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限※1 【8 すべて視聴可】

DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1 【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

- 「年齢入力」を選んで【決定】を押すと、【0】～【9】で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1 【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

BD-Video の 2D → 3D 変換モード 【モード 1】

3D 変換中の表示方法を選びます。

- 「モード 1」の場合は、副映像を表示できません。

音声言語※2 【日本語】

再生時の音声を選びます。

- 「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

- 「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定

外部入力音声設定 【ステレオ】

録画時の音声の種別を選びます。

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R）】

二重音声番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 -R(V) -RW(V)

ぴったり録画の音声設定 【ステレオ】

ぴったり録画（➜74）で記録する音声の種別を選びます。

- 「二重音声」にすると、「二重音声記録時の音声選択」（➜下記）で選択した音声のみを記録します。

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R）】

二重音声（二ヵ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

高速ダビング速度 【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。
（高速記録対応ディスクの場合など）

自動チャプター 【切】

録画時に音声切換などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組の VGA 画質 【モード 1】

「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」、「持ち出し番組の画質」を「高画質（VGA）」に設定して作成する場合に、記録する画質（1.5 Mbps/1.0 Mbps）を変更します。

MP4 取り込み画質 【高画質モード】

本機に MP4 を取り込むときの画質を設定します。

HDD 番組の視聴制限※1 【無制限】

年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。(年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります)

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

全写真消去

写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録（➜123）

別売の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し（➜122）

別売のUSB-HDDを本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

USB-HDD のフォーマット

別売の USB-HDD の初期化を行います。

すべての USB-HDD 登録の取り消し（➜123）

登録されているすべてのUSB-HDDの登録を取り消します。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [0] ～ [9] で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

※2 「その他＊＊＊＊」の場合、＊には [0] ～ [9] で言語番号（➜118）を入力してください。
選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

映像設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード 【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生 【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮 【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。
Dolby® Digital、Dolby® Digital Plus、
Dolby® TrueHD に有効

- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD 【Bitstream】
DTS/DTS-HD 【Bitstream】
AAC 【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

- 接続機器が、それぞれの音声に対応していない場合、「PCM」にしてください。
- 「SDI 接続」の「音声出力設定」**（➜112）**が「入」の場合、設定にかかわらず PCM 出力になります。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む **BD-V**）
【入】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

ダウンミックス 【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」**（➜上記）**が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  - **AVCHD** 再生時
  - **BD-V** 副音声や操作音を含んでの再生時

記録音声選択 【エンベデッド】

記録する音声を選択します。**（➜19）**

音声ディレイ 【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

会議記録モード 【切】

テレビ会議システムを接続している場合に、会議中に出力する音声を設定します。**（➜19）**

画面設定

【 】はお買い上げ時の設定です

画面表示動作〔オート〕 【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能 【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。
「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [HDMI 出力端子と接続して、「HDMI出力解像度」**（➜111）**が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ 【常時 明】

本体表示窓の明るさを調節します。

テレビ / 機器の接続設定

【 】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 方式設定 【フル HD】

接続しているテレビの方式に設定します。

●「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 番組の出力方法 【3D】

3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示 【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

TV アスペクト 【16:9】

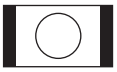
接続したテレビに合わせて設定します。

4：3 ：4：3 標準テレビに接続しているとき

4：3 の映像は、そのまま表示

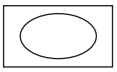
16：9 ：ワイドテレビに接続しているとき

4：3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示



16：9 フル: ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4：3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示



HDMI 接続

HDMI 優先モード 【入】

出力する映像を HDMI 出力端子と SDI 出力端子のどちらを優先するか設定します。**(➜20)**

HDMI 出力解像度 【オート】

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで **[▶]** を数回押す

③ **[決定]** を 3 秒以上押す
・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力 【切】

[「HDMI 出力解像度」**(➜上記)** が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効です]

BD-V **AVCHD** 映画など 24p 記録された素材を 24p 出力します。

●24 p 出力時は、HDMI 出力端子以外の端子からは正しく出力されません。

●24p 以外の素材は **BD-V** **AVCHD** の場合 60i または 60p で出力されます。

DVD-V や録画した番組を 24p 出力するには、この設定を「入」にして、「プログレッシブ処理」**(➜79)** を「24p」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ 【スタンダード】

RGB 入力のみに対応した機器（DVI 機器など）との接続時に有効

必要なとき

HDMI 音声出力 【入】

「切」に設定すると、HDMI出力端子から音声は出力されません。

Deep Color 出力 【オート】

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング BD-V 【オート】

6.1チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。

- 以下の場合に有効
  - ·接続する機器が 7.1 チャンネル·サラウンドに対応している場合
  - ·「デジタル出力」**（➜110）**が「PCM」の場合
  - ·音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM のとき
- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。（6.1チャンネルの場合は 5.1チャンネルで再生します）
- DTS 音声は「切」にしても、DTS, Inc. の仕様により 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ 【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

SDI 接続

入力解像度設定 【オート】

SDI 入力端子から入力する解像度を設定します。

出力解像度設定 【1080i】

SDI 出力端子から出力する解像度を設定します。

- 「720p」の場合、720p 以外の映像は「1080i」で出力します。

入力音声選択 【1ch/2ch】

SDI 入力端子から記録する音声を設定します。

音声出力設定 【入】

「切」に設定すると、SDI出力端子から音声は出力されません。

「入」に設定すると、HDMI 出力端子からの音声はダウンミックス 2ch の PCM 音声になります。

TV アスペクト（4:3）の設定

4:3テレビに接続時、16:9映像の映し方を選びます。

- 「パン & スキャン」は左右の切れた映像で、「レターボックス」は上下に帯のある映像で再生します。

パン & スキャン

レターボックス

DVD-Video の 16:9 映像 【パン & スキャン】

パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。

録画ディスクの 16:9 映像 【レターボックス】

「スルー」は、録画された映像のままで再生します。

- 1 倍録、1.5 ～ 15 倍録モードの番組は、レターボックスで再生します。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定（➜132）

ネットワーク通信設定　【】はお買い上げ時の設定です

基本設定

通常は設定不要です。

「かんたんネットワーク設定」**(➜ 上記)**を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態　【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

- 「無線」は、当社製無線 LAN アダプターDY-WL10（別売）を接続時のみ有効です。

無線設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- 「LAN 接続形態」**(➜ 上記)** が「無線」時のみ有効

接続設定

無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との接続を行います。

倍速モード設定（2.4GHz）

無線方式が2.4 GHzの場合、通信速度を設定します。

- 「倍速モード（40 MHz）」で通信を行うと、2チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得　【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」**(➜上記)** を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得　【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」**(➜上記)** を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

接続テスト

宅内からの操作設定

宅内リモート接続設定（➜117）

宅内リモート接続機能 【切】

ネットワークからの番組消去 【切】

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

宅内ネットワーク設定

DLNA サーバー設定（➜116）

DLNA サーバー機能 【切】

- 「切」にすると、「宅内リモート接続機能」（➜上記）は自動的に「切」になります。

本機の名称

アクセス許可方法 【自動】

機器一覧

ネットワークプリンターの接続設定

プリンターはネット TV 端末仕様（印刷機能）に対応したものをご使用ください。

プリンター検索

- プリンター検索が正常に終了した場合、プリンター名を表示します。

ドアホン・センサーカメラの接続設定

ドアホン・センサーカメラの映像を、本機で録画するための設定です。

ドアホン・センサーカメラ接続 【切】

登録する機器を登録モードにしてから「入」にしてください。

- 登録できる機器は最大 5 台までです。
- 「入」にすると、HDD にドアホン・センサーカメラの映像録画用に領域が確保されます。一度「入」にすると、「HDD のフォーマット」（➜109）をしないかぎり「切」にしても HDD の領域は確保されたままです。

ドアホン録画

ドアホンからの録画を実行するかどうかの設定をします。

センサーカメラ録画

センサーカメラからの録画を実行するかどうかの設定をします。

機器一覧

登録した機器の確認や削除を行うことができます。

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN 接続形態」（➜113）の設定によって、以下のようになります。

- 「有線」：背面の LAN 端子に割り当てられた番号
- 「無線」：当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）に割り当てられた番号

工場出荷設定

初期設定の項目を工場出荷時の設定に戻します。

廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- HDDやUSB-HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」（➜109）や「USB-HDDのフォーマット」（➜109）を行ってください。

リモコン設定をする

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

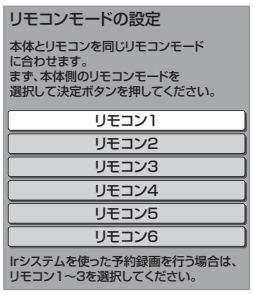
本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 初期設定 **を押す**

2 **「設置設定」を選び、決定 を押す**

3 **「リモコンモード」を選び、決定 を押す**

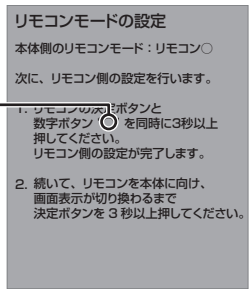
4 **「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、決定 を押す**



リモコン側のモードを設定する

5 **1 あ @ ～ 6 は MNO のいずれかを押しながら、決定 を３秒以上押したままにする**

ここに表示されている数字のボタンを押してください。



6 **リモコンを本体に向けて、決定 を３秒以上押す**

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

7 **決定 を押す**

- リモコンモードの設定を終了します。

お知らせ

- リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンの場合、「リモコン 4」～「リモコン 6」で操作できます。

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器などと接続する

DLNA サーバー設定

1 初期設定 **を押す**

2 **「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す**

3 **「DLNA サーバー設定」を選び、決定 を押す**

4 **「DLNA サーバー機能」を選び、決定 を押す**

5 **「入」を選び、決定 を押す**

●無線接続で無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

6 **「アクセス許可方法」を選び、決定 を押す**

7 **「手動」または「自動」を選び、決定 を押す**

●「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
（「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで **[決定]** を押してください。）

●「手動」の場合 **（➜ 右記手順 8 へ）**

左記手順 7 で「手動」を選んだ場合

8 **「機器一覧」を選び、決定 を押す**

9 **アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、決定 を押す**

10 **「アクセス許可」を選び、決定 を押す**

●最大 16 台まで登録できます。

☞ **登録している機器のアクセス許可を取り消すには（「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ）**

① 手順 **9** で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、**[決定]** を押す

②「アクセス許可取消」を選び、**[決定]** を押す

●「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順 **7** で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

☞ **接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには**

① 手順**3**のあと「本機の名称」を選び、**[決定]**を押す

② 項目を選び、**[決定]** を押す

●一覧から選んで変更 ：あらかじめ登録されている名前から選びます。

●文字入力して変更 ：文字入力画面から入力します。**（➜104）**

☞ **DLNA サーバー機能を使用しないときは**

手順 **5** で「切」を選ぶ

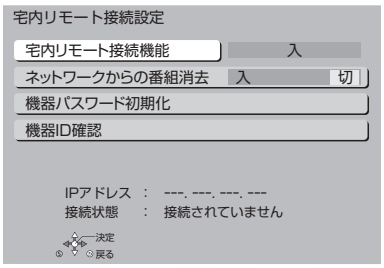
●登録している機器からの操作はできなくなります。

1 初期設定 を押す

2 「ネットワーク通信設定」を選び、決定 を押す

3 「宅内リモート接続設定」を選び、決定 を押す

4 「宅内リモート接続機能」を選び、決定 を押す



5 「入」を選び、決定 を押す

☞「接続されていません」が表示されているとき

ネットワークの接続（➜128 ～ 130）、「IPアドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」（➜113）を確認してください。

☞ 機器パスワードを初期化するには

① 手順3のあと「機器パスワード初期化」を選び、[決定] を押す

②「する」を選び、[決定] を押す

ディスクトレイをロックする（ロックモード）

下記の設定を行うと、本体のディスクトレイの開閉を無効にできます。

1 決定 と 青 と 黄 を同時に 5 秒以上押す

●本体表示窓に“00 RET”が表示されます。

2 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで [▶] を数回押す

3 ■停止 を3秒以上押す

●本体表示窓に“10 OCL”が表示されます。

4 決定 を押す

●ロックモードを解除するには、**[HDD]**を押したあと、上記と同じ操作を行ってください。

お知らせ

- ロックモードは本機にディスクが入っているときのみ設定することができます。
- ロックモード中は、RS-232C 制御 **(➔61)** でもディスクトレイを開くことはできません。
- 電源コードを抜いても、設定は保持されます。

言語番号一覧　「再生設定（再生専用ディスク）」の言語選択時に使用します。**(➔108)**

アイスランド 7383	オランダ 7876	ジャワ 7487	ドイツ 6869	ベンガル（バングラ） 6678
アイマラ 6589	カザフ 7575	スウェーデン 8386	ナウル 7865	ペルシャ 7065
アイルランド 7165	カシミール 7583	スペイン 6983	日本語 7465	ポーランド 8076
アゼルバイジャン 6590	カタロニア 6765	スロバキア 8375	ネパール 7869	ポルトガル 8084
アッサム 6583	ガリチア 7176	スロベニア 8376	ノルウェー 7879	マオリ 7773
アファル 6565	韓国（朝鮮）語 7579	スワヒリ 8387	ハウサ 7265	マケドニア 7775
アフリカーンス 6570	カンナダ 7578	スンダ 8385	ハンガリー 7285	マダガスカル 7771
アブハジア 6566	カンボジア 7577	ズールー 9085	バシキール 6665	マライ（マレー） 7783
アムハラ 6577	キルギス 7589	セルビア 8382	バスク 6985	マラッタ 7782
アラビア 6582	ギリシャ 6976	セルボクロアチア 8372	パシュト 8083	マラヤーラム 7776
アルバニア 8381	クルド 7585	ソマリ 8379	パンジャブ 8065	マルタ 7784
アルメニア 7289	クロアチア 7282	タイ 8472	ヒンディー 7273	モルダビア 7779
イタリア 7384	グアラニー 7178	タガログ 8476	ビハール 6672	モンゴル 7778
イディッシュ 7473	グジャラト 7185	タジク 8471	ビルマ 7789	ヨルバ 8979
インターリングア 7365	グリーンランド 7576	タタール 8484	フィジー 7074	ラオ 7679
インドネシア 7378	グルジア 7565	タミル 8465	フィンランド 7073	ラテン 7665
ウェールズ 6789	ケチュア 8185	チェコ 6783	フェロー 7079	ラトビア（レット） 7686
ウォロフ 8779	ゲール（スコットランド） 7168	チベット 6679	フランス 7082	リトアニア 7684
ウクライナ 8575	コーサ 8872	中国語 9072	フリジア 7089	リンガラ 7678
ウズベク 8590	コルシカ 6779	ティグリニア 8473	ブータン 6890	ルーマニア 8279
ウルドゥー 8582	サモア 8377	テルグ 8469	ブルガリア 6671	レトロマンス 8277
ヴォラピュック 8679	サンスクリット 8365	デンマーク 6865	ブルターニュ 6682	ロシア 8285
英語 6978	ショナ 8378	トウイ 8487	ヘブライ 7387	
エストニア 6984	シンド 8368	トルクメン 8475	ベトナム 8673	
エスペラント 6979	シンハラ 8373	トルコ 8482	ベロルシア（白ロシア） 6669	
オーリヤ 7982		トンガ 8479		

いろいろな情報を見る（情報）

1 スタート **を押す**

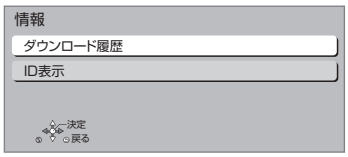
2「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

3「設定する・その他の機能」を選び、
決定 を押す

4「情報・診断コード」を選び、決定 を押す
（診断コードを見る場合 ➜141 手順⑤へ）

5「情報」を選び、決定 を押す

6 項目を選び、決定 を押す



ダウンロード履歴

アクトビラのダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

☞ 表示されていない番組を表示するには
① [サブ メニュー] を押す
②「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号 (➜109「HDD番組の視聴制限」) を入力する

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

☞ その他の情報を見るには
- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：ルート証明書情報を表示

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例） ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。	「2」（または「2」を含むもの）、「ALL」が表示されたもの 例） ●番号は国により違います。
CD	**音楽や音声が記録された市販ソフト** （CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む） **写真が記録された CD-R や CD-RW（JPEG フォーマット記録ディスク）**	
DVD-RAM DVD-R DVD-RW	**他機器でハイビジョン動画（AVCHD）を記録したディスク** ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。 **-R** **-RW** **写真（JPEG）を記録したディスク**	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
●8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
●本機では、「RAM 2」マークの付いた DVD-RAM ディスク（6X 以上の 高速記録対応）の記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジから取り出せない DVD-RAM（TYPE1）　●BD-RE（Ver.1.0）
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
●PAL方式で記録されたディスク
●+R　●+R DL　●+RW
●HD DVD　● ビデオCD　●SACD　●SVCD　●DVDオーディオ
●Photo-CD　● パソコンやゲームのソフト　など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード（8 MB ～ 2 GB）
（miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む）
SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32 GB）
（microSDHC メモリーカードを含む）
SDXC メモリーカード（48 GB、64 GB、128 GB）
（microSDXC メモリーカードを含む）

●本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
●mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
●SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。（➜100）
●**SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。（SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます）**
非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
●動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み（➜56 ～ 58）や再生（➜33）
●録画した番組の持ち出し（➜53）
●写真の再生（➜87）や取り込み（➜90）

お知らせ
●パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、カードの内容を誤って消去することを防げます。

別売の USB ハードディスク (USB-HDD) について

本機は、USB-HDD を接続し、映像を USB-HDD に録画することができます。
●USB-HDD の説明書もよくお読みください。

推奨 USB-HDD について

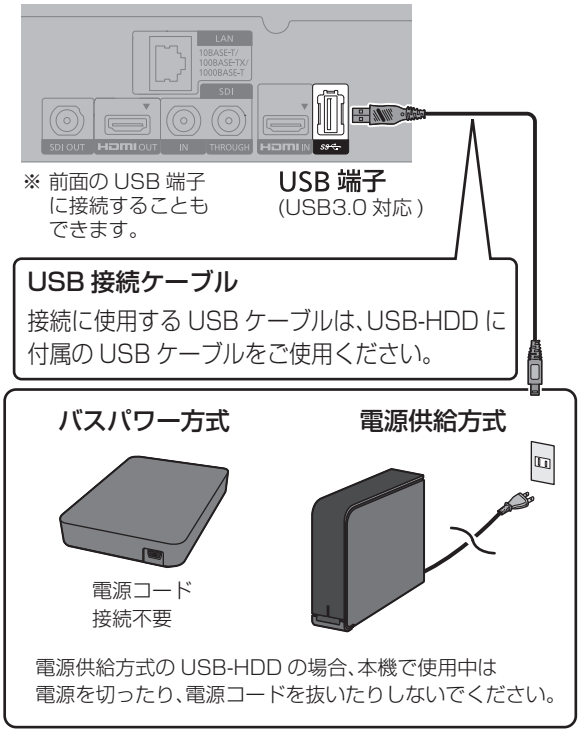
録画や再生に適した、推奨 USB-HDD をご使用ください。

推奨 USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。
http://panasonic.biz/nwav/

●本機で使用する場合、「USB-HDD の登録」(➜123) を行う必要があります。
●USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

接続する

USB-HDDの接続は、本体の電源「切」時に行ってください。



●USB ハブを使用して接続しないでください。

取り外しについて

以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

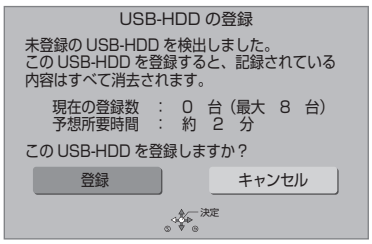
❶ 初期設定 を押す
❷「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す
❸「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す
❹「USB-HDD の取り外し」を選び、決定 を押す
❺「実行」を選び、決定 を押す
❻ USB-HDD を取り外す

登録する

USB-HDD を使用する場合、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。
登録できるのは 8 台ですが、複数台の USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

●接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、手順 **5** に進んでください。

例)



1 初期設定 **を押す**

2 **「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す**

3 **「USB-HDD 設定」を選び、決定 を押す**

4 **「USB-HDD の登録」を選び、決定 を押す**

5 **「登録」を選び、決定 を押す**

6 **決定 を押す**

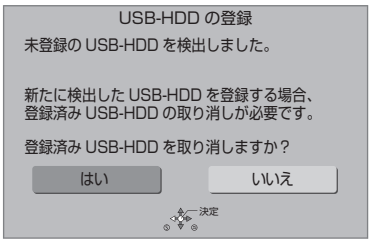
お知らせ

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB(4096 B)以外の USB-HDD は使用できません。

9 台目の USB-HDD を接続したとき

9 台目の USB-HDD を登録するには、すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。
9 台目の USB-HDD を接続し、本機の電源を入れると、USB-HDD の登録画面が表示されます。

例)



❶ **「はい」を選び、決定 を押す**
❷ **取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、決定 を押す**
❸ **「実行」を選び、決定 を押す**
❹ **「登録」を選び、決定 を押す**
❺ **決定 を押す**

すべての USB-HDD 登録を取り消す

本機に登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。
USB-HDD や本体を廃棄や譲渡する場合などに行ってください。
「USB-HDD の取り外し」**(➜122)** を行ったあと、実行してください。

左記手順 1 ～ 3 のあと

❹ **「すべての USB-HDD 登録の取り消し」を選び、決定 を 3 秒以上押す**
❺ **「はい」を選び、決定 を押す**
❻ **「実行」を選び、決定 を押す**
❼ **決定 を押す**

お知らせ

- 登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製の以下のUSB機器と接続することができます。

- **デジタルハイビジョンビデオカメラ**
- **SD ビデオカメラ**
- **デジタルカメラ**
- **携帯電話**
- **ポータブルテレビ（ビエラ・ワンセグ）**
- **デジタルメディアプレーヤー**
- **無線 LAN アダプター DY-WL10**

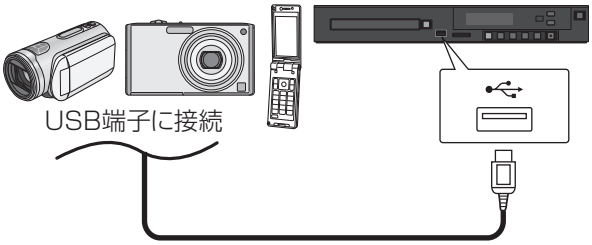
- 上記以外のUSB機器（USBメモリー、USBリーダー & ライター、USB 電源を利用する機器など）については動作保証しておりません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
  - ・当社製無線LANアダプター DY-WL10（別売）の場合、付属のUSB延長ケーブルをお使いいただけます。
- 接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画（AVCHD、MP4、MPEG2）の取り込み **（➜56 ～ 58）**
- 録画した番組の持ち出し **（➜53）**
- 写真の再生 **（➜87）** や取り込み **（➜90）**

USB 機器を接続する



USB接続ケーブル
（USB機器の付属品など指定のケーブル）

背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。（機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります）

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

本体表示窓の“ ”**（➜9）**点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

- 当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）は電源「切」状態で、ネットワークを利用する機能を使用していないときに抜き差ししてください。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動

① 電源を切る
（本体表示窓から“BYE”が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（RP-CL720A）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報が記録されています。
廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「工場出荷設定」**（➜114）**を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

本機を修理依頼するとき

HDDの初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行いますが、修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。
HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDDに関するお願い

USB-HDD をお使いになっていた場合、本機の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。
再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

取り扱いについて（続き）

HDD（ハードディスク）・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

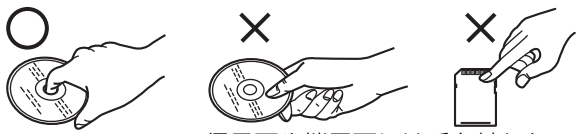
異常を感じたらすぐにダビング（バックアップ）を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

ディスク、カード

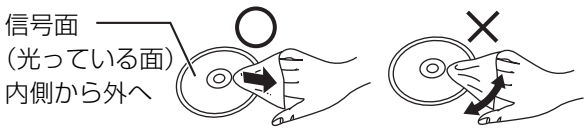
持ち方



信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

●ディスククリーナー（別売）のご使用をお勧めします。
●ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

●落としたり、激しい振動を与えたりしない。
●お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。

●ディスク

・シールやラベルを貼らない。（ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
・以下のディスクを使わない。
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
- そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
- ハート型など、特殊な形のディスク

●カード

・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

●ほこりの多いところ
●高温になるところ
●温度差が激しいところ
●湿度の高いところ
●湯気や油煙の出るところ
●冷暖房機器に近いところ
●直射日光の当たるところ
●静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
ネットワーク環境に合わせて、接続（➜128 ～ 130）と、かんたんネットワーク設定（➜132 ～ 135）を行ってください。

接続機器につないで

DLNA対応機器

DLNA機能を使う

▶ 93

パソコン

パソコンから録画などの操作をする

▶ 96

プリンター

写真を印刷する

▶ 92

ドアホン・センサーカメラ

ドアホンやセンサーカメラの映像を録画する

▶ 114

インターネットにつなぐと

●インターネットを使用するサービスや機能もご利用の場合は、129、130 ページの接続をしてください。

アクトビラのサービスを楽しむ

▶ 94

BD-Live対応のディスクを楽しむ

▶ 76

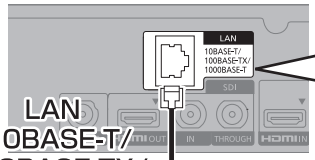
お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリー 5（CAT5）以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続してください。

各機器と直接接続する

有線

本機背面



LANケーブル以外（電話のモジュラーケーブルなど）を挿入しないでください。故障の原因になります。

LAN
（10BASE-T/
100BASE-TX/
1000BASE-T）

LAN ケーブル（別売）

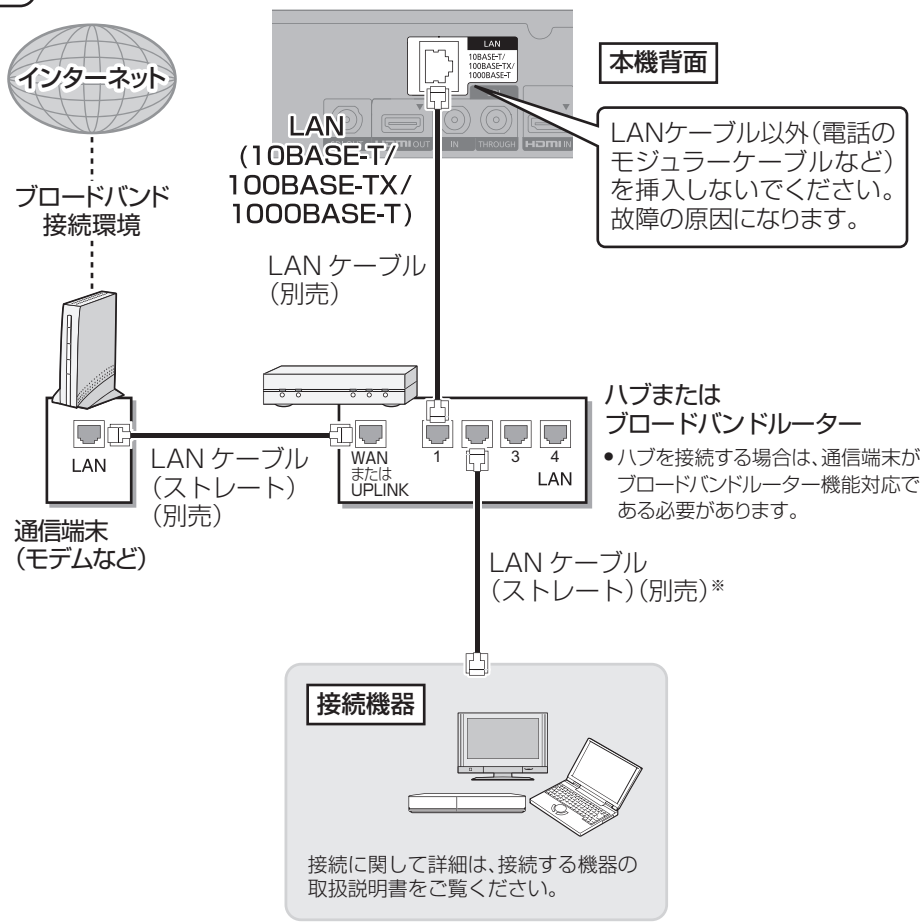
接続機器

接続に関して詳細は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

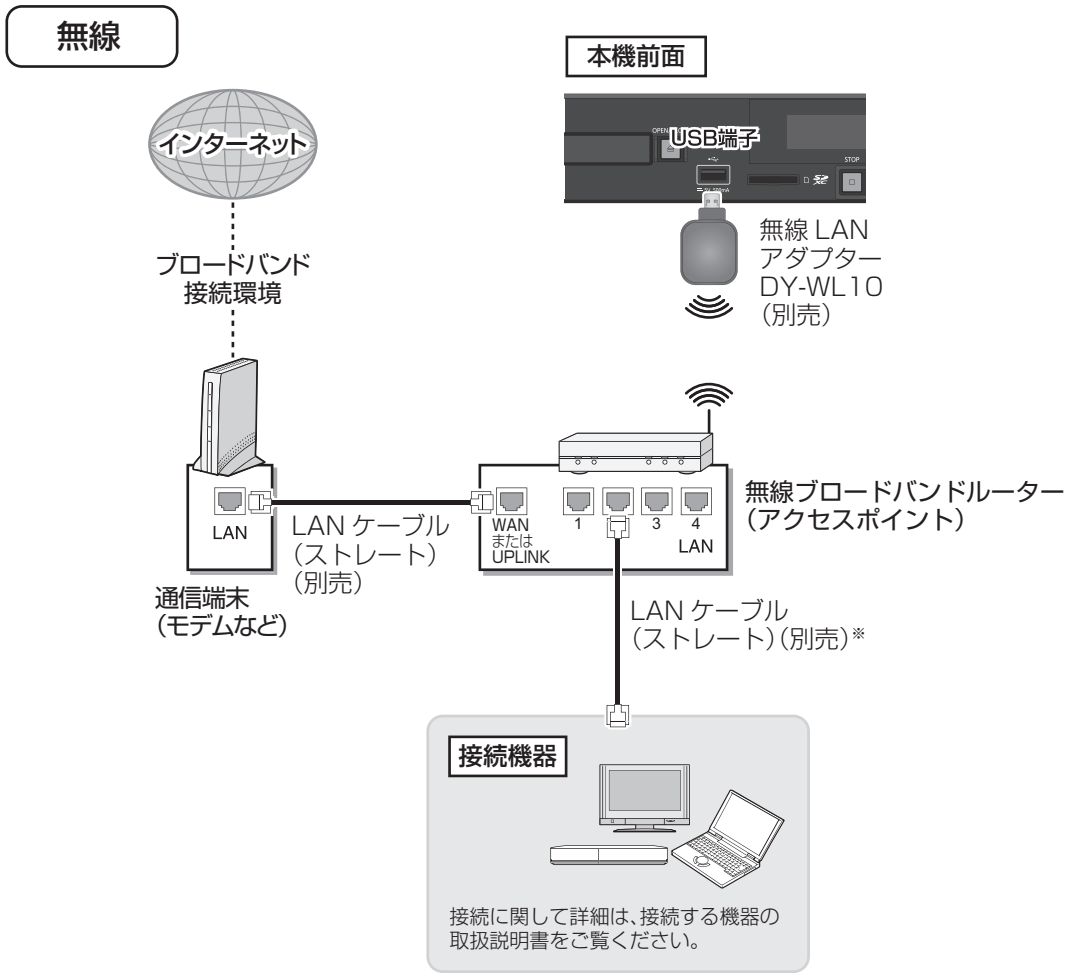
●LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。

ハブまたはブロードバンドルーターを使って各機器と接続する

有線



※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。



※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

お知らせ

- 当社製無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）以外は使用できません。DY-WL10（別売）の取扱説明書もよくお読みください。
  スペースの都合などにより、本機に無線 LAN アダプター DY-WL10（別売）を接続するのが困難な場合は、無線 LAN アダプターに付属の延長用 USB ケーブルを使って接続してください。
- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル（有線）での使用はできません。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX/1000BASE-T 対応のものをお使いください。
  無線接続の場合、802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティー設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。

本機を操作できるパソコン（2013 年 5 月現在）

OS：
Microsoft® Windows® XP Home Edition/Professional
Microsoft® Windows Vista® Home Basic/
Home Premium/Business/Ultimate
Microsoft® Windows® 7 Home Premium/Professional/
Ultimate
www ブラウザ：
Internet Explorer® 8.0 以上

ネットワーク機能を快適に利用するために

不正利用を防ぐために

- 当社では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク（SSID※）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
  ※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

免責事項について

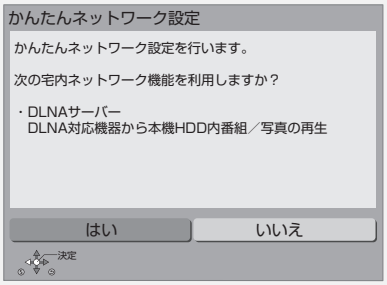
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

かんたんネットワーク設定をする

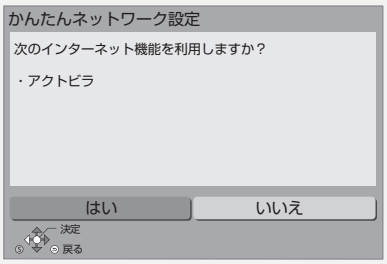
1 初期設定 **を押す**

2 **「かんたんネットワーク設定」を選び、決定 を押す**

3 **「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す**

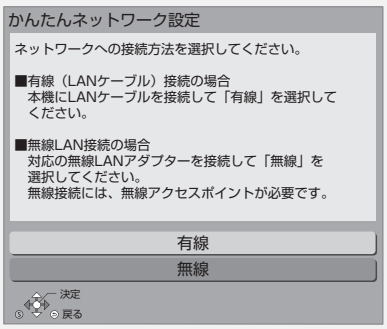


4 **「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す**



5 **「有線」または「無線」を選び、決定 を押す**

●無線接続するには、当社製無線LANアダプター DY-WL10（別売）が必要です。

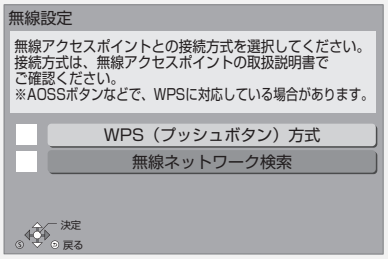


画面の指示に従って設定を行ってください。

こんな画面が表示された場合

接続方式の選択

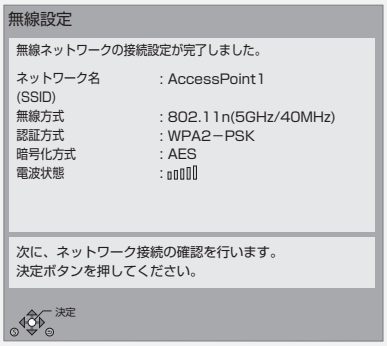
（無線 LAN を使って接続する場合）



無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）がWPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、「WPS（プッシュボタン）方式」を選ぶと、簡単に設定することができます。
対応していない場合は「無線ネットワーク検索」を選び、設定してください。

●WPSとは、無線LAN機器との接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

無線ネットワークの接続確認



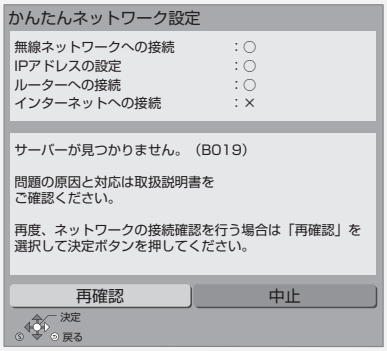
無線ネットワークの接続に失敗した場合

表示	ここを確認してください
他の機器との競合が発生しました。	●しばらく待ってから、再度実行してください。
タイムアウトエラーが発生しました。	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）側のMACアドレスなどの設定 ●電波が弱いことが考えられます。無線 LAN アダプターに付属の USB 延長ケーブルを使って、無線 LAN アダプターの位置や角度を調節してください。 ●無線設定のネットワーク名（SSID）や暗号化キー ●しばらく待ってから、再度実行してください。
認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	
デバイスエラーが発生しました。	●無線LANアダプターの接続を確認してください。 ●再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
無線ネットワークに接続中の機器数が上限に達したため接続できません。	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）に接続している機器の数を減らしてください。

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例）



有線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続：× IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	LAN ケーブルの接続 **(➜129)**
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 **(➜113)**
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 **(➜113)**
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」**(➜114)** やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定 **(➜113)** ●ルーターなどの設定

●インターネット機能をご利用にならない場合、「ルーターへの接続」「インターネットへの接続」は「−」が表示されます。

無線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 **(➜113)**
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 **(➜113)**
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました（B020）」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」**(➜114)** やルーターなどの設定
	「サーバーが見つかりません（B019）」表示時 ●「プライマリDNS」、「セカンダリ DNS」の設定 **(➜113)** ●ルーターなどの設定

●インターネット機能をご利用にならない場合、「ルーターへの接続」「インターネットへの接続」は「−」が表示されます。

お知らせ

- 宅内ネットワーク機能を利用する場合、ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「DLNA サーバー設定」**(➜116)** を行ってください。
- 接続機器側での設定が必要になる場合があります。詳しくは接続機器側の説明書をご覧ください。
- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。5 GHz をお使いください。
- 無線設定 **(➜133)** の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、無線 LAN アダプターや無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定 **(➜132)** を再度行ってください。
- DLNA 機能 **(➜116)** をご利用になるには、802.11n (5 GHz) をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

こんな表示が出たら

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓		●以下の場合に点灯します。 ・HDD の番組の録画モード変換中 ・持ち出し番組作成中 ・点灯中に電源を「入」にすると、上記の処理は中止されます。 次回、電源「切」時に処理が実行されます。
		●ダビング中に点灯します。
		●アクトビラの番組のダウンロード中です。
		●時刻を合わせてください。
		●ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。(例:61 パーセント)
		●現在、アナログ入力が選ばれています。
		●かんたんダビングや詳細ダビング画面などを表示中です。
		●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
		●現在、HDMI 入力が選ばれています。
		●ディスクトレイがオープン禁止(ロックモード)になっています。ロックモードを解除してください。**(➜118)**
		●スタート画面表示中です。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	NET	●インターネットや宅内ネットワークに接続中です。
	NoFINALIZE	●HDD の録画中などに**[開 / 閉 ▲]**を押したとき、未ファイナライズの **-R(V)** **-R(AVCREC)** **-RW(V)** が入っている場合に表示されます。ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●レンズクリーナー(別売)の作業が終了したときに、表示されることがあります。**[開 / 閉 ▲]**を押してクリーナーを取り出してください。
	NoREC	●以下の場合、**[録画 ●]**を押しても、録画はできません。 ・接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中
	PHOTO	●写真一覧表示中です。
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE" が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	PREP	●ディスクの記録学習中です。
	PROG FULL	●予約が 128 件登録されています。不要な予約を消してください。
	REPEAT	●タイトル、チャプターをリピート再生中です。
	SDI	●現在、SDI 入力が選ばれています。
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中です。
	TRANS	●持ち出し番組一覧表示中です。
	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。 ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。本機に対応したディスクをお使いください。
	VIDEO	●録画一覧などを表示中です。

こんな表示が出たら（続き）

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	 1～6のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、**[決定]**を3秒以上押したままにしてください。 ●4 ～ 6 の数字が表示されている場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。（リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます）
		●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
		●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
		●本機で使用できないUSB機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。
		●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
		●本機が正常に動作しません。本体の**[POWER ⏻/I]**を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	 （数字の 00は例です）	●異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります） 電源を一度、切 / 入してください。

●上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

●上記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、「サービス番号、F99 」などとお知らせください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	アドレスが正しく設定されませんでした。	●「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」(➜113) で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。
	セキュリティーが低い設定になっています。設定の変更をおすすめします	●安全のために、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の暗号化方式を「AES」にしてください。
	接続テストを実行できませんでした。	●一度、電源を「切」にし、電源コードを抜き差しして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	接続できませんでした。LANケーブルの接続を確認してください。	●ハブをお使いの場合で、ハブの Link ランプが消えているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良などを確認してください。
	接続に失敗しました。ゲートウェイが応答しません。ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブの Link ランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良などを確認してください。 ●「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」(➜113) で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。 ●無線 LAN 対応のアクセスポイントをご使用の場合、アクセスポイントの通信設定をご確認ください。設定について詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。本機の MAC アドレスが必要な場合は、「ネットワーク通信設定」(➜113) を表示してご確認ください。
	タイムアウトエラーが発生しました。	●無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)側の MAC アドレスなどの設定を確認してください。
	認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	●電波が弱いことが考えられます。本機や無線 LAN アダプターまたは無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。 ●手動で無線設定を行った場合、ネットワーク名(SSID)や暗号化キーを確認してください。 ●しばらく待ってから、再度、実行してください。
	デバイスエラー	●再度、無線設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
	デバイスエラーが発生しました。	
	無線アクセスポイントへの接続に失敗しました。無線アクセスポイントの接続を確認してください。	●無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の電源が入っているか確認してください。

こんな表示が出たら（続き）

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	**IPアドレスが取得できません。 ルーターとの接続や設定をご確認ください。**	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブのLinkランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN端子の接触不良などを確認してください。 上記で問題がなければ、ルーターなどの DHCP が動作していないことが考えられます。 ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも 1 つの方法です。
	IPアドレスが設定されていません。	●「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」**(➜113)**で「IP アドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。 「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。（必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください）
	IPアドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。	●本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。他のパソコンや、本機、ルーターのIPアドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。
	サーバーが見つかりません。(B019)	●「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」**(➜113)**で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」の設定を確認してください。 ●ブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
通信時	**サーバーへの接続に失敗しました。(B020)**	●サーバーが混み合っているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●まったく接続できない場合は、「プロキシサーバー設定」**(➜114)**やブロードバンドルーターなどの設定を確認してください。
	サーバーとの通信に失敗しました。(B021)	●通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。
	認証に失敗しました。(B401)	●回線業者やプロバイダーからの ID やパスワードを、ブロードバンドルーターやモデムの説明書に従って、正しく設定してください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

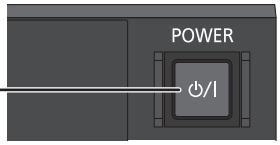
- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切 / 入時の音
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
- 以下の状態のときに、本機から HDD の動作音が聞こえる場合があります。
  - ·電源切 / 入時
  - ·番組のダウンロード中
  - ·録画中
  - ·録画モード変換時、持ち出し番組作成時
  - ·予約録画終了時または午前 4 時ごろ (1 週間に 1 回程度) の、本機全体の自動再起動時
    本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。

① 本体の [POWER ⏻/I] を押し、電源を切る

- 切れない場合は、約 3 秒間押したままにすると強制的に切れます。



（それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込む）

② 本体の [POWER ⏻/I] を押し、電源を入れる

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- リモコンが正しく働いていないことがあります。 **(➜143)**

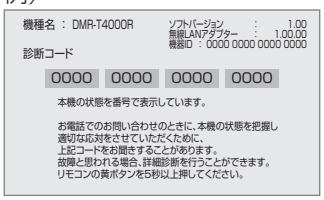
診断コード / ソフトウェアバージョンの確認について

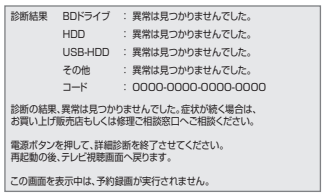
本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。また、本機のソフトウェアバージョンの確認をすることもできます。

① **[スタート]** を押す
②「全機能から選ぶ」を選び、**[決定]** を押す
③「設定する・その他の機能」を選び、**[決定]** を押す
④「情報・診断コード」を選び、**[決定]** を押す
⑤「診断コード」を選び、**[決定]** を押す
⑥ **[黄]** を 5 秒以上押す
⑦「はい」を選び、**[決定]** を押す
- 診断を開始します。

- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

例）





電源

電源が入らない

- 予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の [POWER ⏻/I] を押し、電源を入れてください。

USB-HDD の電源が切れない

- 本機の設定によっては、電源を「切」にしてもUSB-HDD の電源が切れない場合があります。

表示

本体に出る表示が暗い

- 「本体表示窓の明るさ」(➜110)で明るさを変えてください。

“HDD REC”または“BD REC”が点滅している

- 以下の場合、点滅します。
  - ・予約録画の開始時刻の約3分前から開始時刻までの間
  - ・正常に録画できないとき
  - ・予約録画時に、録画先の残量がないとき

残量表示が使用した量と違う

- 残量表示は実際より増減することがあります。
- -R 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

- 「お好み設定リセット」 (➜99) を行ってください。

テレビ画面や映像

本機からの映像が映らない テレビに「信号がありません。」が表示される

- 本体の [POWER ⏻/I] を押し、電源を入れてください。
- HDMIケーブルが認識されていない場合があります。本機の電源が「切」の状態で、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度本機の電源を入れてください。

映像が映らない 映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(➜11 ～ 16)
- HDMI 出力端子接続時：
  - ・HDCP（不正コピー防止技術）非対応機器に接続した場合、著作権コンテンツは映像が映りません。著作権フリーの番組は、「HDCP AUTO」(➜18) を「入」に設定すると正常に映像が出力されます。
  - ・HDCP対応機器でも接続した機器（パソコンのディスプレーなど）によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません）
  - ・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
    - -「24p 出力」(➜111) が「入」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
    - - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
  - ・「Deep Color 出力」(➜112) もしくは「コンテンツタイプフラグ」(➜112) を「切」にしてください。
- 3D映像や24p素材を含む番組を再生時、HDMI出力端子以外からの映像が映らない場合があります。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
  HDMI 出力端子で接続している場合、接続するテレビのHDMI 端子を他のHDMI 端子に変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

●「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜110) が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯（グレー帯）が表示される 画面の横縦比がおかしい

●「画面モード切換」(➜78) で調整してください。（テレビのアスペクト設定でも調整できます）
●「TV アスペクト」(➜111) の設定を接続したテレビに合わせてください。

再生時の映像に残像が多い

●「HDオプティマイザー」(➜78)を「切」にしてください。

ボタン操作

リモコンが働かない

●本体とリモコンのリモコンモード(➜115)が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。

表示されたこの番号の数字ボタンを押しながら、[決定]を3秒以上押したままにしてください。

●リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。（リモコン下部に“IR6”の表示があるリモコンで操作できます）
●本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
●リモコンと本体の間に障害物（ラックなどの色付きガラスも含む）などがありませんか。

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

●本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(➜115)

本体

本機が熱い

●本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

●本機のディスクトレイがロックされているか確認してください。(➜118)
●本機の故障が考えられます。電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
① [決定] と [青] と [黄] を同時に5秒以上押す。
・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで[▶]を数回押す。
③ [決定] を押す。
（ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください）
ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

音声

音声が出ない

- ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。
  アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。
- HDMI 出力端子の接続状態に合わせて、「HDMI 音声出力」(➜112)を設定してください。
  - ·HDMI 出力端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」
  - ·HDMI 出力端子でテレビと接続し、アナログ音声出力端子で接続した機器などから音声を出力:「切」
- Dolby Digital PlusまたはDolby TrueHDなどの音声が出力されなくなった場合は、本機の内部設定が自動的に切り換わった可能性があります。その場合は、一度、「初期設定リセット」(➜107)を行ってください。

サラウンドの音声が出ない

- 接続するアンプによっては、音声が2チャンネルになる場合があります。「音質効果」(➜79)を「切」または「ナイトサラウンド」にしてください。

片方のスピーカーからしか音声が出ない

- スピーカーの接続を確認してください。
- 5.1ch マルチ音声を再生する場合、「ダウンミックス」(➜110)を「ドルビーサラウンド」にしていると、モノラル音声になります。「ノーマル」に変更してください。

音声が切り換えられない

- 接続機器の設定を確認してください。
- 以下の場合、音声の切り換えはできません。
  - ·マルチ音声の番組を RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードで予約録画する
  - · MP4 音声の切り換えはできません。
- マルチ音声は、テレビやアンプ側で切り換えることができません。本機で切り換えてください。
- ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。
  不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください。
- -R 記録後、ディスクの出し入れや電源の切/入を約 30 回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外の DVD レコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。
- 録画/再生用レンズが汚れている場合があります。レンズをクリーニングしてください。

記録したディスクが他の機器で再生できない

- -R -RW BD-R ファイナライズしていますか。(➜103)
- 1.5～15倍録モードの番組を記録したAVCREC方式の DVD や、XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を記録した VR 方式の DVD の場合、再生する機器が、そのディスクの AVCREC 方式や VR 方式の再生に対応している必要があります。

録画

録画できない

●ディスクに直接録画するには「ディスクへの録画機能」(➜18)を「有効」に設定してください。

予約録画

予約録画ができない

●HDD の残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。(➜72)

●「ディスクへの録画機能」「エンドレス録画機能」(➜18)が「有効」に設定されていると予約録画できません。

ディスクに予約録画ができない

●以下の場合、ディスクに予約録画できません。

- BD-RE BD-R にXP、SP、LP、EP、FRモードで予約
- -RAM(AVCREC) -R(AVCREC) にXP、SP、LP、EP、FRモードで予約
- RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に 1 倍録、1.5 ～ 15 倍録モードで予約
- -R(V) -RW(V) のディスク
- 未フォーマットのディスク
- 誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク

再生

録画した番組が見つからない

●毎日・毎週予約で録画した番組は、録画一覧(まとめ表示)では、まとめて表示されます。
まとめ が付いた番組を選んで、[決定] を押すと、録画した番組がすべて表示されます。

●録画一覧で[サブ メニュー]を押し「全番組表示へ」を選択すると、まとめ表示が解除されます。

再生できない

●SDカードやUSB機器のMPEG2動画またはUSB機器のハイビジョン動画（AVCHD）は直接再生できません。HDD などにダビングしてから再生してください。

映像が乱れたり、正しく再生されない

●録画モードや、映像の横縦比などの異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。

●2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質(転送レート約 18 Mbps以上)の動画は、正しく再生できません。

なめらかに再生されない (映像や音声が一瞬止まる)

●以下の場合、なめらかに再生されない場合があります。[「シームレス再生」(➜109) を「入」に設定しても改善されません]

- シーンの切り換わりや、字幕や音声の切り換え時
- 片面 2 層の -R の層の変わり目
- 2 倍速対応以下の DVD に記録した 1.5 倍録、1.8 倍録、2 倍録モードの番組

●ハイビジョン動画など転送レートの高い動画は、なめらかにスロー再生されない場合があります。

番組の先頭から再生が始まらない

●再生を停止すると、停止した位置を記憶します。以下の手順で先頭から再生することができます。
・HDD の場合
① 録画一覧表示中に、番組を選んで **[サブ メニュー]** を押す
②「先頭から再生」を選んで **[決定]** を押す
・ディスクの場合
ディスクトレイを開閉して再生する。
（トレイを開けると、停止位置が解除されます）

字幕が出ない、切り換えられない

●ディスクに字幕が収録されていますか。
●「字幕設定」**(➜77)** で字幕表示の設定を行ってください。

音声言語や字幕言語が切り換えられない

●「音声情報」、「字幕設定」**(➜77)** ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。

ディスクが再生できない

●ディスクに汚れや傷、反りがある場合、再生できないことがあります。

BD ビデオや DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

●視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
① **[決定]** と **[青]** と **[黄]** を同時に 5 秒以上押す
（本体表示窓に“00 RET”が表示されます）
② 本体表示窓に“03 VL”が表示されるまで **[▶]** を押す
③ **[決定]** を押す

3D 映像が出力されない

●本機と 3D 対応テレビの接続や設定は正しいですか。
●本機と3D対応テレビの間に3D非対応のアンプを接続していませんか。本機と 3D 対応テレビを直接接続してください。

3D 映像が正しく 2D 出力されない

●3Dディスクを再生する場合、「3Dディスクの再生方法」**(➜108)** を「2D 再生」に設定してください。
●3D 番組を再生する場合、「3D 番組の出力方法」**(➜111)** を 2D に設定してください。
●サイドバイサイド（2 画面構成）の番組は、2D 再生すると 2 画面で出力されます。

編集

編集できない

●HDD 残量がないと、編集できない場合があります。不要な番組を消去してください。
●以下のディスクの場合、編集できません。
・ファイナライズ済みのディスク
・AVCHD のディスク
・他社製機器やパソコンで記録したディスク
●本機では持ち出し番組の編集はできません。

番組を消去しても残量が増えない

●BD-R -R 消去しても増えません。
●-RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。途中の番組を消去しても増えません

部分消去の開始点や終了点が設定できない

●開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。

プレイリストが作成できない

●本機ではプレイリストの作成はできません。

ダビング

ダビングできない

●市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。
●チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
●HDDから -R(V) -RW(V) へのダビング時、HDDの残量が少ないときはダビングできません。HDD の不要な番組を消去してください。
(使用するディスクによっては、HDD の残量が 5 倍録モードで最大 4 時間必要な場合があります)
●以下の番組は、BD-RE BD-R からHDDにダビングできません。
・ディスク内で番組分割した番組
・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集した番組
・ファイナライズしたディスクの番組
・録画時間が 8 時間を超える番組
●高画質(転送レート約 18 Mbps以上)の動画を、2倍速対応以下の DVD に取り込むことはできません。

高速ダビングできない

●以下の場合、画質変更ダビングになり、高速でダビングできません。
・1 倍録モードの番組を DVD にダビングする
・1.5 ～ 15 倍録モードの番組を RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW にダビングする
・録画モードを変更してダビングする
・ディスクの記録容量を超えてダビングする
・1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組を DVD にダビングする
・「AVCHD 3D」の表示がある番組を DVD にダビングする
・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) -R(V) -RW(V) にダビングする
・BD-RE BD-R から他機器で記録した XP、SP、LP、EP、FR モードの番組を HDD にダビングする
・DVD-V から HDD にダビングする

高速ダビングに時間がかかる

●ディスクの倍速対応によってダビング速度が変わります。
●「高速ダビング速度」(➜108)の設定によってダビング速度が変わります。

高速ダビング時の動作音が大きい

●高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、「高速ダビング速度」(➜108)を「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。

画質変更ダビングに時間がかかる

●画質変更ダビング中に視聴や再生などを行うと、ダビング速度が遅くなる場合があります。
●1倍録、1.5～ 15倍録モードの番組をDVD画質でダビングする場合は 1 倍速になります。

他機器との連携

撮影した動画が USB 接続でダビングできない

- 本機とビデオカメラの接続を確認してください。USB接続が正しく認識しない場合は、USB接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、ビデオカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- **MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。

撮影した写真が USB 接続で取り込めない

- 本機とデジタルカメラの接続を確認してください。USB 接続が正しく認識しない場合は、USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。再生、録画またはダビング中などに、USB 接続された場合、認識しないことがあります。
- 本機と接続するための設定が、デジタルカメラ側で正しく設定されているか確認してください。
- デジタルカメラ側に SD カードが正しく入っているか確認してください。

ネットワーク

アクトビラのインターネットサービスがつながらない
動画コンテンツが見られない

- 「DNS-IP 自動取得」**(➜113)**が「入」になっていますか。
- アクトビラのインターネットサービスをご利用になるには、ブロードバンド環境が必要です。
  また、アクトビラ ビデオ・フルの動画コンテンツをご利用になるには、光ファイバー(FTTH) のブロードバンド環境が必要です。
- ご利用環境や接続回線の混雑状況などにより、動画コンテンツの映像が乱れたり、映らない場合があります。

DLNA 機能

再生できない

- 別室のテレビなどで見る（本機をサーバーとして使用する）場合：
  - ・接続や設定を確認してください。
  - ・「機器一覧」**(➜114)** で、再生する機器が［許可］になっていますか。
  - ・再生する機器によっては、録画中の番組や 1 ～ 15 倍録モードの番組、ハイビジョン動画は再生できません。
- 別室の機器の映像を見る（本機をクライアントとして使用する）場合：
  - ・接続した機器側で本機が登録されていますか。
  - ・すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

再生できない、映像が途切れる（無線接続時）

- 802.11n(2.4 GHz/5 GHz 同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。
  2.4 GHzで電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 「無線設定」**(➜113)**の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3 つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線 LAN アダプターまたは無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定を再度行ってください。

表示マーク一覧

●本機は表示マーク（機能表示のシンボルマーク）によって、表示画面の情報をお知らせします。

録画一覧画面

未	録画してまだ見ていない番組
まとめ	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	HDDに代替録画された番組
	録画禁止信号により録画できなかった番組
	録画・ダウンロード中の番組
3D	3D 映像の番組 （番組によっては、表示されない場合もあります）
1080 60p	1080/60p （1920 × 1080/60 プログレッシブ）記録の番組
	HDDにダビング中の番組や、ダウンロードして視聴期限の過ぎた、またはデータが壊れているなど再生できない番組
	書き込み禁止（プロテクト）の設定をした番組
1 (赤)	録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます。
1 (白)	ダウンロードした番組で、ディスクへダビングできる残り回数が1回の番組
×	ダビングできない番組
録画中	HDD に録画中の番組
ダビング中	HDD にダビング中の番組
録画済	HDD に録画・ダビングが終了した番組 （番組の画像は電源「切」時に作成されます）

表示マーク一覧（続き）

ダビング画面

	1 ～ 15 倍録モードで録画した番組 ハイビジョン動画
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	ダビングすると移動する番組 （詳細ダビング時）
	ダビング登録した番組 （かんたんダビング時） 数字の小さい番組から順にダビングします。
	静止画を含むもの （HDD に静止画部分はダビングされません）
	書き込み禁止（プロテクト）の設定をした番組
	録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます。
	ダウンロードした番組で、ディスクへダビングできる残り回数が 1 回の番組
	ダビングできない番組
	1080/60p （1920 × 1080/60 プログレッシブ） 記録の番組
	3D 映像の番組（番組によっては、表示されない場合もあります）

持ち出し番組一覧画面

かんたん	かんたん転送するように登録されている番組
ワンセグ画質	SD/USB 経由で持ち出せるワンセグ画質 (QVGA) の番組
高画質	SD/USB経由で持ち出せる高画質(VGA)の番組
HD画質	SD/USB 経由で持ち出せる HD 画質 (MP4) の番組
ネット高画質	ネットワーク経由で持ち出せる高画質 (VGA) の番組
ネットHD画質	ネットワーク経由で持ち出せる HD 画質 (MP4) の番組
1 (赤)	録画したコピー制限のある番組 転送するとHDDの番組は消去されます。

予約一覧画面

!	HDD の残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示。**[決定]** を押して、予約内容を確認してください。
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
FULL中断	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
COPY X中断	録画禁止信号により録画が中断された番組
代替	ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画された番組
●	録画中の番組
重複	予約時間が重なっている番組
残量不足	HDD の残量不足で録画できない番組
番組数FULL	HDD の番組数がいっぱいで録画できない番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

電源：AC 100 V、50/60 Hz
消費電力：約 22 W

■本体

寸法：
幅 430 mm×高さ 59 mm×奥行 203 mm（突起部含まず）
幅 430 mm×高さ 59 mm×奥行 217 mm（突起部含む）

質量：約 2.6 kg

許容周囲温度：5 ℃～40 ℃

許容相対湿度：10%～80%RH （結露なきこと）

■時計

クォーツ制御　24 時間表示　デジタル表示
(内蔵時計精度：平均月差 ± 30 秒)

■停電保証期間

約 5 年

■映像

記録圧縮方式：
MPEG-2（Hybrid VBR)、MPEG-4 AVC/H.264

映像入力：
入力端子：1 系統（ピンジャック）
入力レベル：1.0 Vp-p　75 Ω

映像出力：
出力端子：1系統（ピンジャック）
出力レベル：1.0 Vp-p　75 Ω

HDMI映像・音声入力：
入力端子：1 系統（19 ピン　typeA 端子）
（480 59.94i/480 59.94p/720 59.94p/
1080 59.94i/1080 59.94p）

HDMI映像・音声出力：
出力端子：1 系統（19 ピン typeA 端子）
（480 59.94p/720 59.94p/1080 59.94i/
1080 59.94p）
機器接続はリピーター（アンプ）を含めて最大で 16 台

SD-SDI/HD-SDI 入力：
入力端子：1 系統
SMPTE 259M 準拠 /SMPTE 292M 準拠（BNC)
（480 59.94i/720 59.94p/1080 59.94i）

HD-SDI 出力：
出力端子：1 系統
SMPTE 292M 準拠（BNC)
（720 59.94p/1080 59.94i）
著作権コンテンツは出力禁止

SD-SDI/HD-SDI(THROUGH) 出力：
出力端子：1 系統
SMPTE 259M 準拠 /SMPTE 292M 準拠（BNC)

■音声

記録方式：
Dolby Digital：2ch記録

アナログ入力：
入力端子：2ch入力、1 系統（ピンジャック）
入力レベル：
基準入力：309 mVrms
FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB）
入力インピーダンス：22 kΩ

アナログ出力：
出力端子：2ch出力、1 系統（ピンジャック）
出力レベル：
基準出力：309 mVrms
FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB）
出力インピーダンス：1 kΩ（負荷インピーダンス：10 kΩ）

デジタル入力：
HDMI デジタル音声入力：2ch 入力、1 系統（PCM 対応）
SDI デジタル音声入力：2ch 入力、1 系統（PCM 対応）

デジタル出力：
HDMI デジタル音声出力：1 系統
SDI デジタル音声出力：1 系統

■入出力端子（映像・音声を除く）

SDメモリーカードスロット：1系統

LAN端子：

1系統（10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T）

USB（USB2.0 ）端子：

前面 1 系統（DC 5 V 最大 500 mA）

USB（USB3.0 ）端子：

背面 1 系統（DC 5 V 最大 900 mA）

RS-232C 端子：1系統、シリアル制御端子（D-sub 9 ピンオス）RS-232C 準拠

■SD 部

対応カード：

SD カード：FAT12/FAT16

SDHC カード：FAT32

SDXC カード：exFAT

■USB 部

対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

USB-HDD 対応：USB-HDD（160 GB 以上 3 TB 以下）

最大 8 台まで登録可能

■写真

画素数：

34 × 34 ～ 8192 × 8192

サブサンプリング：4 : 2 : 2、4 : 2 : 0

解凍時間※1**：**約2秒（1010万画素）

記録 / 再生可能メディア：

HDD、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、SD カード

再生のみ可能メディア：

DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、CD-R/CD-RW、USB

ファイル方式：

- JPEG：ベースライン方式（DCF 準拠）
  - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル（半角英数字のみ）
  - ・MOTION JPEG 非対応
- MPO：マルチピクチャーフォーマット（MPF 準拠）
  - ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

フォルダ数：

BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 500※2

ファイル数：

- HDD：最大 20000
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 10000※3

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW：

ISO9660 level1 と 2（拡張フォーマットは除く）、Joliet 対応

■MPEG-2 動画

ファイル形式：SD VIDEO規格準拠

圧縮方式：MPEG-2

■AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■MP4 動画

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット

・ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル（半角英数字のみ）

ビデオ圧縮方式：

- MPEG-4 AVC/H.264：High profile 4.2 以下
- 解像度：1920 × 1080 まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

サンプリング周波数：8 kHz ～ 48 kHz

チャンネル数：1 または 2

（音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります）

■持ち出し動画

ファイル形式 / 画質：

SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile）準拠 /
320 × 180　15 fps（412 kbps）

SD VIDEO 規格（H.264 Mobile Video Profile）準拠 /
640 × 360　30 fps（1.5 Mbps、1.0 Mbps）

MPEG-4 Part14 準拠 /
1280 × 720　30 fps（4.5 Mbps）

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

DCF 準拠（デジタルカメラなどで記録したもの）したフォーマットが使用できます。

DCF ：Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格]

※1　解凍時間は使用環境（ファイル数・圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

※2　最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数
（ルートもフォルダとして数える）

※3　最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数
（JPEG と MPO のファイル合計）

仕様（続き）

■録画モードと記録時間の目安

録画モード ＼ ディスク		内蔵HDD	BD-RE、BD-R			
		1 TB	128 GB（片面 4 層）※4	100 GB（片面 3 層）	50 GB（片面 2 層）	25 GB（片面 1 層）
ハイビジョン画質	1 倍録	約 90 時間	約 11 時間 10 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分	約 2 時間 10 分
	1.5 倍録	約 135 時間	約 16 時間 45 分	約 13 時間	約 6 時間 30 分	約 3 時間 15 分
	1.8 倍録	約 162 時間	約 20 時間 10 分	約 16 時間	約 8 時間	約 4 時間
	2 倍録（HG）	約 180 時間	約 22 時間 20 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分	約 4 時間 20 分
	2.3 倍録	約 207 時間	約 25 時間 45 分	約 20 時間	約 10 時間	約 5 時間
	2.5 倍録	約 225 時間	約 27 時間 55 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分	約 5 時間 25 分
	2.7 倍録	約 243 時間	約 30 時間 10 分	約 24 時間	約 12 時間	約 6 時間
	3 倍録（HX）	約 270 時間	約 33 時間 30 分	約 26 時間	約 13 時間	約 6 時間 30 分
	3.5 倍録	約 315 時間	約 39 時間 5 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分	約 7 時間 35 分
	4 倍録（HE）	約 360 時間	約 44 時間 40 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 8 時間 40 分
	4.5 倍録	約 405 時間	約 50 時間 15 分	約 39 時間	約 19 時間 30 分	約 9 時間 45 分
	5 倍録（HL）	約 450 時間	約 55 時間 50 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分	約 10 時間 50 分
	5.5 倍録	約 495 時間	約 61 時間 25 分	約 48 時間	約 24 時間	約 12 時間
	6 倍録	約 540 時間	約 67 時間	約 52 時間	約 26 時間	約 13 時間
	7 倍録	約 630 時間	約 78 時間 10 分	約 60 時間 40 分	約 30 時間 20 分	約 15 時間 10 分
	8 倍録（HM）	約 720 時間	約 89 時間 20 分	約 69 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 17 時間 20 分
	9 倍録	約 810 時間	約 100 時間 30 分	約 78 時間	約 39 時間	約 19 時間 30 分
	10 倍録	約 900 時間	約 111 時間 40 分	約 86 時間 40 分	約 43 時間 20 分	約 21 時間 40 分
	11 倍録	約 990 時間	約 122 時間 50 分	約 95 時間 20 分	約 47 時間 40 分	約 23 時間 50 分
	12 倍録	約 1080 時間	約 134 時間	約 104 時間	約 52 時間	約 26 時間
	15 倍録（HZ）	約 1350 時間	約 167 時間 30 分	約 130 時間	約 65 時間	約 32 時間 30 分
DVD画質	XP	本機では録画できません				
	SP					
	LP					
	EP（8 時間）					

※4　片面 4 層は BD-R のみ。2013 年 5 月現在、BD-R（128 GB: 片面 4 層）は発売されていません。

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
ハイビジョン画質	1倍録	本機では録画できません		本機では録画できません
	1.5倍録	約36分	約1時間7分	
	1.8倍録	約44分	約1時間21分	
	2倍録（HG）	約48分	約1時間30分	
	2.3倍録	約56分	約1時間43分	
	2.5倍録	約1時間	約1時間52分	
	2.7倍録	約1時間5分	約2時間1分	
	3倍録（HX）	約1時間12分	約2時間15分	
	3.5倍録	約1時間24分	約2時間37分	
	4倍録（HE）	約1時間36分	約3時間	
	4.5倍録	約1時間48分	約3時間22分	
	5倍録（HL）	約2時間	約3時間45分	
	5.5倍録	約2時間12分	約4時間7分	
	6倍録	約2時間24分	約4時間30分	
	7倍録	約2時間48分	約5時間15分	
	8倍録（HM）	約3時間12分	約6時間	
	9倍録	約3時間36分	約6時間45分	
	10倍録	約4時間	約7時間30分	
	11倍録	約4時間24分	約8時間15分	
	12倍録	約4時間48分	約9時間	
	15倍録（HZ）	約6時間	約11時間15分	
DVD画質	XP	約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP	約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP	約4時間	約7時間10分	約4時間
	EP（8時間）	約8時間	約14時間20分	約8時間

お知らせ

- HDD 持ち出し番組や写真を記録している場合、「ドアホン・センサーカメラ接続」**(➜114)** を「入」にすると、記録できる時間は少なくなります。
- 15倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の1.3倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

仕様（続き）

■記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- HDD：3000（持ち出し番組を含む）
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)：200
- RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)：99
- USB-HDD：3000（撮影ビデオ、写真は記録できません）

■予約可能番組数

128（予約可能期間：1 年間）

■最大チャプターマーク数（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

- HDD USB-HDD：1 番組当たり約 999 個
- BD-RE※5 BD-R※5 RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)：ディスク当たり約 999 個

※5　BDXL は約 20000 個

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)：1 番組当たり約 100 個

■持ち出し番組の記録可能時間の目安

画質 / SD カード	ワンセグ（412 kbps）	VGA（1.0 Mbps）	VGA（1.5 Mbps）	HD 画質（4.5 Mbps）
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分	約 1 時間 47 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分	約 7 時間 21 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分	約 29 時間 46 分
128 GB	約 690 時間 23 分	約 252 時間 1 分	約 174 時間 39 分	約 58 時間 13 分

SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

- **最大番組数 ：99** [ハイビジョン動画（AVCHD）以外の動画を含む]

■デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch（チャンネル数）は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><th>接続端子</th><th colspan="4">HDMI 出力端子※6</th><th colspan="4">SDI 出力端子※7</th></tr>
<tr><th>「デジタル出力」の設定</th><th colspan="2">Bitstream※8</th><th colspan="2">PCM※9</th><th colspan="2">Bitstream</th><th colspan="2">PCM</th></tr>
<tr><th>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</th><th>入※10</th><th>切</th><th>入※11</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th><th>入</th><th>切</th></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX※12</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="5">オリジナルの音声で出力</td><td>DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※13</td><td></td><td colspan="4" rowspan="6">ダウンミックス 2ch PCM</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD</td><td colspan="2">7.1ch</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES※12</td><td rowspan="3">DTS Digital Surround</td><td>DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※14</td><td></td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch※14</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM</td></tr>
</table>

※6　「SDI 接続」の「音声出力設定」**(➜112)** が「入」の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※7　「SDI 接続」の「音声出力設定」**(➜112)** が「入」時のみ出力します。

※8　接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）で出力します。

※9　接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※10　BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」**(➜110)** を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※11　副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

※12　PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※13　BD-V「7.1ch 音声リマッピング」**(➜112)** が「切」時は 5.1ch になります。

※14　DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許番号：5,956,674; 5,974,380; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 の実施権、及び米国、世界各国で取得済み、または出願中のその他の特許に基づき製造されています。
  DTS-HD、シンボルマークおよび DTS-HD とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS-HD Master Audio | Essential は DTS, Inc. の商標です。製品はソフトウェアを含みます。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- マーク、および「acTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。
- “Wi-Fi”、“Wi-Fi Protected Setup”、“WPA”、“WPA2” は “Wi-Fi Alliance” の商標または登録商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
  “Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- “AVCHD”、“AVCHD 3D”、“AVCHD Progressive”、および “AVCHD 3D/Progressive” はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - ·AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
  - ·個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
  - ·ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合

  詳細については米国法人 MPEG LA, LLC（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
- Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、［スタート］ボタンを押し、“全機能から選ぶ” → “設定する · その他の機能” → “情報 · 診断コード” → “情報” → “ID表示” → “ソフト情報” をご参照ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。

●あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。

ネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。
●アクトビラなどのインターネットサービス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
(1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0)に基づきライセンスされたソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
(5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
上記 (3) ～ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品の初期設定画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。
パナソニックは、本製品の発売から少なくとも３年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
http://panasonic.net/avc/oss/diga/JPRCP13B.html

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。
⚠	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

電源プラグを抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- **煙が出たり、異常なにおいや音がする**
- **映像や音声が出ないことがある**
- **内部に水や異物が入った**
- **電源プラグが異常に熱い**
- **本体に変形や破損した部分がある**

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

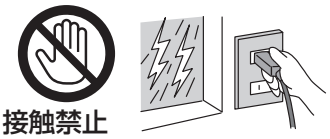
電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

⚠ 警告

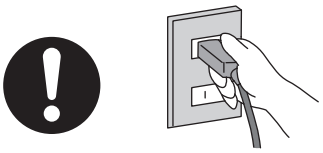
雷が鳴ったら、本機や電源プラグに触れない



接触禁止

感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ·ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード·プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

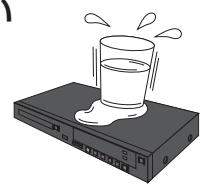
- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

ぬれ手禁止

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災·感電の原因になります。

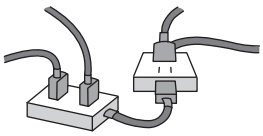
- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100 V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

本機のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕と⊖を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕と⊖を逆に入れない**
- **新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

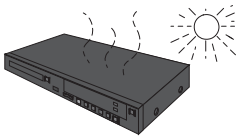
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

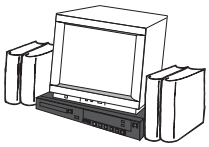
異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない

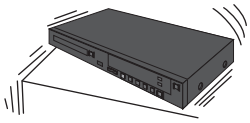


内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 後面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

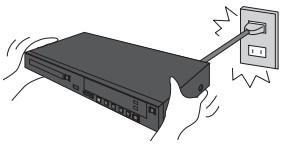
不安定な場所に置かない

- **高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない**



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

ディスクトレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

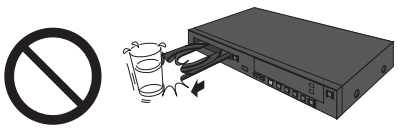
- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

⚠ 注意

機器の前にものを置かない



リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは
■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話　　（　　）　　－

お買い上げ日　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障かな!?」（➜141 ～148）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名	デジタル入力レコーダー
● 品　番	DMR-T4000R
● 故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

[ただし、光ピックアップ部（またはドライブユニット）、電池は、消耗品ですので保証期間内でも「有料」とさせていただきます]

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料　**診断・修理・調整・点検などの費用**
- 部品代　**部品および補助材料代**
- 出張料　**技術者を派遣する費用**

※ 補修用性能部品の保有期間　８年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後８年保有しています。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

さくいん

英数字　ページ

■ AVCHD
再生する 33
取り込む 56
■ AVCREC 方式 24
■ BD-Live 76
BD-Live インターネット接続 108
■ DLNA 機能
設定する 116
操作する 93
■ DNS-IP 自動取得 113
■ DVD 画質 30
■ FR（フレキシブルレコーディング） 30
■ HDD
取り扱い 126
フォーマット 109
■ HDMI
HDMI 音声出力 112
設定する（「HDMI接続」） 111
テレビ・モニターと接続 11
■ IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定 ... 113
■ MP4
書き出す 53
再生する 33
取り込む 56
■ MPEG2
ダビングする 58
■ RS-232C
コマンド一覧 61
接続する 59
■ SDI
設定する（「SDI接続」） 112
テレビ・モニターと接続 11
■ SDカード 121
MPEG2動画のダビング 58
入れ方/出し方 23
撮影ビデオを取り込む 56
撮影ビデオを見る 33
写真の再生 87
写真の取り込み 90
フォーマット 100
プロテクト（書き込み禁止） 121
持ち出し番組の転送 53
■ U30 138
■ USB-HDD
接続する 122
登録する 123
予約録画する 70
■ USB 機器 124
MPEG2動画のダビング 58
撮影ビデオを取り込む 56
写真の再生 87
写真の取り込み 90
接続する 124
持ち出し番組の転送 53
■ VR 方式（DVDビデオレコーディング規格） ... 24
■ 24p 出力 111
■ 3D
3D 奥行きコントローラー 80
3D 再生時の注意表示 111
3D ディスクの再生方法 108
3D 方式設定 111
再生する（映像） 75
再生する（写真） 87

あ　行　　ページ

■ **アクトビラ**
ダウンロードする……95
見る……94
■ **暗証番号**
BD-Video の視聴可能年齢……108
DVD-Video の視聴制限……108
HDD 番組の視聴制限……109
■ **追っかけ再生……29**
■ **お手入れ……125**
■ **音楽**
再生する（CD）……75
■ **音質効果……79**
■ **音声**
音声言語を切り換える（音声情報）……77
音声効果を設定する……79
音声を切り換える（再生時）……39
記録する音声（主/副）を選ぶ（「二重音声記録時の音声選択」）……108
録画する（「外部入力音声設定」）……108

か　行　　ページ

■ **画面モード切換……78**
■ **かんたんダビング……42**
■ **かんたん転送……53**
■ **かんたんネットワーク設定……132**
■ **機器パスワード初期化……114**
■ **記録方式……24**
■ **高速ダビング**
高速ダビング速度……108
■ **コマ送り/コマ戻し……39**

必要なとき

さくいん（続き）

さ　行　ページ

■ サーチ 38
■ 再生する
BD ビデオ、DVD ビデオ（市販またはレンタル） 75
音楽（CD） 75
撮影ビデオ（AVCHD、MP4） 33
写真 87
スライドショー 88
番組 33
■ 再生設定 77
■ 再生中番組の保存 48
■ 撮影ビデオ（AVCHD、MP4）
再生する 33
取り込む 56
■ サブメニュー
かんたんダビング 43
写真一覧 89
持ち出し番組一覧 54
録画一覧（再生） 36
録画一覧（編集） 81
■ 時間指定予約 70
■ 時刻合わせ 17
■ 視聴制限
BDビデオの視聴可能年齢を設定する 108
DVDビデオの視聴制限を設定する 108
■ 自動更新録画 70
■ 字幕
切り換える（再生時） 77
字幕設定（再生設定） 77
■ 写真
印刷する 92
書き出す 91
かんたん取込 90
再生する 87
スライドショー 88
整理する 89
取り込む 90
プロテクト 89
■ 仕様 152
■ 消去する
写真 89
全写真消去（HDD） 109
全番組消去（HDD） 109
全番組消去（ブルーレイディスク、DVD） 102
番組 40
持ち出し番組 54
■ 詳細ダビング
MPEG2動画をダビングする 58
番組をダビングする 44
ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビングする 46
■ 情報 119
■ 初期設定 107
初期化する（初期設定リセット） 107
■ 信号切換
再生時 77
■ 診断コード 141
■ スキップ 38
■ スタート 97
■ スロー再生 38
■ 操作状態の表示（情報表示）
再生時 39

た　行　ページ

■ **タイムワープ 39**
■ **ダウンミックス 110**
■ **ダウンロード**
番組のダウンロード....95
■ **他機器での再生について 26**
■ **宅内リモート**
設定する 117
パソコンから本機を操作する 96
■ **他の BD機器再生（ファイナライズ）....103**
■ **他のDVD機器再生（ファイナライズ）....103**
■ **ダビング**
MPEG2動画 58
かんたんダビング....42
再生中番組の保存....48
詳細ダビング 44
ビデオカメラから (AVCHD、MP4) 56
ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）（詳細ダビング）....46
■ **チャプター 85**
再生・編集する 86
自動チャプター 108
■ **チャプターマーク....85**
■ **重複について 73**
■ **続き再生メモリー機能....38**
■ **ディスク**
記録できるディスク....24
再生のみできるディスク 120
ディスクの再生方法（再生設定）....77
名前を付ける 102
フォーマット 100
プロテクト 102
■ **同時録画再生....29**

な　行　ページ

■ **名前を付ける**
フォルダ 89
ディスク 102
番組 81
予約録画 71
■ **二重音声**
音声の記録について 32
記録する音声（主/副）を選ぶ（「二重音声記録時の音声選択」）....108
■ **ネットワーク**
かんたんネットワーク設定....132
接続する 127
設定する 113

さくいん（続き）

は　行

ページ

■ ハイビジョン画質 30
■ ハイビジョン動画（AVCHD）
再生する 33
取り込む 56
■ 早送り・早戻し（サーチ） 38
■ 早見再生（1.3倍速） 38
■ 番組
再生する 33
消去する 40
名前を付ける 81
プロテクト 81
編集する 81
■ 番組結合 82
■ 番組分割 82
■ 番組持ち出し 52
■ ぴったり録画 74
■ ビデオ方式（DVDビデオ規格） 24
■ ファイナライズ
ファイナライズ解除 103
他のBD/DVD機器再生（ファイナライズ） ... 103
■ フォーマット（初期化） 100
■ 部分消去 81
■ プロキシサーバー設定 114
■ プロテクト（書き込み禁止）
SD カード 121
写真 89
ディスク 102
番組 81
■ 編集する
番組 81
■ 本体表示窓の明るさ 110

ま　行

ページ

■ 毎日・毎週予約
設定する 70
■ マイラベル
設定する（予約時） 71
設定する（録画一覧で） 83
■ 無線 LAN
接続する 130
設定する 132
■ ムーブバック（詳細ダビング） ..... 41、44
■ 文字入力 104
■ 持ち出し番組
SD カードの記録時間の目安 156
SD カードを確認する 55
書き出す（転送する） 53
画質を変更する
（「持ち出し番組の VGA 画質」） 108
作成する（予約登録時） 71
作成する（録画後） 52

や　行

ページ
■ **予約確認** **72**
■ **予約録画**
重複について 73
予約内容の確認・取り消し・修正 72
録画日時を指定して（時間指定予約）..... 70

ら　行

ページ
■ **リージョンコード / リージョン番号** **120**
■ **リピート再生** **77**
■ **リ . マスター** **79**
■ **リモコン**
各部の働き 10
他機器が同時に動作するのを防ぐ
（リモコンモード）..... 115
■ **リモコンモード** **115**
■ **録画中に再生する**
（追っかけ再生 / 同時録画再生） **29**
■ **録画モード** **30**
変換する 84
録画モードを選ぶ 28
■ **録画モードと記録時間の目安** **154**

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年ご使用のデジタル入力レコーダーの点検を！

こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

▶ **ご使用中止**

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571－8504 大阪府門真市松生町 1 番 15 号

© Panasonic Corporation 2013

VQT5A65-3
F0513TN3084